

令和6年度使用

教科用図書採択調査研究資料
小学校用

気仙沼地区教科用図書採択協議会

目 次

| | | | | | |
|----|------|---------------|----|---|----|
| 1 | 国 語 | 国 語 | 1 | ~ | 3 |
| | | 書 写 | 4 | ~ | 6 |
| 2 | 社 会 | 社 会 | 7 | ~ | 9 |
| | | 地 図 | 10 | ~ | 11 |
| 3 | 算 数 | | 12 | ~ | 17 |
| 4 | 理 科 | | 18 | ~ | 23 |
| 5 | 生 活 | | 24 | ~ | 30 |
| 6 | 音 楽 | | 31 | ~ | 32 |
| 7 | 図画工作 | | 33 | ~ | 34 |
| 8 | 家 庭 | | 35 | ~ | 36 |
| 9 | 体 育 | 保 健 | 37 | ~ | 42 |
| 10 | 英 語 | | 43 | ~ | 48 |
| 11 | 道 徳 | | 49 | ~ | 54 |

| 種 目 | 国語 | 発行者の番号・略称 | 2 東書 | 教科書の記号・番号 | 国語 | | 書 名 |
|-----------------------|----|-----------|-------------|-----------|-----|-----|--|
| | | | | | 109 | 110 | |
| | | | | | 209 | 210 | あたらしいこくご 一上 一下 新しい国語 二上 二下 新しい国語 三上 三下 新しい国語 四上 四下 新しい国語 五 新しい国語 六 |
| 1 内容に 関すること | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を段階的・継続的に身に付けられるように配慮されている。 ○ 児童の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた単元構成になっており、「言葉の力」の確かな育成を意識した螺旋的・反復的な指導内容になっている。 ○ 児童の心身の発達の段階や内容の系統性を考慮した学習過程で構成されているとともに、個別の配慮の必要な児童への学びを保障する内容になっている。 ○ 環境問題や情報時代に合った作品や言語活動が教材化されており、児童が身に付けた「言葉の力」が他教科や日常生活で生かされるように工夫されている。 ○ 児童の興味・関心・意欲が高められるような内容や資料の精選がされており、出所・出典が明らかにされている。 |
| 2 組織と配列に 関すること | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元ごとに学習を通じて育成する資質・能力を「言葉の力」として端的に分かりやすく示している。また、学年ごとに段階的・系統的に配列することで学習の積み重ねができるようになっている。 ○ 各単元の指導内容を重点化し、「学習の流れ」が示されているので、児童にとって学習計画の見通しを持ちやすい配列になっている。 ○ 単元末に学習の展開を見開きでわかりやすく示し、資質・能力を身に付けるための言語活動を明確に把握できる構成になっている。 ○ 6学年を通して発達段階や指導時期に考慮した適切な言語活動を取り入れている。また、学習指導要領の内容に応じて、適切な時数である。 ○ 今日的な課題に向き合うことができるように、環境や伝統、平和など幅広い教材・題材を取り上げ、他者と協働しながら解決するための資質や能力を育てるように配慮している。 |
| 3 学習と指導に 関すること | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元は、「見通す」「取り組む」「振り返る」の課題解決的な3ステップの学習過程で構成されており、着実に資質・能力を身に付けられるように工夫されている。 ○ 「国語の学習の進め方」を通して、どのように学んでいくのかを捉えやすく、児童が学習に主体的に取り組むことができるように配慮されている。 ○ 「取り組む」では、友達との学び合いや考えの共有など対話的な学びの場面が多く設けられ、協働的な学びにつながるように工夫されている。 ○ 「生かそう」では、他教科や総合的な学習の時間、又は、日常生活の中で「言葉の力」が活用できるように配慮されている。 ○ 「思い出そう」では、導入時などに、関連の深い既習の「言葉の力」を想起し確認できるように、QRコンテンツが用意されている。 |
| 4 表現と体裁等に 関すること | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 的確・簡潔で学年段階に応じた表現が用いられている。写真やイラストの人物について、国籍や性別の偏り、身体的な特徴の過度な強調を避けるように配慮されている。 ○ 表紙には学びに向かう子供たちの姿がデザインされ、親しみを持ちやすい。イラストや豊富なQRコードコンテンツなど、児童の学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 独自の教科書体が使用され、見やすく、文字の指導に適している。罫線や塗りつぶし方など色以外の情報が加えられ、色覚の多様性に配慮されている。 ○ シンプルなレイアウト・配色で、情報が整理しやすく、学習に集中できる紙面構成になっている。文字や挿絵などの境界が明確で、見やすい工夫がされている。 ○ 製本は堅ろうで、表紙には耐久性に優れた加工がされている。環境に配慮し、再生紙や植物性インキが使用されている。 |

| 種 目 | 国語 | 発行者の番号・略称 | 17 | 教科書の記号・番号 | 国語 | | 書 名 |
|-----------------------|--|-----------|----|-----------|-----|-----|------------------------|
| | | | 教出 | | 111 | 112 | |
| | | | | | 211 | 212 | ひろがることば しょうがくこくご 一上 一下 |
| | | | | | 311 | 312 | ひろがることば 小学国語 二上 二下 |
| | | | | | 411 | 412 | ひろがる言葉 小学国語 三上 三下 |
| | | | | | 511 | 512 | ひろがる言葉 小学国語 四上 四下 |
| | | | | | 611 | 612 | ひろがる言葉 小学国語 五上 五下 |
| | | | | | | | ひろがる言葉 小学国語 六上 六下 |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な言語活動が設定されており、教材や他者との対話を意識し、協働的な学びに展開できるように工夫されている。 ○ 学びの「見える化」を意識し、児童が見通しを持って、主体的に学べるような内容や構成になっている。 ○ 児童の心身の発達段階を考慮し、児童の身のまわりにある課題や友達とともに向き合う教材設定等、学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 学年間と学年を通しての系統的な単元構成を意図し、繰り返しを重視しながら、「言葉の力」を育成できるように工夫されている。 ○ 教材選定の観点、多様性や環境教育、郷土やふるさと等、多岐にわたっている。また、作者の略歴や資料の出典等も明らかである。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の指導事項に即した内容が適切に配列されている。単元ごとに学習目標とめあて、学習の手立てを明示し、学習の系統化や重点化を図っている。 ○ 各教材での学習のポイントや学習用語などを「ここが大事」で解説してあり、内容の理解と定着を促すように工夫している。 ○ 知識・技能、思考力・判断力・表現力などの学習がバランスよく位置づけられており、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図れるように配慮されている。 ○ 学年ごとの発達段階に応じて教材が選定され、系統化が図られている。学習指導要領の内容に応じた適当な時数で指導できるように配慮されている。 ○ 日常生活や学校生活に関連した題材を設定しており、国語科での学習が子どもの実生活に結びついている。また、郷土や地域を大切に思う気持ちが持てるような教材が配列されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「見通しをもとう」では、学習の進め方が明確に示されており、児童が主体的・対話的で深い学びを実践していきやすいように配慮されている。 ○ 「ここが大事」では、学習のポイントや扱う学習用語の解説などがまとめられており、内容の理解と定着が促されるように工夫されている。 ○ 「学習のてびき」によって、学習のめあてと振り返りを照応させることで、児童がどんな学習をしてどんな力が身に付いたか、学びを実感できるように工夫されている。 ○ 話し合いや討論、意見文や説明的文章など、多様な観点から、他教科や総合的な学習の時間等で活用できるような題材や言語活動が配置されている。 ○ 「まなびリンク」では、「写真」「動画」「資料」「ワークシート」「リンク」などのコンテンツにアクセスすることができ、児童の学びを広げる環境が用意されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 正しい表記の仕方・用法が身に付くように学年の発達段階を考慮した表現・表記になっている。また、言葉のまとまりが捉えられるように、ふきだし内の改行位置が工夫されている。 ○ 表紙絵には、児童の共感が得られるような、発達段階に応じたイラストが用いられている。また、分冊により軽量化に配慮されているとともに、新しい教科書に出会う喜びが感じられる。 ○ 発達段階に応じた適切な字詰め・行数で、読みやすく配慮されている。色調や字体が工夫され、学習の要点が分かりやすく示されている。 ○ 学習の展開、留意点などの例示が統一デザインで示され、学び方が定着できるように配慮されている。イラストや図表の内容が区別しやすいような色彩と配置になっている。 ○ 堅ろうな製本で、表紙には抗菌加工が施されている。軽量で裏移りのない再生紙、植物油インキが使用され、環境に配慮されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 国語 | 発行者の番号・略称 | 38 | 教科書の記号・番号 | 国語 | | 書名 |
|-----------------------|--|-----------|----|-----------|--|--|----|
| | | | 光村 | | 113 114 213 214 313 314 413 414 513 613 | こくご 一上 一下 こくご 二上 二下 国語 三上 三下 国語 四上 四下 国語 五 国語 六 | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 何を理解し、何ができるかなど、生きてはたらく「言葉の力」を意識し、確実に身に付けられるような単元内容と構成になっている。 ○ 対話や助言し合う場面を設定したり、児童が深く考える場面を設定したりするなど、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるように工夫されている。 ○ 児童の心身の発達を考慮した各領域の単元数、教材数の配分・配列になっており、児童が見通しを持って主体的に学べる工夫がされている。 ○ 学習指導要領の言語活動例に沿った言語活動が学習できるように、各学年の教材が系統的に設定されており、学習の充実と発展が図れるように工夫されている。 ○ 児童の学習意欲を喚起し、社会の形成者としての児童を育成するように教材が選定されている。また、作者の略歴が明示され、資料の出所や出典も明らかである。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の各学年の目標及び指導内容が適切に指導できるように、組織的・系統的に単元が配列されている。 ○ 領域ごとの学習内容を整理した「〇年生で学ぶこと」「〇年生で学んだこと」では、前学年に学習したことを振り返ることができる構成になっている。 ○ 他教科との関連が図れるように、6年間を通して多様な教科と関連した話題・題材の選定において配慮や工夫がされている。 ○ 学習指導要領の内容に応じて単元、教材の数、学習する領域のバランスを工夫している。学年間でも単元配列が大きく異なることがないように配慮されている。 ○ 題材は、農山漁村・都市などの地域的な偏りがなく、国際的視野が育つように、バランスのとれた構成になっている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の学びを見わたそう」において、国語を学ぶ意義をみんなで話し合い、学習への期待感と意欲を高めることができるように工夫されている。 ○ 児童が学習や生活の中から感じた問いを出発点として、個別最適な一人一人の学びと協働的な学びの両面から学びを深めることができるように配慮されている。 ○ 1年上巻頭には、想像が広がる絵物語や、対話を重視した楽しい活動など、幼稚園・保育所などでの経験を生かしながら国語学習の基礎を築けるよう配慮されている。 ○ 視野を広く持ち、持続可能な社会のために行動できる児童を育てるために、SDGsに関連するテーマが幅広く取り上げられている。 ○ 教科書連動コンテンツ「広がる学び深まる学び」が設定されており、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」などにおいて、児童が主体的に学べる環境が工夫されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表記の基準が統一され、正しい表記が身に付くように工夫されている。また、低学年では単語や文節の途中で改行しないように配慮されている。 ○ 表紙絵には、児童が国語の学習に親しみを持ち、学習意欲を高めるようなものが採用されている。また、文学作品では、その時代状況を踏まえた挿絵が掲載されている。 ○ 適切な字詰め、行詰めで読みやすい。また、独自の教科書体を使用し、発達段階に応じて字の太さを変え、見やすさと読みやすさに配慮している。 ○ 絵柄の区切りが分かるようにしたり、境界が区別できるように線で囲んだり、児童が混同しにくいように工夫されている。写真や図表の配置も適切である。 ○ 堅ろうな製本で、表紙には耐久性を高める加工が施されている。環境に配慮した紙、植物油インキが使用されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 書 写 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 2 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 書写 | 書 名 | 新編 あたらしい しょしゃ一 新編 新しい しょしゃ 二 新編 新しい書写 三 新編 新しい書写 四 新編 新しい書写 五 新編 新しい書写 六 |
|-----------------------|---|---|----|---|--|--------|---|
| | | | 東書 | | 106 206 306 406 506 606 | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている各学年の指導事項が、各単元に「書写のかぎ」として位置づけられ、児童自身が、学習のねらいを意識して系統的に学べるように工夫されている。 ○ 2年生以上各学年、見開きで「書写の学び方」が明示されており、児童が主体的・意欲的に学習を継続できるような工夫がされている。 ○ 単元ごとに、意図的に整っていない文字等を示していることで、児童は課題意識を持って学習できるように工夫されている。 ○ 書写の学習で身に付けたことを他教科や日常生活で生かせるように、発表の場や作品などを紹介し、学習の発展を図れるように工夫されている。 ○ 児童が伝統的言語文化や文字に親しむことができるように、古典や外国の文字等が扱われており、その出典も明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 書写の基礎基本を確実に身に付けられるように学年の発達段階に応じて重点化しながら系統的に単元を配列している。 ○ 1単元1領域を基本とし、学習のねらいが明確に示されている。また、2年生以上は単元ごとに「書写のかぎ」を設け、指導事項の重点化を図っている。 ○ 指導事項が系統的に分類しており、児童自身が系統性を意識して学習ができるように工夫されている。学年ごとにどのようなことを学ぶかについても児童に分かりやすく示されている。 ○ 学年の配当時数に合わせた適切な単元数と分量になっている。特に単元ごとの指導事項がシンプルに表記されており、児童にとって読みやすい配列になっている。 ○ 書き初めなどの行事や世界の文字などが取り上げられ、児童の日常生活に広く適合できる内容になっている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「書写のかぎ」を活用しながら課題解決型の学習過程が設定されており、児童が見通しを持って学ぶことができるように工夫されている。 ○ 「生活に広げよう」などにおいて、絵日記や生活作文など、国語と連動させた言語活動を取り上げ、生活に活用できる書写力を育成できるように配慮されている。 ○ 書写の学習要素を系統的に分類・整理し、インデックス「小学校書写の学び」に示すことで、児童が常に系統性を意識できるように工夫されている。 ○ 他教科と関連する箇所には「関連マーク」が示されており、児童が意識して学習できるように工夫されている。 ○ 全ての基本単元の導入にQRコンテンツが用意されており、児童が自分のペースで学び、書写の力を確実に育てることができるように配慮されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 発達段階に応じた平易かつ簡潔な言葉で表現されている。書写に関する用語が「書写のかぎ」として示され、学習事項を的確に押さえることができる。 ○ 国語と関連した言語活動が取り上げられ、児童の学習意欲を高める内容になっている。点画の書き方のポイントが動物の動きと擬態語で示され、児童にとって分かりやすく、親しみやすい。 ○ 学習に適切な字体が使用されている。また、色覚特性に配慮された鮮明で見やすい色調で、印刷も鮮明である。 ○ 教材名が右ページの右端にあり、背景が色別で示されていることにより紙面の情報が整理しやすいようにレイアウトが工夫されている。書き込み欄が手本の下や左右にあり、利き手に配慮した配置になっている。 ○ 紙は十分な強度があり、軽量なものを使用、鉛筆での書き込みにも適した用紙である。また、環境に配慮して、再生紙、植物油インクが使用されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 書 写 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 17 教出 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 書 写 107 207 307 407 507 607 | 書 名 | しょうがく しょしゃ 1ねん 小学 しょしゃ 二年 小学 書写 三年 小学 書写 四年 小学 書写 五年 小学 書写 六年 |
|-----------------------|--|---|--------------|---|--|--------|--|
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された各学年の内容を受け、目次には、学年で扱う点画の種類や文字の組み立て方等、学習内容を分かりやすく伝えている。 ○ 「学習の動機づけ」や「学習の進め方」等を明示し、児童が「主体的・対話的で深い学び」を実現できるように工夫されている。 ○ 児童の心身の発達段階を考慮し、書写で学んだことを日常生活で生かせるような場面の紹介や実際の作品を明示し、児童が目標や意欲を持って学習できるように工夫されている。 ○ 全体的に、「言葉」「活用」「文化」の観点で教材化が図られ、多面的に書写力を身に付けさせるとともに、児童の振り返りを通して、学びの充実が図られるよう工夫されている。 ○ 児童が伝統的な文化に親しむことができるように、文字の歴史を説明したり、古典を紹介したりして、楽しく学ぶ工夫がされている。出典に関しては全て明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の学習指導要領の内容を踏まえ、各単元でのねらいを明確に示している。学年間や校種間で無理なく積み重ねができるように配慮されている。 ○ 各単元の指導事項とめあてが簡潔に示されている。また、写真や図を活用し、分かりやすく解説している。 ○ 文字の書き方を理解し習得するために、姿勢や筆使い、筆順、字形などの基礎基本が確実に身に付くように配列されている。 ○ 身近な場面や他の教科で生かされることが児童に分かりやすいように教材が配列されており、児童が目標を持って取り組むことができる。 ○ 書きぞめや俳句、年賀状など、教材の配列が児童の生活や地域の実態に広く適合できる内容になっている。また子どもの発達段階に応じて日本の伝統に関心が持てる内容を扱っている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習の進め方」では、学習の流れを分かりやすく示すマークが示されており、児童が見通しを持って学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ 「書写の言葉」を活用して対話の場面を示すなど、児童が主体的・対話的で深い学びを実践しやすいように配慮されている。 ○ 「ためし書き」で自分の課題に気付き、「まとめ書き」をして比較することで、児童が自らの成長に気付くことができるように学習過程が工夫されている。 ○ 身に付けた書写の力を、学習活動のどの場面で生かせるかがすぐに分かる教材が豊富にあり、各教科と関連した指導計画を立てやすくなっている。 ○ 教科書の二次元コードと連動している「まなびリンク」が設定されており、学習に役立つ動画や資料を見ながら、児童が主体的に学習に取り組むことができるように配慮されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 発達段階に応じた平易で簡潔な文章表現である。運筆方法などの学習用語が具体的で分かりやすく示されている。 ○ 運筆が動物の動作でイラスト化して示され、親しみやすい内容になっている。また、活動場面の写真が掲載され、書写の学習と日常生活や他教科の学習とのつながりを実感できる。 ○ UDフォントや判別しやすい配色が採用され、見やすく読みやすいように配慮されている。姿勢図や用具の使い方などの写真が鮮明で、内容を正確に捉えられる。 ○ 硬筆・毛筆共に見開きで使用しやすい配置になっている。毛筆では、右側に手本、左側に学習の流れがあり、段階を踏んで学習できるレイアウトになっている。 ○ 表紙には、撥水コーティング加工と抗菌加工が施され、水や墨汚れに強い。軽量かつ強度のある紙を使用している。また、再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮している。 | | | | | | |

| 種 目 | 書 写 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 3 8 光村 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 書 写 1 0 4 2 0 4 3 0 4 4 0 4 5 0 4 6 0 4 | 書 名 | しよしや 一ねん しよしや 二年 書写 三年 書写 四年 書写 五年 書写 六年 |
|-----------------------|--|---|---------------|---|--|------------|---|
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された「我が国の言語文化に関する事項」の「書写」の指導を全て網羅できるように、系統的に単元・教材を作成している。 ○ 学習目標に即して、知識・技能の定着や自己の成長を確認できるよう、自己評価欄を設け、見通しを持って主体的に学習できるように工夫している。 ○ 児童の心身の発達を考慮し、学習のポイントを分かりやすく示したり、課題解決のヒントになるようなキャラクターを活用したりして、児童の意欲が持続するように工夫している。 ○ 各単元に「学習の進め方」が明示されているとともに、終末に「生かそう」という項目があり、日常生活での活用や発展に取り組めるようになっている。 ○ 児童が伝統的な言語文化に親しむことができるように、ことわざや古典、文字に関わる写真等を多く掲載しており、その出典は全て明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の学習指導要領の内容を踏まえ、基礎・基本的な学習内容と活用を組み合わせ、効果的に力を付けられるように配慮している。 ○ 1教材1目標になっており、学習を通して身に付ける力が、明確に示してある。また、導入、理解、確認、活用の4段階構成になっており、児童にとって分かりやすい学習展開になっている。 ○ 全ての学習の基礎となる文字の書き方、書く姿勢等が発達段階に応じて重点事項が示されており、基礎基本が確実に身に付けられる構成になっている。 ○ SDGs や防災への取り組み等の発展的な内容を学年ごとに取り入れてある。書写の学習が日常に広がっており、国語科や各教科の学習と関連した内容が配列されている。 ○ 日常生活や各教科などを生かした豊富な教材で児童の生活や地域の実態に広く適合できるようになっている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習の進め方」には、学習の要点に「たいせつ」マークが示されており、児童が課題解決を目指しながら主体的に学習に取り組むことができるように配慮されている。 ○ 2年生以上の全教材に「たいせつ」が設定されており、他の字を書くときにも活用できる基礎・基本を明確に示している。 ○ 「スタートブック」「書写ブック」などにより、児童が自分の身に付けた力に気付きながら学習を進めることができるように工夫されている。 ○ 身に付けた書写の力を、学習活動の「どの場面で」いかせるかがすぐに分かる教材が豊富にあり、各教科と関連した指導計画を立てやすくなっている。 ○ 運筆動画や姿勢写真、アニメーションなど、多くのコンテンツが用意されており、二次元コードを活用して児童が主体的に学習に取り組むことができるように配慮されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 発達段階に応じた分かりやすい言葉と文章で表現している。表記や用語が学年で統一され、読みやすくなっている。 ○ 表紙の猫のイラストが適所に配置され、児童の意欲の喚起や理解の手助けとなるとともに、親しみやすい内容である。 ○ 単元・教材名や学習のポイントにはUDフォントが使用され、見やすく読みやすい。また、カラーUDが採用され、鮮明な色調である。 ○ 主たる学習要素と関連する図表が適切に表記され、めりはりのある紙面構成となっている。また、文字や図表の大きさで内容の軽重が付けられることで、情報が精選され混乱が生じにくい。 ○ 強度があり、鉛筆で書きやすい紙が使われている。また、環境に配慮した再生紙・植物油インクが使用され、SDGsに関連するテーマも幅広く取り上げられている。 | | | | | | |

| 種 目 | 社会 | 発行者の番号・略称 | 2 | 教科書の記号・番号 | 社会 | 書名 | |
|-----------------------|--|-----------|----|-----------|--|----|---|
| | | | 東書 | | 305 405 505 506 605 606 | | 新編 新しい社会3 新編 新しい社会4 新編 新しい社会5上 新編 新しい社会5下 新編 新しい社会6 政治・国際編 新編 新しい社会6 歴史編 |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の趣旨である3つの柱を踏まえ、問題解決的な学習を通して社会認識を深め、よりよい未来社会の実現を図るために児童自身が自ら学びを進められるよう工夫されている。 ○ 県の方針を踏まえ、社会的事象の見方・考え方を働かせながら学習を進めることができるようキャラクターを活用して児童に問い掛けて、学びが深められるように工夫されている。 ○ 単元の導入では、当該学年に応じて興味関心を高めるような写真やイラストを適切に配置し、学習意欲を高められるように配慮されている。 ○ 学習内容は、児童の興味が広がるように配慮されている。学んだ内容の充実、発展が図られるように多様なQRコンテンツやデジタル資料に自分からアクセスできるようにしている。 ○ 一人一台タブレットの活用を踏まえ、様々な情報へアクセスできるように配慮されている。また、教科書に掲載されている写真、資料の出所、出典が明記されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 今日の課題である内容を各学年で組織的、系統的に配列されている。各学年の巻末では、1年間に学んだことの要点を振り返り、学習の効果が上がるように配慮されている。 ○ 単元の「めあて」、小単元の「学習問題」、学習段階ごとの「めあて」が構造的に示されている。どの学年でも1単位時間の内容が見開きで示され、学習内容が分かるよう配慮されている。 ○ 重要語句は「ことば」として取り上げ、基礎・基本の定着を図っている。また、終末に柔軟な扱いが可能な「ひろげる」のページを準備し、発展的に扱うことができるよう配慮されている。 ○ 各学年の選択単元については、目次に明示しており、学校、学年の実態に応じて年間指導計画に位置付けられるよう配慮されている。 ○ 4年「私たちの県」、5・6年の「災害等に関する内容」の学習では、宮城県を広く取り上げ、児童の生活に根ざした学習を深めることができる。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ すべての単元に「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」を示し、問題解決的な学習段階をたどりながら、主体的に学習が進められるように配慮されている。 ○ 小単元の「つかむ」で課題意識を高め、見通しをもって取り組めるよう工夫するとともに、「調べる」「まとめる」を積み重ねることで、深い学びの実践につながるよう配慮されている。 ○ 学んだことからさらに学習を広げられるように、豊富なデジタル資料を準備し、自分のペースに応じて、さらに学習を深めることができるように配慮されている。 ○ 他教科と関連する内容は、「教科関連マーク」で欄外に示し、学習内容と関係する教科、単元について学習できるように工夫されている。 ○ 巻頭には、「この教科書のつくりを見てみよう」として、使い方についてイラストを活用して分かりやすく示されている。QRコードからタブレットでも確認できるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 1ページの文字数も学年相応であり、分かりやすい言葉で表現されている。当該学年以上の配当漢字には、振り仮名が付けられ、学習の理解が深められるよう配慮されている。 ○ 随所に人気キャラクターを活用し、児童に親しみやすい課題提示をしている。また、児童のキャラクターも身近に感じながら学習が進められるよう工夫されている。 ○ 活字は認識がしやすい教科書体、ゴシック体及びUDフォントをバランスよく採用し、学年相応の大きさで非常に読みやすい。印刷は鮮明で児童の色覚特性にも配慮されている。 ○ 学びを深めるために必要な図表等は、配置、大きさが工夫されている。興味を引き付ける写真、調べ学習の根拠となるグラフなど豊富である。 ○ 製本は幅広の版型を使用し、堅ろうであり、表紙は鮮明で汚れにくいPP加工がされている。再生紙、植物油インキを使用するなど環境にも配慮されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 社会 | 発行者の番号・略称 | 17 | 教科書の記号・番号 | 社会 307 407 507 607 | 書 名 | 小学社会3 小学社会4 小学社会5 小学社会6 |
|----------------------|---|-----------|----|-----------|--------------------------------|--------|----------------------------------|
| | | 教出 | | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の目標を踏まえ、全学年の学習の振り返りと各学年に応じた「社会科で使う見方・考え方」、社会科の学習の進め方を巻頭に示しており、主体的に課題解決できる工夫をしている。 ○ 各学年に内容を選択して学習できる単元が複数設けられており、気仙沼地域に住む児童が地域の実態や興味に応じて学習に取り組めるとともに、表現活動の例も具体的に示されている。 ○ 絵や写真等の資料が児童の発達の段階を考慮したものであり、学習のまとめ方も提示してあることで、ゴールの見通しをもつことができ、学習意欲を高める工夫となっている。 ○ 各時間の内容について、活動の流れが明示してあることで、1時間の見通しをもって学習を進めることができる。また、まとめのページの「つなげる」で、学習の発展を図る工夫がされている。 ○ 内容と資料については、出所、出典が明示されている。各学年でSDGs とのつながりを考えるページがあり、グローバル化する国際社会にも目を向けさせている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 第3学年では市、第4学年では県、第5学年では国、第6学年では政治・歴史・国際協力について、前学年までの学習を生かしながら単元を組織的・系統的に配列してある。 ○ 単元の各時間に「この時間の問い」「次につなげよう」が明示されており、単元のゴールまで児童が問いをもちながら課題解決に取り組めるよう配列されている。 ○ 各単元の「まとめる」のページでキーワードを振り返りながら基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、巻末の「SDGs とつなげよう」で発展的な学習を進める配慮がなされている。 ○ 各学年に選択できる内容があり、学校の実態に応じて年間指導計画に無理なく適合できる分量となっている。 ○ 校外学習が必要な単元は前半に配列されており、冬の寒さが厳しい地域の実態に適合している。また、身近な事象から次第に世界へ目を向ける配列となっている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識・技能を習得するために、キーワードや「学びの手引き」が随所であり、課題解決に活用できる。また、活動の流れも示してあることで、主体的に学ぶことができる。 ○ 「学びの手引き」で学習課題の設定等、話し合いを通して学習を進める例示がある。更に、話し合いの視点の具体例もある等、児童が主体的・対話的で深い学びを実践する工夫がなされている。 ○ 各ページに「問い」と「次につなげよう」が示されており、更に ICT を使った学習の進め方が巻頭にあることで、児童が単元を通して学習の問題を追究・解決できるよう配慮されている。 ○ 巻頭に他の教科等との関連を図で示すとともに、各単元のまとめのページに SDGs との関連を考える問いを示し、発展的な学習を進める配慮がされている。 ○ 「まなびリンク」が各学年の目次に活用の注意事項とともに掲載されている。また、学習の手引き、挿絵、図表及び写真等が適切に配置されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地名や人名、未習の漢字には振り仮名がある。また、学年に応じた端的で分かりやすい表現が使われており、学習内容を理解するための配慮がなされている。 ○ 第3学年から第6学年まで、共通のキャラクターを設定し、一緒に学ぶ形態にすることで、児童が親しみを感じるよう配慮されている。 ○ 本文、図、写真、吹き出し等に応じて、活字の大きさと字体を使い分けており、見やすくする配慮がされている。また、色彩はユニバーサルデザインに配慮し、印刷も鮮明で見やすい。 ○ 図表等は、目的に応じた適切な大きさと、矢印の使用やレイアウトを工夫することで見やすく配置されている。 ○ 製本は体裁がよく堅ろうであり、再生紙と植物油インキを使用している。また、表紙には抗菌加工が施され、環境に配慮している。 | | | | | | |

| 種 目 | 社 会 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 1 1 6 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 社 会 3 0 8 4 0 8 5 0 8 6 0 8 | 書 名 | 小学社会3年 小学社会4年 小学社会5年 小学社会6年 |
|---|--|---|-------|---|--|--------|--------------------------------------|
| | | | 日 文 | | | | |
| 1 内 容 に 関 する こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が主体的に考え、学んでいく力を無理なく育めるよう、学年の発達段階に応じて欄外の問い掛けやコラムの内容を変化させるような工夫が見られる。 ○ 学習課題に対して児童同士が多様な意見を出し合い話し合っている場面の例示が随所にあり、主体的に調査・検討して学ぶ学習の充実を図ることができる。 ○ 児童の身近にある事象から一般化、また違った事例などへと発展していくように学習が展開されているので、児童の興味・関心を喚起しやすい。 ○ 自然災害の内容では地震・津波についても詳しく取り上げられ、南海トラフ地震を想定した備えについての学習もあるので、気仙沼地区の児童としては身近な課題として取り組むことができる。 ○ 教材として取り上げられている地域は、東北地方は少ないが、どれも例として様々な要件を満たしていると納得できるものであり、偏りは見られない。また、出所・出典も明示されている。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の目標到達に向かって、児童が思考と理解を積み上げながら毎時間の学習を進め、目標が達成できるような配列となっている。 ○ 毎時間ごとに課題設定の手掛かりが示されており、児童が課題を設定する、調べる、解決する、考えを表現する、意見を交流するという流れに沿ってまとめられている。 ○ 本時の学習を進めるに当たって知っておかなければならない知識については、きめ細やかに「学び方・調べ方コーナー」として掲載され、発展的にSDGsの内容も取り上げている。 ○ 単元及び本時の目標の達成のために必要な内容を焦点化し、主体的な学習活動に時間をかけられるので、各学校の学習の重点にも適合できるものとなっている。 ○ 前述のとおり、取り上げられている地域は代表的な例として納得できるものなので、身近な地域にも似た要件を容易に見付けることができ、調べ学習や体験学習に生かすことができる。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な知識をコラムとして掲載しているほか、同年代の子供同士の会話という設定で新たな視点を投げ掛けてくるので、さらに思考を深めることができる。 ○ 児童同士が考えを交流する場面が例示されており、さらに深く考え合わせたい課題について対話的に深め合う活動がしやすいよう工夫されている。 ○ 多様な個性・特性に配慮し、視覚（色）、表やグラフの表現、文字、写真、学習の流れの表示など、安心して学習に取り組めるような配慮がなされている。 ○ SDGsに関するページやコラムが多数あり、特に海洋に関する内容については、気仙沼市で進めている海洋教育との関連も深く、総合的な学習の時間、探究活動へとつながるものである。 ○ 図表や写真等の補助的資料はできるだけ多く掲載されている。また、掲載しきれなかった資料については、QRコードを読み取ることでweb上で確認できるようになっている。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 当該学年の配当漢字までを使用するようにしており、そうでないものにはすべてに振り仮名をつけてあるため、読むことへの抵抗を軽減するよう配慮されている。 ○ ナビゲーターとして掲載されているのは有名なキャラクターではないが同年代の子供という設定のため、児童が自分事として認識しやすくなっている。 ○ 活字はユニバーサルデザインデジタル教科書体であり、誰にでも見やすく読みやすいものとなっている。また、印刷は鮮明で見やすく、児童の興味・関心を高めることができる。 ○ 見開きページとなったときに、ページの周囲を囲むように写真や図表が配置されており、決まった形態でレイアウトすることによって、学習への集中が途切れないように配慮されている。 ○ 製本は通常より丈夫で、さらに大きく開くことが可能なあじろ綴じが採用されている。また、環境に配慮した植物油インキが使用されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 地 図 | 発行者の番号・略称 | 2 | 教科書の記号・番号 | 地区 303 | 書 名 | 新編 新しい地図帳 |
|----------------------|---|-----------|---|-----------|-----------|--------|--------------|
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された目標に則り、日本の国土の地理的環境や社会生活への理解、自分の住む地方の理解等を深められる構成になっている。 ○ 児童が興味・関心をもって地図帳を活用して主体的・対話的な学びができるように、各種地図の配列、多様な資料の配列が工夫されている。 ○ 3年生で初めて地図帳を手にする児童の実態を踏まえ、親しみやすいキャラクターを活用して地図の決まりや地図帳の使い方を示している。高学年用に充実した資料が準備されている。 ○ 内容が見やすく、地図、資料が整理されている。さらに、「ホップ ステップ マップでジャンプ」が70コンテンツあり、学習の充実と発展が図られるように配慮されている。 ○ 統計資料は最新のものが使用され、出所、出典が明示されている。写真やイラストの資料は、地域に偏りなく使用されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の世界地図で関心を高めている。続いて、日本とそのまわりの日本と関係の深い国々の地図から、日本各地、世界全図、世界各地、そして、各統計、索引と系統的に配置されている。 ○ 日本各地方の地図には、広域図や拡大地図が配置されている。地図上にはイラストの掲載もあり各学年の学習内容に応じて、地図帳を活用できるように工夫されている。 ○ 冒頭で地図のきまりについて、キャラクターが学ぶ形式でイラストを活用して丁寧に説明をしているので、地図帳の基礎的・基本的事項について学ぶことができるよう配慮されている。 ○ 資料として、日本の自然、産業、交通、歴史等豊富に準備されており、各学年の年間指導計画に活用できるよう配慮されている。 ○ 地方ごとに大判の地図が配列されている。東北地方は、折り込みの大判となっており、各地区の特色なども細かく調べることができるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 冒頭の「地図のきまり」で地図の見方、活用の仕方を丁寧に説明し、基礎的・基本的な知識・技能が身につくよう配慮するとともに、様々な資料を配置し主体的な学習を促している。 ○ 冒頭の日本地図では、各県の特産物を紹介し、児童の興味・関心を高め、主体的・対話的な学習で深い学びにつながるよう工夫されている。 ○ 「子供が開きたくなる地図帳」のコンセプトの下、児童が興味・関心をもって学習に取り組める仕掛けがQRコードを活用して随所に配置されている。 ○ 様々な面で活用できる地図帳として、国語や音楽、国際理解教育、総合的な学習の時間等との関連に配慮している。 ○ 地図帳の見方、挿絵、解説等は、各ページに適切に配置され、学習者にとってわかりやすい構成になっている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 文章の3年生配当以上の漢字と全ての地名に振り仮名がついており、読みやすくなっている。また、地名は白い縁取りがされており、見やすくなっている。 ○ 3年生にも無理なく使えるよう、地図のきまりや地図帳の使い方がまんが仕立てになっている。また、キャラクターが随所に登場することで、親しみを感じられるよう配慮されている。 ○ 読みやすいユニバーサルデザイン書体を使用しており、海底部・都市部・平地・高地を表現する色彩もメリハリがあり見やすい。 ○ 図表等の大きさや配置が適切であり、見やすく分かりやすいレイアウトになっている。写真も適切に配置されている。 ○ 丈夫な糸がかり製本を用いており、中央部が十分に開いて紙面が見やすい。また、環境に配慮した用紙・植物油インキを使用している。 | | | | | | |

| 種 目 | 地 図 | 発行者の番号・略称 | 46 帝国 | 教科書の記号・番号 | 地図 304 | 書 名 | 楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年 |
|-----------------------|--|-----------|--------------|-----------|-----------|--------|---------------------------|
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ ページごとに「トライ」や「地図マスターへの道」といった作業活動が設定されており、社会的な見方・考え方を働かせる学びにつながっている。 ○ 地域の産業や伝統文化に親しめるように、農水産物などをイラストで掲載している。特に本地区周辺では、他の学習でも取り上げている水産物が掲載されており、児童の興味・関心が高まる。 ○ 表記する内容を精選することによって、3年生でも親しみやすくした地図から、4年生以上の学習にも対応できる詳細な地図まで、使い分けができる工夫がされている。 ○ 江戸時代の様子や歴史上の出来事を地図上に表してあるページを活用することによって、当時の国土の捉え方に触れることができる。また、歴史学習でも発展的に活用することができる。 ○ 統計資料には出典が明示しており、データも最新である。編集上の偏った思想や、様々な要因による差別的な表現も認められなかった。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 親しみやすい内容を精選した「広く見わたす地図」から地方ごとの詳細な地図、さらに世界の州ごとの地図へと段階的に学ぶことによってより高い学習効果が得られる。 ○ 社会科の学習内容と関連付け、地形（標高）の色分け、平野、山地・山脈、河川、湖沼、道路、港湾など、表記されている要素によって教科の目標を達成させようとする意図が明確である。 ○ 初めて地図に触れる3年生が地図帳を抵抗なく使いこなせるように、立体的な町のイラストから平面の地図に変化していくステップを丁寧に扱っている。 ○ 日本の各地方やテーマに沿って分けられた地図を掲載しており、コンパクトで見やすい。全国の各地域をもれなく網羅しており、どの学校の年間指導計画にでも適合できる。 ○ 全国の各地域をもれなく網羅しており、どの学校の年間指導計画にでも適合できる。また自然災害と防災に関する地図、また産業に関する地図では本市の身近な地域も詳しく掲載されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然、災害・防災、産業、貿易など、多様なテーマに沿った地図が掲載されており、それらを比較・関連させて考察することによって、深い思考を促すことができる。 ○ 児童にとって親しみやすい絵記号・イラストや、比較・関連させて考察できる資料を多く配置し、地図表現と関連付けることで、深い学びを実践する工夫がされている。 ○ 社会科学習で重要な意味を持つ地名や国名等は大きく表記することで読みやすくしている。また、レイアウトを統一したり、改行・色彩等を工夫したりして、多様な個性・特性に配慮している。 ○ 世界地図において英語表記も付記されており、QRコードのコンテンツでは世界の挨拶を音声で再生することができるので、外国語活動・外国語の学習でも活用することができる。 ○ 地図帳という性格上、掲載しなければならない要素が大変多くなるが、要素同士が互いに邪魔し合わないよう配置を工夫しており、大変見やすくなっている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての地名に振り仮名が付き、地名を正しく読めるよう配慮されている。また、土地の高さが色分けされ、立体感のある表現となっていることで、土地の様子が捉えやすくなっている。 ○ 地図帳の使い方やポイントを示唆するキャラクターが登場し、説明文が会話形式になっていることで、親しみやすさを感じるよう配慮されている。 ○ 学習上大切な都道府県名や国名等は大きく太くする等、見やすくなるよう工夫されている。また、地図や写真の色彩も鮮明である。 ○ 3年生対応のページは、図や地図が大きく分かりやすいよう配慮されている。また、全ての都道府県を途切れることなく見られるよう工夫されている。 ○ 製本は丈夫な糸がかりで綴じられ、堅ろうである。また、環境に配慮した用紙と植物油インキを使用している。 | | | | | | |

| 種 目 | 算 数 | 発行者の番号・略称 | 2 | 教科書の記号・番号 | 算数 | | 書 名 | | | | |
|-----------------------|--|-----------|----|-----------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|
| | | | 東書 | | 1 1 2 | 1 1 3 | | 2 1 2 | 2 1 3 | 3 1 2 | 3 1 3 |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決の過程を可視化し、基礎的・基本的な概念や性質の理解や技能の習熟を図るとともに、既習事項の活用や新たな課題を見出すことを通して、思考力、判断力、表現力等を高められるよう配慮されている。 ○ 数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を重視し、吹き出しや補助発問を設けることで、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られるよう配慮されている。 ○ 創造的・発展的に考える「それなら」や既習事項を基に考える「同じように考えると」等、多様な実態の児童にとって数学的活動の楽しさや数学のよさを感じられるよう工夫されている。 ○ つまづきやすい内容を問題場面に反映させるとともに、単元の学習進度に応じて記述内容や量に変化をつけ、「書く問題」を苦手とすることが多い当地域の児童の主体的な学びや個別最適な学びにつながる工夫がなされている。 ○ 算数科の目標に即した内容、資料を用い、出所、出典が明示されている。 | | | | | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 気仙沼、南三陸の各「スタンダード」と重なるスパイラルな学習を重視した配列となっており、習熟に時間を要する内容等については、単元を分けて段階的に扱うなどの配慮がなされている。 ○ 目次は、学習の系統性が分かるように工夫され、単元内の学習についてもねらいと内容が分かりやすく示されている。 ○ 学習内容の定着を意図した練習・補充問題や発展・探究を意図した「おもしろ問題にチャレンジ」「算数で読み解こう」等を通して学習が充実するよう配慮されている。 ○ 各学年3週で学習内容を終わられるよう分量が吟味され、理解や定着に時間が掛かる内容については、十分なページ数を加え、時間数が確保できるよう配慮されている。 ○ 児童の発達段階や前後の学年の内容を踏まえた上で、単元相互の関連や領域とのバランス、学習効果や指導時期を考慮して配列を工夫している。 | | | | | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業場面を想定して紙面が構成され、1単位時間の中での数学的活動により、知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等の育成が図られ、立式の根拠や問題解決の道筋を説明するなどの、当地域の児童に必要な能力の向上が期待できる。 ○ 「学びのとびら」で問題解決の過程を可視化して主体的・対話的で深い学びの具体的場面を捉えやすくし、単元導入で対話の視点を基にしなが課題を見出す活動や単元末で総括する活動を通して協働的な学びと個別最適な学びが充実するよう配慮されている。 ○ 練習問題は、二次元コードから正誤判定、ヒント、解説を参照でき、補充問題は2段階のレベルから選択できるなど、教科書の内容に即して児童の自己の学びを調整する配慮がなされている。 ○ 生活科や道徳科との関連で、他者の考えを検討する場面や他教科との関連、被災地域児童の幼児期における生活経験の差について整え、そろえてから学び始められるよう配慮されている。 ○ 学習内容に応じて操作、解説動画、練習問題のデジタルコンテンツは、児童が活用できるように紙面下部に配置され、児童が速やかに個別最適な活用ができるように配慮されている。 | | | | | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 入門期用ではブロックが置きやすく書き込みやすい仕様にするとともに、解説や説明については、発達段階に応じた簡潔で平易な表現や文節改行等により、文章を識別しやすくしている。 ○ 実物の写真や実際の生活場面に即した場面のイラストが多く取り入れられ、生活経験に格差のある当地域の児童が算数と実生活との関連を意識し、学習意欲を高められるよう工夫されている。 ○ 視認性を高めたUDフォント、使用する色数を絞った淡い配色、シンプルな記号等、児童が見やすく、学習に集中しやすいよう配慮されている。 ○ 登場するキャラクターの性別、言葉遣い、服の色への配慮、活動場面における男女比率や性別に応じた役割が生じないこと等、当地域の児童に意識化させたい人権上の配慮がなされている。 ○ 表紙はフィルムで加工され汚損しにくく製本も堅ろうである。また、紙面には環境への配慮から軽量で丈夫な再生紙、植物インキを使用している。 | | | | | | | | | | |

| 種 目 | 算 数 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 4 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 算数 | 書 名 | |
|-----------------------|---|---|-----|---|---|--------|--|
| | | | 大日本 | | 1 1 4 1 1 5 2 1 4 3 1 4 4 1 4 5 1 4 6 1 4 | | 新版 たのしいさんすう 1ねん① 新版 たのしいさんすう 1ねん② 新版 たのしい算数 2年 新版 たのしい算数 3年 新版 たのしい算数 4年 新版 たのしい算数 5年 新版 たのしい算数 6年 |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 数学的な見方・考え方を「ひらめきアイテム」にまとめ、単元末の「見方・考え方をたしかめよう」の問題で学習内容が定着するように工夫している。 ○ 単元末の「しっかりチェック」の復習や、ガイド的に「よくあるまちがい」を提示したりするなど児童の気付きを促し、基礎的・基本的な学習内容が身に付くよう工夫されている。 ○ 「おうちで算数」をきっかけとした家族や地域とのつながりの中で、学習内容を日常生活場面に生かし、有用性を実感できるように工夫されている。 ○ 学習内容の習熟を図るための「プラスワン」や、中学校での学びにつなげるための発展的な内容を取り扱うことで、学習の系統性を意識し、意欲が高まるよう工夫されている。 ○ 児童の生活に即した資料や写真を使用し、資料の出所、出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次に、既習事項と本単元、次年度の単元名が矢印で横並びに示され、児童自身が学びのつながりを意識できるように配慮され、見通しを持って学習できるように工夫されている。 ○ 1単元ごとの目当てを明示していることに加え、児童が見出すことを赤枠、児童に働き掛けることを青枠として提示し、学習内容が指導者・児童ともに分かるようにまとめられている。 ○ 既習事項と関連付けて二次元コードから学習できるとともに、ゲーム的要素を含む資料や会話文から解く「読み取る力をのばそう」の問題を掲載し、思考力を育む工夫がなされている。 ○ 砂時計の印で1単位時間の学習の目安を示し、見通しを持たせるとともに、学年に応じた予備時数を設け、年間指導計画に適合できるように配慮している。 ○ 生活科に合わせて育てたい野菜を表に整理する学習や社会科の町探検に関連した時刻と時間の学習を取り入れるなど、児童の生活に合う教材が配列されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 導入段階の「じっくり深く学び合おう！」の設定と、自分の考えを図や式、文章等に表す手立ての「ウェブコンテンツ」活用の提示があり、自立した学びができるように工夫されている。 ○ 発達の段階に応じた生活経験や身近な場面を設け、子供の問いが生まれる場面などを導入に取り入れ、主体的な個の学びから対話的で深い学びの実現につながるように工夫されている。 ○ 学年段階ごとの学習方法を繰り返し提示し「ノートのかき方の例」では、子供自身の記録方法に加えて指導者側の朱書き例も提示され、自己の学びの調整につながる工夫がなされている。 ○ 全学年において子供の情意面へ働きかける挿絵やモデルとなる授業風景の実写があり、学習に対する創造の広がりにつながる工夫がなされている。 ○ 各ページ番号に二次元コードを設けて、子供の思考に対して直感的に行動化しやすい工夫となっている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表現が明確で、問題の条件と問いの部分を段落で分けるなどの工夫がなされているのとともに、適宜振り仮名を付け、児童が確実に理解できるように配慮されている。 ○ 児童の生活場面や親しみやすいイラストを用いたり、カラーユニバーサルデザインを基にした配色をしたりするなど、児童が学習の意欲を高められるように工夫されている。 ○ 1ページ全体を使い、導入場面を示して明確に問題場面を把握したり、終末場面でのまとめの板書を実写で提示して学びの全容を捉えたりすることができるよう工夫されている。 ○ 発達の段階に応じたデザインやキャラクターを使用したり、図や表をページの左側に配置して書き込みやすくしたりするなど、児童が学習しやすくなるよう工夫されている。 ○ 自然保護のため環境に配慮した用紙を使用している。軽量ながらも強度があり、長期間使用できるよう配慮されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 算 数 | 発行者の番号・略称 | 1 1 | 教科書の記号・番号 | 算数 | | 書 名 |
|-----------------------|--|-----------|-----|-----------|-------|-------|------------------------------|
| | | | 学図 | | 1 1 6 | 1 1 7 | |
| | | | | | 2 1 6 | 2 1 7 | みんなと学ぶ しょうがっこうさんすう 1ねん上 1ねん下 |
| | | | | | 3 1 6 | 3 1 7 | みんなと学ぶ 小学校 算数 2年上 2年下 |
| | | | | | 4 1 6 | 4 1 7 | みんなと学ぶ 小学校 算数 3年上 3年下 |
| | | | | | 5 1 6 | 5 1 7 | みんなと学ぶ 小学校 算数 4年上 4年下 |
| | | | | | 6 1 6 | 6 1 7 | みんなと学ぶ 小学校 算数 5年上 5年下 |
| | | | | | | | みんなと学ぶ 小学校 算数 6年 |
| | | | | | | | みんなと学ぶ 小学校 算数 6年 中学校へのかけ橋 |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日常の事象について算数の目で捉える場面を取り上げ、児童が新しい課題に主体的に取り組めるよう工夫されている。 ○ 巻頭ページでは「算数の学び方（学習の進め方）」、次ページでは「ノート名人になろう（ノートの基本的な書き方）」等、児童の主体的・対話的で深い学びを支える学び方が示されている。 ○ 低学年では問題場面や活動内容を親しみやすいものにし、高学年では中学校の学習内容へのギャップをなくすために別冊の教科書を作成したりするなど、幼・保・小・中・高の発達段階や特性について考慮されている。 ○ 単元の学習では、次の学びにつながる吹き出しを挿入することで、今日の学びが明日の学びにつながっていくよう算数の系統性を意識した内容となっている。 ○ 他教科と関連する題材を使用し、児童が興味や関心を持てる内容となっている。各資料の出所や出典が巻末等にきちんと明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 2年以上の学年では、「考え方モンスター」のコーナーが設けられている。このモンスターが側注として示されるなど、系統的に理解が深められるよう配列が工夫されている。 ○ 1単位時間ごとに学習問題、めあて、まとめが分かりやすく示されている。学習のめあてについては、「表したいな」「比べたいな」「知りたいな」などと記載されており、児童が何をどのように学んでいけばよいか見通しのもてる配列となっている。 ○ 「時刻と時間」「長さ」「単位量あたりの大きさ」「割合」等の児童にとって理解の困難な学習については、細かなステップに分けられ、基礎・基本が定着できるように配慮されている。 ○ 本文と練習問題の分量のバランスや、無理のない時数配分に配慮しながら、全体の課題が精選されている。余裕をもった内容となっているため、各学校の年間指導計画に広く適合する。 ○ 2学期制、3学期制のどちらにも対応できる単元配列となっている。日本各地の行事等が取り上げられており、他教科とも関連付けながら学ぶことができる配列となっている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年の巻末に、基礎・基本を習熟するための「ほじゅう問題」、応用的・発展的な課題を解決するための「ふかめよう」が掲載されており、個々の習熟に柔軟に対応できるようになっている。 ○ 「？を発見」では、場面イラストを用いて日常の事象を示し、児童の興味・関心を高める工夫がなされている。また、複数名で話し合っている場面や多様な考え方が示されており、対話的な学びを実現できるように配慮されている。 ○ 巻末の「ほじゅう問題」には解答も掲載されており、自己の学びを調整しながら学習できるよう配慮されている。 ○ 環境教育や安全・防災教育、伝統文化、SDGs等、他教科や総合的な学習の時間との関連を図りながら学べるページが設けられており、気仙沼・南三陸地区の今日的な教育課題と算数科との関わりをもたせた学習が期待できる。 ○ 各学年の下巻巻末「〇年生で見つけた見方・考え方」、6年別冊「算数で見つけた見方・考え方」では、これまでの学習の数学的な見方・考え方がまとめられている。また、目的に応じた写真や図表、二次元コード等が適切に配置されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の発達段階を考慮した文字を使用し、簡潔で分かりやすい表現、文章となっている。 ○ 児童が親しみを持てるように、数学的な考え方を「考え方モンスター」として示したり、現代的なイラストを用いたりしている。 ○ 文字はUDフォントを基本とし、数字は目立つように少し太い字体になっている。字の大きさは発達段階に応じて調整され、印刷は明るい仕上がりになっている。 ○ 課題や学習のまとめが一目ですぐに分かるように工夫されているとともに、導入の場面では、答えの見えないレイアウトにして思考を促すことができるように工夫されている。 ○ 表紙・裏表紙にはコーティングが施され、汚れや破損に強い仕様となっている。製本は耐久性・耐熱性に強いPUR製本となっている。再生紙の使用や化学物質をおさえた植物油インキの使用等、環境やアレルギーに対する配慮がなされている。 | | | | | | |

| 種 目 | 算 数 | 発行者の番号・略称 | 1 7 | 教科書の記号・番号 | 算数 | | 書 名 | |
|-----------------------|---|-----------|-----|-----------|--|---|--------|--|
| | | | 教出 | | 1 1 8 2 1 8 2 1 9 3 1 8 3 1 9 4 1 8 4 1 9 5 1 8 6 1 8 | しょうがくさんすう1 小学算数2上 2下 小学算数3上 3下 小学算数4上 4下 小学算数5 小学算数6 | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年を通じて「はてな?」「なるほど!」「だったら!？」を学習の基本展開として学び方を設定し、数学的活動が展開されるよう配慮されている。また、目的意識を持って数学的活動に取り組めるよう教材や問題提示が工夫されている。 ○ 1単位時間の学習や単元末、家庭学習の各段階で、習熟を図るための練習問題が豊富に設けられ、基礎的・基本的な学習内容が確実に定着するよう工夫されている。 ○ 身の回りの様々な場面、さらには社会全体に関わる事象を通して、学力や生活経験が多様な当地域の児童が算数の楽しさや活用するよさを実感できるよう工夫されている。 ○ 学年間のつながりを踏まえた内容構成になっており、「算数のミカタ」で、前学年までの数学的な見方・考え方が繰り返し参照できるとともに、次の問題解決に生かせるよう配慮されている。 ○ 日常的な事象を算数に結び付けた内容になっている。資料にも偏りがなく、出所、出典が明示されている。 | | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元導入で既習事項との関連を図りながら学習内容を広げ、巻末の「学びのマップ」では既習事項の一覧を掲載して関連する内容を適宜確認できるよう配慮されている。 ○ 単元導入時に身近な題材から算数の問題を発見させるなど、単元のまとまりで目的意識を持って学習が進められるよう工夫されている。 ○ 家庭学習や習熟度別に使える「ステップアップ算数」は、経済面で格差があり、特性や学力が多様な当地域の児童が基礎的・基本的な内容の定着と発展的な学習を進める上で適している。 ○ 標準時数に対して学年に応じた予備時数を設けており、無理なく習得することができるように工夫されている。 ○ 生活経験や経済面で格差のある当地域の児童も学校生活を円滑に始めたり生活経験をきっかけに学習を始めたりできるように配列が工夫されている。 | | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元末の「4コマ漫画」で学んだことのよさを実感したり、数学的な見方・考え方を楽しく振り返ったりすることができるよう工夫されている。 ○ 児童が進んで関われる教材を取り上げ、数学的活動の過程を「はてな?⇒なるほど!⇒だったら!？」という問いの連続性で構成し、主体的・対話的で深い学びが実現されるよう工夫されている。 ○ 巻末の練習問題「ステップアップ算数」は、児童の習熟度に応じて問題量や難易度を調整できるよう工夫されている。 ○ 当地域の重点施策であり社会的実践課題でもある、防災教育、環境保全、SDGs、情報活用能力の育成等について取り上げ、他教科や総合的な学習の時間との関連を図ることができるよう配慮されている。 ○ 児童が自ら学習を振り返り、分からない箇所の確認ができるように、学習の手引きや図表、二次元コード等が配置され、個別最適な学びを促す工夫がなされている。 | | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学年に応じた簡潔な文章表現であり、固定的なイメージを持たせないよう多様性や人権について配慮されている。 ○ 単元の導入で、児童に興味・関心を持たせる題材を取り入れ、学習意欲を高めるよう工夫されている。 ○ 発達の段階に応じた文字サイズや読みやすい改行、余白を生かしたレイアウト等、集中することに配慮を要する児童も落ち着いて学べる紙面づくりに配慮されている。 ○ 図表やイラスト等は、児童の発達の段階を踏まえた大きさや配置がなされている。 ○ 製本は堅ろうで、環境やアレルギー等に配慮し、再生紙と植物性インキを使用している。紙は軽量で児童の身体的負担に配慮され、学年によっては分冊されている。 | | | | | | | |

| 種 目 | 算 数 | 発行者の番号・略称 | 6 1 | 教科書の記号・番号 | 算数 1 2 0 1 2 1 2 2 0 2 2 1 3 2 0 3 2 1 4 2 0 4 2 1 5 2 0 6 2 0 | 書 名 | わくわくさんすう 1 すたあと ぶっく わくわくさんすう 1 わくわく算数2上 2下 わくわく算数3上 3下 わくわく算数4上 4下 わくわく算数5 わくわく算数6 |
|-----------------------|--|-----------|-----|-----------|--|--------|--|
| | | | 啓林館 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的に学習するモデルとして吹き出しの発言が工夫されている。特に価値付けたい数学的な見方・考え方はマーカーで強調し、統合的・発展的に考えられるよう配慮されている。 ○ 「じゅんぴ (レディネスチェック)」「単元とびら (生活場面・既習事項との関連)」「学びのまとめ」を設定し、系統的かつ発展的に、共同的な学び合いが展開できるよう構成されている。 ○ 全児童に配付されたタブレット端末を用いて視覚的に学べる。児童に身近な題材や既習内容をベースとした導入、思考の流れに沿った展開など学習意欲を高めるための構成が工夫されている。 ○ 単元の導入で探究する題材を用い、単元末には発展的に取り組める課題例を示すなど、児童が学びを生活や学習に生かそうとしたり、算数の有用性を実感したりできるように工夫されている。 ○ 児童にとって身近な教材や、防災・減災、環境問題等の今日的な社会課題が幅広く取り上げられている。統計資料は可能なかぎり最新のものが使用されており、出所、出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 同一領域の内容を連続しないようにして興味が持続するようにしたり、類似した内容を複数の単元に分けて習熟の時間が確保できるようにしたりと、学習の効果が上がるよう配慮されている。 ○ 数学的活動を通し見通しをもって学習するため、単元と1単位時間のめあてが明示されている。単元末には「学びのまとめ」があり、児童が学びを振り返ることができるようにしている。 ○ 既習内容を振り返り内容を統合的・発展的に深められるように配列が工夫されている。索引には算数用語が明記されており、本地域の児童が苦手とする「書く問題」への手助けとなり得る。 ○ 3学期制 (南三陸町)、2学期制 (気仙沼市) いずれも、学期の切れ目が単元途中にならないように配列されている。余裕を持った時間配当、他教科との関連への配慮により対応の幅が広い。また、複式学級での指導に対応して、関連する領域の単元が同時期に位置付けられている。 ○ 「算数の自由研究」のページで長期休業に合わせた取組を促すなど、児童の生活との関連が図られ、季節の実感や意欲を持って学習に向かえるように工夫されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 数学的活動の中で、主体的に見通しを立てたり根拠を持って考えを進めたりする児童の様子を例示し、知識・技能の習得と主体的に学習に取り組む態度の育成がなされるように工夫している。これにより、立式の根拠を説明するなどの、本地域の児童に必要な能力の向上が期待できる。 ○ 日常事象や既習事項を基にした主問題に「めあて」「まとめ」を明記することで目的を持てるようにし、登場人物の対話場面を例示して主体的・対話的に学ぶことを意識できるようにしている。 ○ 巻末の「もっと練習」に補充の基本問題と挑戦問題を載せ、柔軟に取り組めるようにしている。また、単元末の「たしかめよう」で児童自身の自己評価や相互評価ができるよう配慮している。特別支援教育に関して、専門家による監修がなされているなど、個性や能力に広く対応している。 ○ 他教科との関連を図った内容で算数の有用性を示すとともに、「言語力」「道德教育」「防災・減災」「環境教育」「STEAM教育」に関して専門家の監修を受けた配慮がなされている。 ○ 児童が実感をもって理解できるように、図表や写真の配置が工夫されている。また、必要に応じて参照できるように学習の進め方が明示されている。QRコードが問題の近くに配置され、児童がタブレット端末を用いて容易にアクセスできるよう工夫されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学年に応じた配当漢字を用い、初出にはふりがながつけられている。文章の改行位置を意味の区切りで行ったり、専門家が言語力に関する監修を行ったりして読みやすい文章にしている。 ○ 生活に密着した題材を写真や挿絵で示したり、児童が実際に活動している場面を写真や動画(QRコンテンツ)で提示したりして、児童が実感を持って内容を理解できるように配慮されている。4年生の巻末に簡易的な分度器が綴じこんであるなど、経済的格差等への配慮がある。 ○ 児童の発達段階と国語科との関連を考慮し、教科書体を基本としてUDフォントが使用されている。また、CUDの観点から、色だけで判断する情報は扱わない配慮がなされている。 ○ 図表等を問題文の周囲に適切に配置し、内容を捉えやすくしている。また、書き込みスペースを設定して紙面が文字で埋まらないようにするなどして、読みやすさへの配慮がなされている。 ○ 開きやすく強度が保てる「あじろ綴じ」で、堅牢に製本している。再生紙や化学物質を抑えた植物油インキを使用し、環境やアレルギーに配慮している。軽量化もなされている。 | | | | | | |

| 種 目 | 算 数 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 1 1 6 日 文 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 算 数 1 2 2 1 2 3 2 2 2 2 2 3 3 2 2 3 2 3 4 2 2 4 2 3 5 2 2 6 2 2 | 書 名 | しょうがくさんすう1① しょうがくさんすう1② 小学算数2上 2下 小学算数3上 3下 小学算数4上 4下 小学算数5 小学算数6 |
|-----------------------|---|---|------------------|---|---|--------|---|
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的に学習に取り組むことができるよう「学び方ガイド」によって学習全体を導き、問題解決の「見方・考え方」を示し、筋道の通った表現となるような構成で工夫されている。 ○ 単元末に児童がつまづきやすい問題や数学的な見方・考え方を働かせる問題、単元の学習内容を確かめる問題を設定し、子供の気付きの中で確実な定着につながるよう配慮されている。 ○ 「使ってみよう」では、学習と生活場面を結びつけた内容で、子供の学びの楽しさを促しながら、日常の事象を数理的に捉えるおもしろさや意義を実感できるよう工夫されている。 ○ 低学年からの積み上げを意図して3学年以降に「倍」と「割合」に特化した単元を新設し、4学年以降の学習につながるように工夫されている。 ○ 算数の特性に応じた学習内容、資料となっており、出所、出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 関連領域を前後に配置することで、子供の思考に添った学習が展開され、学習内容の定着に配慮した配列になっている。 ○ 新しい単元に入る前に、これから学習する内容の既習事項を指導者と子供とで確認する「次の学習のために」を設け、既習事項と単元の学習との系統性が分かるように示されている ○ 「次の学習のために」「単元」「学習をたしかに」「復習」「次の単元や学年へ」とつながりを大切に単元構成となっており、基礎的・基本的な内容の確実な定着と発展的な学習を進めるための配慮がなされている。 ○ 標準時数の範囲内でゆとりをもって指導できるような分量で構成されているため、各学校の年間指導計画に広く適合できる。 ○ 日常生活で算数を生かす視点もてるように、他教科や季節との関連を意識した配列となっており、児童の生活経験に合わせて学ぶことができる配列となっている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学び方や、見方・考え方の一覧を示し、知識・技能の習得と主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されている。また、児童の主体的な学びに向け指導を改善できるようにしている。 ○ 自力で考え交流して解決するまでを「自分で みんなで」でイメージできる。教室での学習場面を想定し、主体的・対話的で深い学びのための手立てが示してあり、「資料や文章、話の組立てなどを工夫して発言する力」の育成や協働的な学びの実現に向けた授業改善に活用できる。 ○ 既習事項を押さえ、学習をスムーズに始められるようにしている。デジタルコンテンツを用い、児童が自力で苦手や躓きに対応できるようにしている。「算数マイトライ」には、手応えがあり数学的な面白さを感じられる問題が用意され、主体的に取り組むことができるようにしている。 ○ 索引に英語表記を入れたり、問題解決場面で道徳性を養ったりと、日常生活と算数との結びつきを強調している。また、SDGsや防災・安全教育等との関連についても配慮されている。 ○ 場面を視覚的に表現し、数学的活動を具体的にイメージできる挿絵や写真等が効果的に配置されている。振り返りや学習を深めるデジタルコンテンツのQRコードが適切に配置されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 文字はUD教科書体、UDゴシック体が使用され、文節で改行し読み取りやすくなっている。また、文字組は行間をあけて、ゆったりと読みやすくなっている。 ○ 全学年、優しいイラストで親しみが持てるつくりとなっている。また、1年用は、幼・保・小の連携を意識した絵本仕立てに、5年用と6年用は、既習事項を振り返り、1年間を見通した学習ができるように1冊に、それぞれまとめられている ○ 視認性の高いUDフォント、カラーUDを採用している。本文には色文字を使わないようにしたり、図形はクリーム色で統一したりし、目に優しい色づかいとなっている。 ○ 右上に「単元名」が配置され、何を学習しているか一目で分かるようになっている。イラストは多様性を尊重したものになっている。 ○ 本文用紙は、通常よりも軽くて裏移りの少ない再生紙を使用し、植物油インキを使って印刷している。また表紙等は長期間の使用にも耐え得る耐水性や堅牢性を考慮した仕様となっている。 | | | | | | |

| 種 目 | 理 科 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 2 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 理 科 3 0 7 4 0 7 5 0 7 6 0 7 | 書 名 | 新編 新しい理科 3 新編 新しい理科 4 新編 新しい理科 5 新編 新しい理科 6 |
|---|--|---|----|---|--|------------|--|
| | | | 東書 | | | | |
| 1 内 容 に 関 する こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせながら、見通しを持って観察、実験などの学習活動に取り組み、問題解決に必要な資質・能力が育成されるように工夫されている。 ○ 導入の「レッツトライ！」で自然の事物・現象について問題を見いだす活動が設定され、児童の興味・関心を高めたり、直接体験に結び付けたりすることのできる内容になっている。 ○ 学習の前後の問い掛けにおいて自分の考えと比較する場面を設定し、児童が自己の成長を実感したり、社会的問題に目を向けたりできるよう、学習意欲を高められる内容になっている。 ○ 単元末に社会生活や他教科や領域につながる「こんなところにも！」を掲載し、理科の有用性を実感させたり、他地域の情報を得ることができたりするよう、発展的な内容を扱っている。 ○ 特に自然災害や防災・減災教育に関する内容については、最新の技術やデータに基づいた多様な図版が偏りなく採用されており、その出所や出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 前学年までの学習や他単元で学習したこととの系統性を意識させるために、「思い出そう」のコーナーが配置されている。児童が二次元コードを活用して学習効果を高める工夫がされている。 ○ 教科の目標を踏まえ、単元のねらいが明確で、段階的に学習が深まるように内容がまとめられている。さらに、SDGsやプログラミング学習などと関連付けながら配列されている。 ○ 各単元末に「ふりかえろう」「たしかめよう」で学びの跡を確認したり、基礎・基本的な内容の定着を図ったりすることができる。さらに、発展的な内容の提示で学習に広がりを持たせている。 ○ 内容の分量にはゆとりがあり、観察や実験の内容が精選されている。2学期制でも3学期制でも学習に連続性を持たせるように、無理なく配列されている。 ○ 季節や気候に関連する内容については、1年間のうちの前半に配列されており、地域や実態に合わせている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ふりかえろう」と「たしかめよう」で基礎的・基本的な知識・技能の定着の育成を図り、巻末には児童が主体的に学習に取り組める「理科の調べ方を身につけよう」が掲載されている。 ○ 「のぼそう！理科の力」のキャラクターの吹き出しが対話的な学習のモデルとして活用できる。また、地域の地理的条件のために直接体験が難しい内容の扱いが写真等で工夫されている。 ○ 児童の多様な学び方に対応するために、ノートやタブレット端末等の学習ツールに配慮されている。また、既習事項や発展的な内容の扱い等を選択しながら学習できるように工夫されている。 ○ 他教科や領域等と関連付けながら学習できるように配慮されている。「わたしの研究」では、探究的な学習につながるように「学び方を学ぶ」コーナーが設定されている。 ○ 挿絵、図表及び写真等は適切に配置されている。単元内に二次元コードが掲載され、繰り返し活用することで、学習の効果を上げたり、指導に活用したりできるように工夫されている。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表記や表現が学年相応であり、見開き単位で初出の漢字に振り仮名を付けている。各項目間の行間が広く、読みやすく理解しやすいように配慮されている。 ○ 問題解決の過程を1本の線をつなぎ、学びの流れを分かりやすく示すことで、児童が理科の学習に親しみや魅力を持って主体的に学べるよう工夫されている。 ○ A4版の紙面で、書体と配色ともにユニバーサルデザインが採用されており、活字の大きさや字体が適切である。イラストや写真が大きく掲載され、印刷も鮮明である。 ○ 導入で大きな写真や見やすい図表を採用し、考察場面で対話の具体を示すことで、主体的で対話的で深い学びの実現を意識した構成になっている。 ○ 破れにくい軽量な用紙を使用し、堅ろうな製本である。環境に配慮して、再生紙や植物油インクを使用している。 | | | | | | |

| 種 目 | 理 科 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 4 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 理 科 3 0 8 4 0 8 5 0 8 6 0 8 | 書 名 | 新 版 の し い 理 科 新 版 の し い 理 科 新 版 の し い 理 科 新 版 の し い 理 科 | 3 年 4 年 5 年 6 年 |
|---|--|---|-------------|---|--|------------|--|--|
| | | | 大 日 本 | | | | | |
| 1. 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って主体的・対話的に問題解決の活動を繰り返しながら力が育成されるように工夫されている。また、それが深い学びの実現につながっている。 ○ 理科を学ぶ意義や有用性、学んだことを日常生活との関わりの中で捉え直し、身近な事物・現象を重視した問題解決が展開されることで「自分ごと」として学べるようになっている。 ○ 理科の見方・考え方を大切に捉え、児童が意欲的に取り組めるような観察、実験を採用し、興味・関心を持って学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 身に付けた知識や技能が、活用する力につながるように工夫されている。また、豊富な資料から学んだことを、実生活の中の事象として捉えることができるように内容が工夫されている。 ○ 今日の課題に関わる話題が偏りなく取り上げられており、それらの資料の出所、出典も明らかにされている。 | | | | | | | |
| 2. 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 導入に既習事項や経験したことを想起させる内容を提示し、まとめでは「りかのたまてばこ」などで発展的な内容を紹介することで、学習の効果が段階的に上がるように工夫されている。 ○ 各単元を、「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」と段階的に内容をまとめ、ねらいに沿って学習が展開されるようになっている。 ○ 「確かめよう」で基礎的・基本的な内容の確実な定着をねらい、「学んだことを生かそう」で発展的な学習が進められるよう配慮されており、主体的に学ぶサイクルの構築が意識されている。 ○ 各単元の観察、実験の方法が精選され、地域や学校の実態に合わせて、ゆとりを持って指導を進めることができるため、2学期制、3学期制の年間指導計画にも対応できるようになっている。 ○ 飼育・栽培・採集を行う動植物を複数取り上げており、地域や学校の実態に合わせて実践できるように配慮されている。 | | | | | | | |
| 3. 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 5・6年の巻末に掲載されている「チャレンジ問題」は、理科の見方・考え方を使って考えたり説明したりするものになっており、活用する力を育成しようと意図的に設定されている。 ○ キャラクターの吹き出しが対話的な学習のモデルとして活用できる。また、単元導入の場面設定で、児童の興味・関心を高め、主体的な学習を展開できるように工夫されている。 ○ 観察や実験、まとめの方法が複数掲載され、児童の多様な個性や能力に広く対応できるように工夫されている。また、生活科から理科へ、さらに中学校へのスムーズな移行を意識している。 ○ SDGsの考え方とつながる防災や環境、伝統や英語などの関連内容をマークで示し、他教科や総合的な学習の時間に生かしたり、発展的に扱ったりすることができるようになっている。 ○ 巻末にノートの手書き方や実験器具の使い方が示されており、挿絵や図表が豊富である。また、科学館等の見学が困難な地域にあっても、格差を減らすために二次元コードが掲載されている。 | | | | | | | |
| 4. 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表記や表現が簡潔で分かりやすく、配当学年以上の漢字で、漢字で表現したほうが分かりやすい用語については、逐次振り仮名を付けている。 ○ 写真やイラスト、グラフなどは、学習内容に合った適切なものを掲載し、児童が理科に親しみや魅力を感じながら、主体的に学習が進められるような配列になっている。 ○ 活字の大きさや行間は、児童の発達段階に配慮され、字体や配色は特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮したものになっている。写真やイラストの色彩も鮮やかで、印刷も鮮明である。 ○ 見開きページにダイナミックな写真を掲載し、レイアウトやバランスが適切である。観察、実験などの図表も見やすく配列されている。 ○ 紙質は上質な強度を持ち、軽量である。表紙は汚れにくい「UVラミネート」を施すなど、堅ろうに仕立てられており、印刷には環境に配慮した植物油インクが使用されている。 | | | | | | | |

| 種 目 | 理 科 | 発行者の番号・略称 | 1 1 | 教科書の記号・番号 | 理科 3 0 9 4 0 9 5 0 9 6 0 9 | 書 名 | みんなと学ぶ 小学校理科 3年 みんなと学ぶ 小学校理科 4年 みんなと学ぶ 小学校理科 5年 みんなと学ぶ 小学校理科 6年 |
|-----------------------|---|-----------|-----|-----------|--|--------|--|
| | | | 学図 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学年ごとに育てたい資質能力を「理科モンスター」というキャラクターで示し、単元毎に配置することで、児童が親しみを持って学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 観察、実験及び飼育・栽培など、児童を直接体験に導くよう表現されており、自然を愛する心情を育てる工夫がされている。 ○ 児童の身の回りで起きる生活体験を単元の導入に取り上げることで問題解決の意欲を高め学習と生活を結び付ける工夫がなされている。 ○ 観察・実験などの活動が精選されていると共に、結果を書き込めるなどの工夫がされており、余裕を持った学習が進められる内容となっている。 ○ 取り扱っている資料や内容が発達段階に応じて適切にバランスよく配置され、掲載資料の出所・出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 前学年の学習内容を踏まえた系統性のある配列となっており、既習事項を話し合いに生かせるように学習内容が配列されている。 ○ 単元の冒頭で目標に沿った学習の流れが示されており、問題のとらえ方、調べ方、まとめ方を示すなど、学習内容の系統性が分かりやすく示されている。 ○ 実験結果から考察した「わかったこと」が実験・観察の「問題」と正対するように作られ、「資料」で生活場面との関連を示すなど、学習内容が定着しやすいように配慮されている。 ○ 学習内容や取り上げる発展的な学習が精選されており、各学校の実態に合わせて単元の構成や活動を変更しても標準時数内で実施できるように配慮されている。 ○ 地域による植物の生長の違いに合わせて適切な時期が示されており、単元の組み換えによる多様な地域への対応が可能となるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元毎に、思考力・判断力・表現力を高める「伝え合い」の場面を設定し、自分の考えを再構成することで学びを深める配慮がなされている。 ○ 学びを振り返り説明活動を行う場面を設定することで、多様な考えを基に学びを深め合い、主体的・対話的で深い学びが行われるように配慮がなされている。 ○ 児童が学習の記録や振り返りにおいて、その方法を選択できるように複数の例を提示し、能力に応じて自己の学習活動を選べるように配慮されている。 ○ 他教科との関連を意識した資料や、日常生活の一場面を資料として使用することで、学習内容を相互に関連付けた発展的な学びとするよう配慮されている。 ○ 二次元コードを豊富に掲載し、学習の段階に合わせた情報を、児童が自主的に取得し学習に使えるように配慮されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表記、表現が学年相応であり、観察、実験の手順を写真と短い文章で示すなど、どの子供たちも見て分かるよう工夫している。 ○ 学習の流れをチェックしながら進められるよう工夫され、単元の振り返りではものづくりを位置付けるなど、理科に対して親しみや魅力が感じられる配列になっている。 ○ 書体、配色ともにユニバーサルデザインの視点が取り入れられ、活字の大きさも適切である。また、写真や図版などの色彩は、鮮明に印刷されている。 ○ 観察、実験の結果の写真を比較しやすいように並べて示すなど、子供が見て分かりやすいレイアウトになっている。 ○ 開きやすく、年間を通した学習にも十分に耐えうる堅ろうなつくりになっている。環境に配慮した用紙と植物油インクを使用している。 | | | | | | |

| 種 目 | 理 科 | 発行者の番号・略称 | 17 | 教科書の記号・番号 | 理科 310 410 510 610 | 書 名 | みらいをひらく 小学理科 3 |
|-----------------------|--|-----------|----|-----------|--------------------------------|--------|----------------|
| | | 教出 | | | | | 未来をひらく 小学理科 4 |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科の目標に則り、理科の見方・考え方を働かせて問題解決を進められるように児童の発言例にマークを付け、学習の中で気づくように構成されている。 ○ 児童が問題を見つけ解決に至るまでの流れを明確につかめるように構成され、学年の発達段階に応じた育てたい資質・能力を分かりやすく明示している。 ○ 身近な事象を教材として取り上げることにより、児童の気付きや疑問から学習を進められるようにし、学習意欲を高められるように配慮している。 ○ 学習内容、観察、観察などの活動が精選されており、標準時数内で余裕を持った学習活動が行えるように配置されている。 ○ 観察、実験などの手順や記録方法が分かりやすく掲載されており、取り組みやすい配列になっている。また、資料の出所、出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 系統性を意識した配列になっており、単元の冒頭で前学年の学習内容との関連を振り返りやすい構成になっている。 ○ 単元で習得させたい内容を「結論マーク」として明確にし、学習内容の振り返りにおいて定着を確かめやすく構成されている。 ○ 学習内容の振り返りから学びを広げ、発展していけるように各コーナーを配置し、関連付けて考えられるように配慮されている。 ○ 観察、実験の方法を精選することで学習にゆとりを持って進められるよう構成し、考える内容を焦点化することで学習内容の定着がしやすいように配慮されている。 ○ 各地域において動植物の生長の違いに配慮して進められるように、単元を入れ替えた学習の構成にも対応しやすい配列となっている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元末に科学的な言葉を使って説明する活動を配置しており、思考力・判断力・表現力が育成できるように配慮されている。 ○ 「見つけよう」「学びを広げよう」など学習の各段階で様々な事象や現象に触れ、考えを深められるように構成を工夫し、主体的・対話的で深い学びを実現できるように配慮されている。 ○ 単元の終末で導入を振り返るように構成され、児童が自分の学びを確かめられるように構成されている。 ○ 「思い出そう」「資料」「科学のまど」では他教科との関連を示し、学習内容が相互に関連していることが意識できるように配慮されている。 ○ 児童が学習を進めながら、学習内容や観察、実験と関連のある情報を閲覧できるように二次元コードが豊富に配置されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 当該学年の配当漢字については、単元初出に振り仮名を付ける配慮がなされ、平易で簡潔、正確な表記、表現になっている。 ○ 本文とイラストや写真をバランスよく配置し、単元ごとにキャラクターを設定するなど、児童が親しみや魅力を感じながら、主体的に問題を解決していくことができるよう配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインのフォントを使用し、発達段階に応じた読みやすい活字の大きさと行間になっている。イラストや写真が正確な色彩で再現されており、印刷も鮮明で見やすい。 ○ 問題解決の過程が統一感のあるマークで示し、学習の流れが見やすいレイアウトになっている。大判紙面のメリットを生かしたダイナミックで鮮明な写真やイラストが適切に配置されている。 ○ 製本は体裁がよく堅ろうに仕立てられている。再生紙と植物油インクを使用し、表紙には耐水加工と防菌加工が施され環境へ配慮している。 | | | | | | |

| 種 目 | 理 科 | 発行者の番号・略称 | 2 6 | 教科書の記号・番号 | 理科 3 1 1 4 1 1 5 1 1 6 1 1 | 書 名 | 楽しい理科 3年 楽しい理科 4年 楽しい理科 5年 楽しい理科 6年 |
|-----------------------|---|-----------|-----|-----------|--|--------|--|
| | | | 信教 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びが達成されるよう「理科の学習の進め方」が示されており、問題解決学習が進めやすい単元構成になっている。 ○ 単元のまとめや振り返りの中で「やってみよう」が設けられており、学んだことを日常生活の関わりの中で、捉え直せるような構成になっている。 ○ 地域の特色ある、身近な自然の事物・事象が写真や挿絵で示されており、児童が関心を持って問題を見出すことができるよう工夫されている。 ○ 観察、実験の手順や方法を写真や絵図で分かりやすく示してあり、安全面での配慮事項も明記されている。 ○ 問題解決のための資料やデータが偏りなく掲載されており、資料の出所や出典がしっかりと明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 既習事項を想起し、つながりを意識して学習できるように配慮されており、「はってん」として、今後学習することについて示されるなど、学年間の系統性が明確な構成になっている。 ○ 理科の目標を踏まえて、単元ごとにねらいが達成されるように学習過程が共通の項目で設定されている。 ○ 学習問題に対し、観察・実験・調査を通して分かったことを、箇条書きで簡潔にまとめてある。そのことにより、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図られている。 ○ 掲載資料を多くし、観察、実験の内容を精選することで、ゆとりを持って学習を進めることができるよう配慮されている。 ○ 観察、実験に使用する動植物の種類を、複数提示しており、それぞれの地域の気候や環境等の実態に合わせて学習できるように配慮されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習展開の中で「見つけよう」のマークが示されており、「話し合い活動」や「体験活動」が設定されていることで、児童が問題意識を高められる工夫がなされている。 ○ 児童の身近な事物・事象を単元の導入、掲載資料等に多く取り入れることで、興味や関心を持たせ、主体的な学びを引き出す工夫がなされている。 ○ 挿絵の会話文の中で、実験から分かることや考察すべき事柄を示したり、発展的な思考を促したりすることで、児童の多様な個性に対応している。 ○ 「人と環境」の単元で、「持続可能な開発目標」SDGsについて掲載されており、理科学習の総まとめの位置付けがなされている。 ○ 巻末に「インターネットで調べよう」のページがあり、一年間の学習の掲載ページと関連動画等の情報がまとめて掲載されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学年配当以上の漢字に振り仮名を付けたり、写真とイラストを適宜掲載したりするなど、表記、表現が学年相応である。 ○ 見開きページでは連続した表現となるような構成を取り入れたり、イラストや図表を掲載したりすることで、児童の追究意識や意欲を高められるような配列になっている。 ○ 「問題」「観察」「分かったこと」などは、活字の大きさや字体を変え、学習の流れが見やすくなっている。写真や挿絵の色は、鮮やかな色彩で印刷されている。 ○ AB版サイズで紙面にゆとりがあり、児童の興味・関心を高めるような写真や図表が大きくバランスよくレイアウトされている。 ○ 製本は体裁よく、軽量な用紙で堅ろうに仕立てられている。再生紙や植物油インクを使用するなど、環境への配慮がなされている。 | | | | | | |

| 種 目 | 理 科 | 発行者の番号・略称 | 6 1 | 教科書の記号・番号 | 理科 3 1 2 4 1 2 5 1 2 6 1 2 | 書 名 | わくわく理科 3 わくわく理科 4 わくわく理科 5 わくわく理科 6 |
|-----------------------|--|-----------|-----|-----------|--|--------|--|
| | | 啓林館 | | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決の流れを「学びのサイクル&ライン」とし、見通しを持って観察、実験に取り組める構成になっており、理科の見方・考え方を身に付けることができるよう配慮されている。 ○ 単元末の「活用しよう」や「くらしとリンク」では、日常生活で学びを生かし、理科を学ぶ意義や有効性を意識できるよう工夫されている。 ○ 単元の導入で、学ぶべき身近な事物・事象を大きな写真で提示し、児童の探究心が高まるような工夫がなされている。 ○ 観察、実験の精選が行われている。「まとめノート」で学習内容の定着が図られており、「理科の広場」や「with the Earth」等でより発展的な学習へつながるよう配慮されている。 ○ 全国の様々な地域の自然を掲載し、日本の地形や自然の様子を知ることができるよう配慮されている。また、出所、出典が明確に示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された内容の系統性を踏まえ、児童が学年内、学年間での既習事項を生かし、学習に取り組めるよう配列されている。 ○ 理科の目標を踏まえて、単元ごとのねらいが示されており、その達成のために「学びのサイクル」として学習の流れが統一されている。 ○ 挿絵の吹き出しの中に、「見方・考え方マーカー」が引かれており、児童の主体的な問題解決の補助がなされている。 ○ 紙面の構成要素カラーや単元導入の構成要素を3・4年、5・6年で統一し、複式学級への対応がなされている。2学期制、3学期制のどちらにも対応できる構成となっている。 ○ 栽培植物の種類に幅を持たせ、それぞれの地域の気候に合わせた指導ができるような教材選定がなされている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元末に「たしかめよう」として、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る問題を掲載し、理解度に応じて解説動画を視聴することで、個別最適化が図られている。 ○ 課題に対して予想を立てたり結果を考察したりする場面において、理科の見方・考え方を働かせた対話的な学習活動が示されており、深い学びにつながるよう工夫されている。 ○ 単元末の「スマート解説」では、「たしかめよう」「活用しよう」の問題の解説動画を視聴することができ、児童の多様な個性や能力に対応している。 ○ 「理科の広場」や「with the Earth」等として様々な資料が掲載されており、他教科や防災、SDGsとの関連が図られている。 ○ 「学びの中でICTを活用してみよう」として、イラストデータをはじめとした多くのコンテンツが紹介され、端末を活用した学習に配慮がなされている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 当該学年までの漢字は積極的に活用し、各見開きの初出箇所には振り仮名を付けたり、文章を文節で改行したりするなど、表記、表現が学年相応である。 ○ 単元の導入でダイナミックな写真を掲載し、巻末にもものづくりを位置付けるなど、児童が理科の学習に親しみや魅力を感じられるような配列になっている。 ○ ユニバーサルデザインの観点から、すべての児童が支障なく学習ができるよう書体、配色に配慮し、活字の大きさも発達の段階で変えている。写真や文字は鮮明に印刷されている。 ○ 観察、実験の操作を写真やイラストを用いて分かりやすく示すなど、紙面のレイアウトやバランスが工夫されている。 ○ 製本は体裁がよく、軽量な用紙で堅ろうに仕立てられている。再生紙と植物油インクを使用し、環境へ配慮している。 | | | | | | |

| 種 目 | 生 活 | 発行 者の 番号 ・ 略称 | 2 東書 | 教科 書の 記号 ・ 番号 | 生活 117 118 | 書 名 | どきどき わくわく 新編 あたらしいせいかつ 上 あしたへ ジャンプ 新編 新しい生活 下 |
|-------------------------------|--|---------------------------|-------------|---------------------------|----------------------|------------|--|
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領で示された育成を目指す資質・能力を吹き出しや表現活動で具体化しており、児童が「見方・考え方」を生かしている姿を学習過程に沿って具体的に例示している。 ○ 「主体的・対話的で深い学び」の姿を「学びをふかめる」のコーナーで例示しており、気付きを関連付けたり、視点を変えて捉えなおしたりできるよう工夫されている。 ○ 上巻では自分自身や家族・身近な自然、下巻は身近な地域や人・地域の行事等へと対象が広がっていくように学習内容が構成されている。 ○ 児童が対象とじっくりと関われるように内容が構成され、本地域の学校・児童においても発展的・選択的に活用できる学習内容も随所に設けられている。 ○ 各校の実態や児童の実態に合わせて扱えるよう、資料や素材、活動に偏りがなく、複数例示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と 配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 2年間の学びが構造化されている。スタートカリキュラムの活動による教科等への学びの接続、幼児期の学びを生かした活動の展開、中学年につながるような学びの質の向上と構成されている。 ○ 各単元において児童の思いや願いを基に活動のめあてが示されている。児童の姿や吹き出し、表現活動などで具体化され、適切に配列されている。 ○ 体験活動と表現活動が繰り返され、気付きを自覚したり、関連付けたり、視点を変えて捉えなおしたりすることで気付きの質を高め、深い学びを実現できるよう単元が構成されている。 ○ 低学年児童の発達や成長に合わせるため、季節の流れに沿った学習内容が組織されている。上下巻とも1年間で学習する適切な内容・分量になっている。 ○ 一般的な月別週数で均等に割り振り年間指導計画が設定されており、各学校における「カリキュラムマネジメント」に資するようになっている。 | | | | | | |
| 3 学習と 指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 資質・能力が本文だけでなく、児童の挿絵や写真、吹き出し、表現作品などで具体化し、掲載されているため、育成すべき資質・能力を意識しながら学習できるよう配慮されている。 ○ 単元や年間を通して、「主体的・対話的で深い学び」を実現している姿が挿絵の登場人物で具体的に示されている。 ○ 学習活動に即して活用する「ずかん」や習慣や技能、学び方をまとめた「かつどうべんりてちょう」等の資料を多数掲載し、児童の興味・関心に即して活用できるよう配慮されている。 ○ 他教科で身に付けた資質・能力を生かすためのヒントが掲載され、他教科との合科的・関連的な指導に役立つよう配慮されている。 ○ 活動の様子が分かる挿絵や写真が適切に配置されている。二次元コードも適切に配置しており、児童の学習意欲が高まるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 4 表現と 体裁等 に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 文節改行、分かち書き、総ルビ等、児童が学びやすいよう工夫されている。上巻は本文の大きさを変えるなど低学年の児童の発達に合わせた文字が使用されている。 ○ 児童の活動意欲を喚起するようなダイナミックな活動写真が掲載されている。児童のつぶやき例が掲載することで児童が親しみを感じやすいよう工夫されている。 ○ 活字の大きさは発達段階に合わせたものとなっており、字体は教科書専用のユニバーサルデザインフォントが使用され、児童の読みやすさに配慮されている。 ○ 小単元名、本文、やくそく等を同じ位置に配置するなど、特別な支援が必要な児童も含め、全ての児童が分かりやすいようレイアウトが工夫されている。 ○ 開きやすく堅ろうなあじろ綴りで製本されており、軽量の用紙が使われるなど、低学年の児童の使用に配慮したつくりになっている。 | | | | | | |

| 種 目 | 生活 | 発行者の番号・略称 | 4 大日本 | 教科書の記号・番号 | 生活 119 120 | 書 名 | 新版たのしいせいかつ 上 だいすき 新版たのしいせいかつ 下 ひろがれ |
|-----------------------|---|-----------|----------|-----------|------------------|--------|--|
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 具体的な活動や体験を通して、児童の興味・関心や発達の段階に即した学習が進められるような内容になっている。 ○ 児童が自ら考えられるような投げ掛けをしたり、疑問を生み出しやすいような環境を設定したりするなど、児童が学習に主体的に関われるよう配慮されている。 ○ 児童が様々な場面で活動する写真や対象と主体的に関わろうとしている挿絵が多く掲載され、児童の意欲を引き出し、具体的な活動へとつなげられるよう工夫されている。 ○ 体験活動と表現活動の構成や気付きを共有する場面を設けていることで、気付きの質を高める活動の流れとなるよう工夫されている。 ○ 各校の児童の実態や本地域の実態に合わせて学習活動が進められるような資料が使われている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 季節の流れに沿った単元構成が、本地域の実態にも即しており、実生活と活動を結び付けながら学習が進められるように工夫されている。 ○ 活動内容が見開きで示されており、スタート、ゴールという表現で、活動の流れが読み取りやすい工夫がされている。 ○ 2年間にわたって取り扱うような栽培や飼育活動においては、児童の発達段階に応じて発展的な活動になるように工夫されている。 ○ 本地域のように2学期制と3学期制が混在していても対応できるような単元の配列の工夫がされている。また、スタートカリキュラムの編成にも対応できるような構成になっている。 ○ 本地域の実態に即して活動できるよう、多様な活動例を示している。また、各単元や巻末に「がくしゅうどうぐばこ」を配置し、各校の実態に即した活動ができるようにしている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えが書き込める欄があり、児童が自分の生活経験や学習したことから得られたことを書くことで主体的に学習を進められるよう工夫されている。 ○ 単元に関わる具体物の写真を多く取り入れている。その中で、児童が実際に見られるものも含め、対話を通して、考えの深まりが見られるような工夫がされている。 ○ 「がくしゅうどうぐばこ」の配置により、児童が必要な知識や考え方を得ながら学習していけるように工夫されている。 ○ 「きらきらことば」や「せいかつことば」の中で学習に関連する言葉が多く示されており、他教科とのつながりも得られるような工夫がされている。 ○ 挿絵や写真とともに、二次元コードが配置されており、児童が知識を深めていけるような資料や興味・関心によって自主的に活動できるような工夫がされている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の学習進度に合わせて、片仮名や漢字を使用している。また、すべてにルビをふって児童の読み取りに差し支えないように配慮もされている。 ○ 掲載されている写真は児童の自然な表情や色彩が豊かな写真やイラストが多く、活動意欲が高まり、活動への親しみが持てるものになっている。 ○ 低学年の教科であることや様々な特性を持った児童への配慮がなされ、UDフォントの使用や配色、文節の改行などの工夫がされている。 ○ A4判の紙面により、写真やイラストが大きく印象的で、書き込みも不自由がないように配慮されている。 ○ 表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工され、抗菌・抗ウイルス処理を施しており、環境に配慮した用紙や、植物油インキを使用している。 | | | | | | |

| 種 目 | 生活 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 1 1 学 図 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 生活 1 2 1 1 2 2 | 書 名 | みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下 |
|-----------------------|--|---|-------------------|---|--------------------------|------------|--|
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活科が目指す資質・能力が育まれるよう、2年間に渡り、系統的・連続的な学習活動となるように上巻下巻の構成が工夫されている。 ○ 身近な人々との関わり、社会との関わり、自然との関わりを丁寧に取り上げることで、学習活動の充実を図り、実生活と行き来する学びの姿を示し、児童が意識できるようにしている。 ○ 児童が親しみやすいキャラクターの対話を示すことで、児童が学習意欲を高められるよう工夫している。スタートカリキュラムを考慮し、入学児童が少しずつ不安を払拭しながら、自己の成長を確認し、学習に取り組めるよう、キャラクターの表情や言葉を工夫している。 ○ 児童の発達段階に合わせ、学習場面が自分や身近なところから、地域や社会へと発展していくよう上巻下巻を構成している。 ○ 資料や素材を偏りなく、複数取り上げることで、各学校の実態に応じたカリキュラムに対応できるようにしている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の構成を「探検」「遊び」「栽培」「飼育」「成長」の5単元にすることで、児童が活動展開を捉えやすく、多様な児童にとって学習の見通しが持てるよう配慮している。 ○ 見開き1ページで1つの活動を取り上げているため、低学年の児童にとって、ねらいが明確になり、主体的な学びが実践されるように工夫している。 ○ 「もっと」のページには、学習を通して高めた自信を基に、児童が次の疑問を抱き、新たに課題を設定し、学び続けることができるよう写真や他の児童の作文など例示する工夫がされている。 ○ 学習の対象に関わる時間が十分確保された内容になっており、本地域の特色あるカリキュラムにもゆとりを持って活動が展開できるよう配慮されている。 ○ 各学校の実態に合わせ、学習時期を組み替えや変更をしたり、軽重を付けて指導したりすることができる構成である。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元のストーリー(構成)を大切にしながら、主となるキャラクターを登場させ、キャラクターと思いを共有し、学習意欲を高め、見通しを持ちながら課題解決を進められるよう配慮している。 ○ 児童が身の回りの多くの人と関わりながら学ぶ場面を取り上げ、学びと生活がつながり、実生活に生かしていくことができるよう工夫している。 ○ 「学び方図かん」において、多様な表現方法を提示していることで、他教科との関連を意識させながら教科横断的な学習ができるようにしている。 ○ 多様な表現方法を含む学び方を示すことで、児童が自己選択・決定し学習することができるようにしている。総合的な学習の時間につながるよう、自己選択・決定の場を意図的に設けている。 ○ 児童の学び方を想定した写真や挿絵の配置をすることで、児童の学習意欲を向上させられるよう工夫している。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 上巻と下巻で文字の数を発達段階に合わせて調整することで、生活科のねらいが達成できるように配慮している。 ○ 協働的な学びを児童が共有し、大切にできるように、児童同士が関わる写真を大きく示している。また、精選した写真によって、学習の流れを視覚的に捉えやすくしている。 ○ 白色度が高く、丈夫な紙に印刷されており、鮮明で見やすい。また、色彩も書体もユニバーサルデザインを採用しており、視認性と読みやすさの向上を図っている。 ○ 図表や写真、挿絵は大きく、児童の学習意欲を高められるよう工夫している。図表や写真が大きいことで、児童同士の対話を生み出しうる構成になっている。 ○ サイズはA4変形型を採用し、堅ろうな用紙で作成されており、軽量かつ持ちやすい。表紙は厚く、防汚効果が高いコーティングがされている。 | | | | | | |

| 種 目 | 生活 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 17 教 出 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 生活 123 124 | 書 名 | せいかつ上 みんな なかよし せいかつ下 なかよし ひろがれ |
|-----------------------|---|---|------------------|---|----------------------|--------|---|
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が身近に感じることのできる導入写真や、自ら活動を組み立てられたり、多様な観点からの振り返りができたりと、児童が活動に主体的に取り組めるような構成になっている。 ○ 児童の思考の流れに沿った活動内容が示されており、活動していく上で生まれる思いや願いに対し、試行錯誤や自力解決を促す写真が多数掲載されている。 ○ 活動や体験をしている写真が地域の実態にも即したものが多く掲載されており、児童が学習のイメージを持ち、意欲や自信を持って取り組めるように工夫されている。 ○ 各単元が、何を学ぶか、どのように学ぶか、何ができるようになるかという身に付けさせたい力を大切にして、学習の発展が図られるよう工夫されている。 ○ 様々な人々や地域の暮らし、自然などが幅広く取り上げられており、児童の学びの幅が広がる展開となるよう配慮されている。出所、出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 2学年を通して、児童の発達段階に応じて活動の範囲や気付きが広がっていくよう配慮された単元の構成になっている。 ○ 動機付け、自己決定、自己肯定感、振り返りという構成になっており、教科の目標を十分達成することができるような内容になっている。 ○ 児童自ら活動内容を把握し、見通しを持って学習に取り組むことができる構成で、友達と伝える活動や振り返りの場が豊富で、基礎的・基本的な内容の定着に重点が置かれている。 ○ ゆとりを持って活動できるような時数配分がされている。活動例も豊富で、この地域に合った素材を用いて年間指導計画が作成できるような配慮がされている。 ○ この地域でも見られるくらしの様子や、自然や生き物の様子が取り上げられており、地域の特色を生かした学習活動ができるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のめあてが「サイコロ」で示されており、児童、教師、保護者がともに育成すべき資質・能力を意識しながら活動を進められるよう配慮されている。 ○ 主体的な活動ができるような「わくわくスイッチ」があることで、学習の動機付けを行い、主体的・対話的な学びができるようにしている。 ○ 「ひんと」で対象の見方・考え方を広げたり、「なにをかんじたかな」や「ぐんぐんはしご」で学習の振り返りや自己評価を行ったりして、自己の学びを調整できるようにしている。 ○ 巻末の「学びのポケット」で、どの教科と関連のある学びができるかということが示され、学んだ力を相互に生かすことができるよう配慮されている。 ○ 単元ごとに、学びに合わせた学習の手引きやカード、挿絵が適切に配置されている。また、「学びのポケット」で学習の関連を図るページも配置するなどの工夫が見られる。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平仮名や片仮名、配当漢字が学年に応じて適切に表記されている。 ○ 児童が親しみを持って学習が進められるように絵本のキャラクターが採用されたり、2人の主人公を設定したりするなどの配慮がされている。 ○ 全ての児童が学びやすくするための配慮として、UDフォントやカラーUDが使用され、読み取りやすく、判読しやすい文字や絵になっている。 ○ A4判で写真や挿絵、児童の気付きなどがバランスよく配置されている。 ○ 表紙は抗菌加工と汚れに強いコーティングが施され、堅ろうな作りとなっている。また、環境にやさしい再生紙や植物インキの使用で、環境への負荷軽減にもなっている。 | | | | | | |

| 種 目 | 生活 | 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 生活 125 126 | 書 名 | せいかつ 上 あおぞら せいかつ 下 そよかせ |
|-----------------------|--|-----------|-----------|----------------------|--------|----------------------------|
| | | 信教 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が地域の豊かな自然環境を生かした具体的な活動や体験を通して身近な人々や社会と主体的に関わることで、資質・能力が育まれるよう配慮されている。 ○ 様々な体験活動を通じて人々との交流のよさや気付きの質を高め、さらに学び合いの場面を設定することで学びを深めることができるよう配慮されている。 ○ 身近な季節の行事を取り上げることによって、地域に受け継がれている伝統行事のよさを実感し、行事を通して家族や地域に主体的に関わる意欲を高める工夫がなされている。 ○ 様々な事象に対する「感動体験」を大切にし、「探究活動」「表現活動」へつなげていくことで、豊かな学びへと展開していけるよう、学習内容が精選・集約して構成されている。 ○ 児童にとって身近で地域の豊かな自然環境や日常的な事象が偏りなく取り上げられ、2年間を通して資質・能力が育まれるよう配慮されている。出所や出典が明示されている。 | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が四季の変化を意識しながら繰り返し地域の自然や人々に関わることができ、児童の視野の広がりや深まりに合わせた単元が時系列に配列・構成されている。 ○ 活動や学びの中で生まれてくる児童の思いや願いを基にねらいに迫ることができるよう、学びの深まりや広がりを感じられるような活動写真が、内容ごとに効果的に配置されている。 ○ 児童同士の学び合いや情報交換の場を位置付けるなど様々な活動や体験がより深い学びにつながるよう構成されている。 ○ 地域性を考慮した教材と直接体験を重視した単元で構成され、それを基に四季を通して地域に関わるなど、本地域の学校の実態や特色に合わせた学習が展開できるようになっている。 ○ 家庭や地域との連携を大切にした地域の人々や施設、行事等が複数取り上げられ、家庭や地域と共に児童を育て、学びを深めていくことができる単元構成になっている。 | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域に育つ児童が豊かな自然や季節の行事、公共施設等と繰り返し関わる活動の中で、ふるさとのへの愛着が深められ、主体的な学習態度の形成が進められるよう配慮されている。 ○ 自分から生活を豊かに広げていく楽しさを感じることができる学習の展開ができ、さらに協働的に体験を振り返る表現活動が示され、深い学びにつながる工夫がされている。 ○ 体験活動や探究活動の様子が多く例示されており、児童が自他との関わりについて思考し追究するなど、児童自身が学びを調整しながら進めることができるよう配慮されている。 ○ 体験や探究活動、表現活動が、他教科との関連や総合的な学習の時間との関連を図ることができるよう具体的に示され、合科的な指導につながる配慮がされている。 ○ 気付きや発見など個々の思いを「吹き出し」や「作文」等で示し、また活動の質が高まるように写真や挿絵が適切に配置されている。 | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 上巻の初めは平仮名で文字数も少なく、後半はルビの振られた文字を活用、下巻は2学年までの配当漢字を活用するなど、学年に応じて配慮されている。 ○ 友達と生き生きと活動する様子や色彩豊かな挿絵を見開きで提示するなど、児童の学習意欲が高まる工夫がされている。 ○ 家庭環境の違いや障がいのある児童、外国籍の児童などの交流場面を挿絵等で掲載し、写真や挿絵も全てカラー印刷され、鮮明である。 ○ 写真や挿絵が豊かな学びにつながるようなレイアウトで掲載され、活動方法が分かりやすいように配慮されている。 ○ 見開きの写真や挿絵が見やすいように、製本は開きやすく堅ろうである。また、環境への配慮のため、再生紙、食物油インキを使用している。 | | | | | |

| 種 目 | 生活 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 38 光村 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 生活 127 128 | 書 名 | せいかつ たんけんたい 上 はじめてが いっぱい せいかつ たんけんたい 下 はっけん だいすき |
|-----------------------|--|---|--------------|---|----------------------|--------|---|
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校と自分自身の生活を行ったり来たりしながら、学習活動が進められるよう、学習内容が精選されている。 ○ 単元末に振り返りの場面が設定されており、自分の成長を実感でき、さらに自己肯定感が向上することが期待できる構成になっている。 ○ 発達段階に応じた興味・関心を引く写真やイラストを用いることによって、児童が学習内容についてのイメージを膨らませるとともに、学習意欲を高められるように工夫されている。 ○ 全単元を通して、学習することが明確になるよう「導入」「展開」「振り返り」で構成されており、児童にとって学習の見通しが持ちやすく、学び方をよりよく理解できるよう工夫されている。 ○ 指導要領で求めるねらいに沿った題材をバランスよく、かつ落ちがないように扱っている。また、資料等の出所、出典も明確に記述されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習活動が具体的に示されている本編と、別冊の資料編「ひろがるせいかつじてん」の分冊で構成されており、季節の観察カードは、本地域でも自然の観察活動に十分活用できるものとなっている。 ○ 単元の導入段階で、児童が学習過程（学びの流れ）を想起できるような構成になっている。また、巻末では1年間を振り返ることができる構成になっている。 ○ 児童の学習意欲に訴えかける写真やイラスト、イラストについている吹き出しなどが工夫されており、児童が新たに発見したことを基により深い学びができるよう配慮されている。 ○ 単元は季節によって構成されており、2学期制、3学期制のいずれにも柔軟に対応できる構成になっている。また、各校のカリキュラムマネジメントに柔軟に対応できるよう配慮されている。 ○ 小1プロブレムにも対応できるよう、学習内容が上巻下巻に配慮して構成されている。また、そのことによって切れ目のない学びの連続性が生まれるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元のねらいに沿った活動写真やイラスト、「学びのヒント」などが提示されていることで、児童が意欲的、主体的に学習に向かうことができるよう配慮されている。 ○ 対話を重視した構成となっており、事象・友達（家族）・自分との対話場面を設けることによって、主体的・対話的な学びを促すよう工夫されている。 ○ 各単元の「ヨシタケさんコーナー」において、多様な発言をする児童を登場させることによって、自分らしく学ぶことを児童が認め合うことができるよう配慮している。 ○ 学習を振り返ったり、伝え合ったりする場面では、様々な表現方法を例示しており、他教科での学習を生かしたり、他教科に発展させたりできるよう工夫している。 ○ 別冊の「ひろがるせいかつじてん」「季節の観察カード」は、学習場面ごとに活用しやすいようまとめて構成されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の発達段階に応じた言葉、平易な表記・表現で構成されている。また、文章は文節ごとに分ち書きで表現され、低学年の児童にとってより分かりやすい表記となっている。 ○ 児童が興味・関心を高められるよう、写真の被写体を工夫し、同学年の児童が見せる、事象へ向かう姿や考える姿を豊富に写している。 ○ イラストは、絵本作家の優しいイラストを多用している。また、色使いにはカラーユニバーサルデザインを、書体にはユニバーサルデザインを採用することで、配慮を要する児童にも対応している。 ○ どの単元のコーナーでも、見出しや写真を配置することで、多様な児童も読みやすく、学習の流れをつかみやすいよう工夫されている。 ○ 表紙を含め、堅ろうに作られており、持ちやすい。表紙は、コーティングされており、汚損しにくい作りになっている。また、環境に負担の少ない植物油インキが採用されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 生 活 | 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 生活 1 2 9 1 3 0 | 書 名 | わくわく せいかつ上 いきいき せいかつ下 |
|-----------------------|--|-----------|-----------|--------------------------|--------|--------------------------|
| | | 6 1 | 啓林館 | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「見つける」「比べる」「例える」「試す」「見通す」「工夫する」などの気付いたことを基に考えさせるための学習活動が例示され、思考を働かせ気付きの質が高まるように工夫されている。 ○ 単元末のコーナーは資質・能力の3つの柱で整理されており、児童の自己評価の視点例になるとともに、教師による評価の手掛かりとして活用できるよう工夫されている。 ○ 入学期、1年生、2年生、3年生へ向けてと発達段階を踏まえた内容が工夫されており、学習への関心・意欲が高まるよう、身近な対象や学習材が取り上げられている。 ○ 「デジタルたんけんブック」や動画や音声のコンテンツが充実しており、児童の主体的な学びを促すような工夫がされている。 ○ 内容や資料に偏りがなく、多様性に配慮した登場人物、体験活動の資料が数多く、体験活動の一部が本地域の体験活動と重なる部分がある。 | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 季節の流れに沿った単元で構成され、単元が進むにつれて活動が広がり、深まっていくよう工夫されている。 ○ 育てたい資質・能力が段階的に育まれていく児童の姿が写真やイラスト、吹き出し等で具体的に示されている。 ○ 単元導入「わくわく」、主な活動「いきいき」、振り返り「ぐんぐん」の3段階で構成され、基礎的・基本的な内容を段階的に定着できるよう工夫されている。 ○ 上下巻ともに、1年間で学習する適切な単元の内容・分量になっており、資料も豊富なので地域や学校、児童の実態に合わせて指導できるよう工夫されている。 ○ 9月末～10月初旬に単元の区切りがあり、2学期制にも対応できるよう配慮されている。学習材、学習方法を複数提示し、地域の実態に合わせて選択しやすいよう配慮されている。 | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な知識や技能が身に付いたり、児童の知的好奇心や探究心をくすぐったりする資料を多数掲載することで、気付きの質が高まるよう工夫している。 ○ 単元導入、主な活動、振り返りの3段階で構成し、単元を通して活動が発展し、主体的・対話的で深い学びが展開できるよう工夫されている。 ○ 「がくしゅうずかん」「びっくりずかん」「デジタルたんけんブック」等の豊富な資料により、必要に応じて個に応じた指導、理解度に合わせた指導ができるよう工夫されている。 ○ 他教科との関連を図った学習活動の場面には「他教科マーク」が表示されており、合科的・関連的な指導のカリキュラムが編成しやすくなるよう工夫されている。 ○ 児童の学習意欲の高まり、理解の深まりにつながるよう、学習の助けになる動画・音声・図鑑・クイズ等のコンテンツが適切に配置されている。 | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 上巻の前半は平仮名のみ、上巻の後半からは平仮名と片仮名、ルビが振られた各学年の配当漢字がそれぞれ適切に使用されている。 ○ 活動の中で生まれた児童の気付きや思いや願いを「めくり言葉」として設定することで、次の活動への意欲、見通しにつながるよう工夫されている。 ○ 低学年の児童が読みやすい文字の大きさで、字体はユニバーサルデザインフォントを使用することで、視認性と可読性を高める工夫がされている。 ○ 小単元名、本文、マーク、カード等を定位置に固定することで、全ての児童にとって使いやすく分かりやすいように工夫されている。 ○ あじろ無線綴じ製本にすることで、開きやすく紙面が見やすいよう配慮されている。植物油インキを使用し、環境やアレルギーにも配慮されている。 | | | | | |

| 種 目 | 音 楽 | 発行者の番号・略称 | 17 | 教科書の記号・番号 | 音楽 | 書 名 | 小学音楽 おんがくのおくりもの 1 |
|-----------------------|---|-----------|----|-----------|--|--------|---|
| | | | 教出 | | 103 203 303 403 503 603 | | 小学音楽 音楽のおくりもの 2 小学音楽 音楽のおくりもの 3 小学音楽 音楽のおくりもの 4 小学音楽 音楽のおくりもの 5 小学音楽 音楽のおくりもの 6 |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 題材が系統的に扱われており、学年が上がるごとに教材曲のグレードを上げて、発展性をもって組織されている。 ○ 音楽を通して、どのように関わるのかが明確に示されている。また、気付きを書き留めたり、意見交換をしたりする学習が設定されるなど、協働的な学びができるように配慮されている。 ○ 「音楽を形づくっている要素」を「音楽のもと」として示し、児童がその働きを意識しながら取り組むことができるように配慮されている。 ○ 小学校のスタートアップや中学校への気持ちの高まりなどを後押しするような教材曲が選定されており、幼・小・中の学びのつながりを意識した内容構成になっている。 ○ 音楽づくりに関しては、「声」「仕組み」「リズム」「旋律」それぞれの分野別に系統的に取り扱われるように配慮されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の各学年の目標を達成できるような教材や学習内容が、組織的・系統的に配列されており、学びが深まるように配慮されている。 ○ 各学年の目標を踏まえ、題材のねらいが明示されており、ねらいに沿って表現と鑑賞の関連を図りながら取り組めるようになっている。 ○ 領域・分野ごとに全学年の系統性に基つき、教材が配置されている。発達段階に応じて無理なくステップアップできるように配慮されている。 ○ 主要教材と選択教材を組み合わせることにより、行事や学校の実態に即した年間指導計画が作成できるようになっている。 ○ 「音楽ランド」等に「全校合唱」の曲など多くの曲を掲載するとともに、各地の郷土芸能を紹介するなど、児童の学校生活や地域の実態を考慮した教材が配列されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「音楽のもと」を定位置に示すだけでなく、巻末にまとめて掲載し、鑑賞教材で使われる楽器を写真や説明で紹介するなど、児童が主体的に学習に取り組めるように配慮されている。 ○ 学習の内容を理解しやすいように、「まなびナビ」が教材ごとに配置されており、児童が主体的・対話的に学習を進められるようになっている。 ○ 図やイラストが多く使用されていることや、巻頭に著名な人の写真とメッセージが掲載されていることで、関心意欲を高めたり学習を分かりやすくサポートしたりするよう工夫されている。 ○ 多くの教材曲が取り扱われている中で、「ショートタイムラーニング」コーナーで、詩や英語・SDGsを扱うなど、歌を通して他教科との関連を図っている。 ○ 「まなびリンク」で鑑賞した曲の情報が分かたり、ワークシートがすぐ使えたりすることで学習の助けになると同時に、教員の準備等の軽減につながるような配慮がなされている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「まなびナビ」等で学習内容や活動の説明が随所に配置されているが、その説明が分かりやすく表現されている。音楽用語の説明も分かりやすい。 ○ 表紙には、学年ごとに学習する内容に関係のある楽器や曲などをモチーフとしたイラストが描かれており、児童が興味をもって学習できるように配慮されている。 ○ 活字は学年に応じて大きさを変えたり、発達の特色を考慮した書体や色使いを取り入れるなど、見やすさや読みやすさに配慮されている。 ○ 児童が主体的に学習できるよう、折り込みを使った写真を掲載するなどし、学習に合わせて配置やレイアウトが分かりやすくなるよう工夫されている。 ○ 丈夫な紙を使用しているが、軽量で持ちやすい。表紙に抗菌加工を施しており、長期間使用に耐えられるようになっている。また、再生紙や植物インクを使用しており環境に配慮されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 音 楽 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 2 7 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 音 楽 1 0 4 2 0 4 3 0 4 4 0 4 5 0 4 6 0 4 | 書 名 | 小学生のおんがく 1 小学生の音楽 2 小学生の音楽 3 小学生の音楽 4 小学生の音楽 5 小学生の音楽 6 |
|--|---|---|--------|---|--|--------|--|
| | | | 教 芸 | | | | |
| 1 内 容 に 関 する 事 項 | <ul style="list-style-type: none"> ○ どの学年も音楽科の目標を達成するための必要な内容が十分扱われており、題材構成や学習のねらいが明確である。 ○ 児童が意見を交流しやすいように、吹き出しやヒントを随所に記載するなど、協働的な学びを引き出しやすいように配慮されている。 ○ 楽曲や歌詞、音域など児童の発達段階に応じて十分考慮され、学校や児童の実態に合わせて活動が選択できるようになっている。 ○ 題材に即した教材の精選により、学習内容が明確であり、学習の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 ○ 題材のねらいに即した選曲になっており、音楽に関する資料の量も適切である。作詞者・作曲家・編曲者や演奏に関わる内容が明確である。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 する 事 項 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 系統性及び発展性をもって組織化されており、教材性を生かした多様で効果的な学習が展開できるように配慮されている。 ○ 題材ごとのまとまりが分かりやすく、ねらいが明確である。また、各学年を通して題材やねらいが系統的・発展的に組織されている。 ○ 相互に関連性をもった教材の配列により、積み重ねの学習や繰り返しの学習を行いやすく、音楽活動の基礎的な能力の定着及び伸長が確実に図れるように配慮されている。 ○ 題材のねらいに即して、学習内容や関連教材などが有機的に組織されており、教材や学習活動の分量を弾力的に増減できるように配慮されている。 ○ わらべうたや地域に伝わる郷土芸能など、児童の生活に即した教材が学年段階に応じて幅広く用意されている。実際に体験する活動を加え音楽的側面から親しめるように配慮されている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 する 事 項 | <ul style="list-style-type: none"> ○ その学年で学んだ重要な学習事項を児童が自分で振り返り確認することができる「振り返りのページ」が設けられており、豊富な資料の掲載により主体的な活動が促されるようになっている。 ○ キャラクターによる吹き出しや専門家からのメッセージを活用することで、他児童との交流を深め、主体的・対話的な学びを深める手立てとなっている。 ○ 多様な個性や能力に対応した音あそびや音楽づくりが、無理のないステップで進められていると共に、楽器や演奏形態を学年の実態や個人の興味・能力で選択できるようになっている。 ○ わらべうたや地域・外国の伝統芸能または地域に親しみのある風景の歌が随所に記載され、他教科との関連が図られている。 ○ 巻頭と巻末に「マップ」と「振り返りページ」が掲載され見通しがもてるようになっている。また挿絵や図、写真が必要に応じて適切に掲載されている。 | | | | | | |
| 表 現 と 体 裁 等 に 関 する 事 項 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の発達段階に応じ、見出しや説明の表示、挿絵や写真のバランスなど見やすさ、読みやすさについても十分配慮されている。 ○ イラストや写真などの取り上げ方もアイデアにあふれ、児童の感性に即して適切に扱われていと共に協働しながら音楽を学ぶ姿が表紙になるなど、児童に親しみやすいようになっている。 ○ 楽譜や文字の大きさが発達段階に応じて見やすく設定され、印刷も発色がよく、新鮮なものになっている。 ○ 学習上必要な情報に確実に注目できるように、近くの文字や図や写真をシンプルな物にするなど、工夫がされている。 ○ ページが開きやすく、紙の厚さも適切である。再生紙や再生可能な植物油インキを使用するなど環境にも配慮されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 図画工作 | 発行者の番号・略称 | 9 | 教科書の記号・番号 | 図工 | 書 名 | ずがこうさく1・2上 わくわくするね ずがこうさく1・2下 みつけたよ 図画工作3・4上 できたらいいな 図画工作3・4下 力を合わせて 図画工作5・6上 心をひらいて 図画工作5・6下 つながる思い |
|----------------------|--|-----------|-----|-----------|--|--------|---|
| | | | 開隆堂 | | 105 106 305 306 505 506 | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 三つの目標をキャラクターで表現し、題材ごとに中心的な目標を取り上げ活動のポイントを明示するとともに、具体的な活動写真や作品例をもとに学習が深められるよう工夫されている。 ○ 共同で行い言語活動を効果的に行うことができる題材が多く設定され、互いに考えを伝え合うことにより、対話的な学びや協働的な学びへとつながるよう工夫されている。 ○ 分かりやすい楽しい題材名や「はじめに」の動画での説明、QRコードの「アイデアシート」等、児童の発達段階に応じた資料が掲載され、学習の流れが学習意欲を高める工夫をしている。 ○ 目次は1年間の見通しが持てるよう活動内容が分かりやすい題材名や写真等が配置され、巻末は学年のまとめとして学習が確認でき、学習の充実と発展を図るよう工夫されている。 ○ 題材や資料の種類・分量については偏りがなく、学習目標に適した参考作品の写真が適切に掲載されている。また、掲載されている美術作品については、作者や作品名等が明記されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童のこれまでの経験を土台に、幼児期から小学校の学習にスムーズに取り組めるよう発達段階に適した題材の設定、中学校教育との接続に配慮した題材など系統的に配列されている。 ○ 教科の目標を踏まえて、題材ごとに学習のめあてが上段に明示されているとともに、めあてに沿った児童の振り返りが設定され、内容も適切である。 ○ 学習内容が次の題材で生かされるような配列で内容の確実な定着の工夫が図られている。また表現技法・用具等の基本的な知識が「学びの資料」として系統的にまとめられている。 ○ 各学年の発達段階に応じて、題材・内容のつながりを意識した構成がなされ、また活動例も多く掲載され、各学校の年間指導計画や学習環境に広く適合できるよう配慮されている。 ○ 適切な時期や行事を関連させた教材の配列になっており、児童が意欲的に取り組める題材を選んだり、自分の住む地域と関連付けて学習したりできるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 三つの資質・能力に沿った学習の目標と振り返りを明示し、「振り返りシート」等の活用によって学習の累積や評価ができるよう配慮されている。 ○ 三つの資質・能力に対応した親しみやすいキャラクターが具体的なアドバイスを投げ掛けることで、児童が対話的にヒントを得て主体的に活動できるよう工夫されている。 ○ 材料や用具に関する創造的な技能、造形的な見方・考え方、安全や環境への配慮等が発達段階に応じて具体的に示されており、自主的な表現活動に広げられるよう配慮されている。 ○ 「あわせて学ぼう」として他教科との関連、「みんなのギャラリー」「つながる造形」として地域や社会とのつながりを意識させ、視野を広げた学習が展開できるよう配慮されている。 ○ 各題材において、写真やコメントに加えて二次元コードが示され、活動の過程や参考作品等を動きや別方向も含めて分かりやすく捉えられるよう工夫されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 題材名とともに題材内容をイメージしやすいリード文が示されている。作品のコメントには、材料や技法の工夫点や作者の意図が伝わるように表現されている。 ○ 三つのキャラクターマークの活用や題字と材料を関連させたデザイン、多様な学習段階や児童の豊かな表情を捉えた写真など、児童が親しみをもち、意欲が高まる工夫がされている。 ○ UDフォントを使用し、総ルビや番号表記を加え、大きく見やすい文字で記されている。児童が識別しやすい配色や形状、コントラスト等に配慮がなされている。 ○ 各題材を見開きで一定の配置に統一し、図や写真で手順を示すことで、児童が見通しをもって活動できるようなレイアウトの工夫がされている。 ○ ミシン穴の無いアジロ綴じと見返し加工により、開きやすく堅牢な製本になっている。人体への影響が少ない植物性のインクや環境に配慮した用紙が使用されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 図画工作 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 116 日文 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 図工 107 108 307 308 507 508 | 書 名 | ずがこうさく1・2 上まるごと たのしもう ずがこうさく1・2 下まるごと たのしもう 図画工作3・4上 ためす 見つける 図画工作3・4下 ためす 見つける 図画工作5・6上 わたしとひびき合う 図画工作5・6下 わたしとひびき合う |
|-----------------------|--|---|---------------|---|--|------------|--|
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が造形的な見方や考え方を働かせて学習できるよう写真やふきだしの配置を工夫したり、各題材で互いの作品を見合ったりする等表現と鑑賞が一体的に学習できるよう配慮されている。 ○ 作品や活動について考えを伝え合う題材が適宜掲載され、具体的な活動例が写真等の資料で明示されており協働的で対話的な学びに生かされるよう工夫されている。 ○ 発達段階を考慮した題材や材料・用具等を考慮しているとともに、学習をサポートする言葉やふきだしが掲載され意欲的に取り組める要配慮されている。 ○ 「特に大切なめあてのヒント」は児童の発想を広げ学びを深められる等の工夫をしており、学習の充実と発展を図ることができるよう配慮されている。 ○ 目標に沿った題材や領域が、偏りなく取り上げられ、参考となる作品も偏りない。掲載されている美術作品については、作者や作品名等が明記されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ グループ等共同で行い言語活動を効果的に行うことができる題材が多く設定され、互いに考えを伝え合うことにより、対話的な学びや協働的な学びへとつながるよう工夫されている。 ○ 教科の目標を踏まえて、学習のめあてがマークと共に分かりやすく明示され、振り返りについても配置されており、育てたい資質・能力との関連が明確である。 ○ 次時の題材に発展的につながるようなねらいや発想のきっかけ、使用する用具等を考慮した配列となっている。また、「材料と用具の引き出し」に基礎的・基本的な定着を図っている。 ○ 発達の段階に応じて、題材の内容が偏りなく適切な分量で構成されており、各学校の年間指導計画や学習環境に広く適合させることができるよう配慮されている。 ○ 1年間の時期の流れに沿って、教材が適切に配置されており、児童の思いや実態に応じて教材を選択したり、自分の地域と関連付けて学習したりできるように配列が工夫されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 三つの資質・能力に沿った学習の目標と振り返りを明示し、「図工のみかた」「図工ノート」等で発想の広げ方を具体的に示すなど、児童の主體的な活動を促すよう配慮されている。 ○ 多様な作品を作者のつぶやきと共に掲載し、表現と鑑賞についての具体的なアドバイスを投げ掛けることで、児童が対話的にヒントを得て主体的に活動できるよう工夫されている。 ○ 材料や用具に関する創造的な技能、造形的な見方・考え方、安全や環境への配慮等が発達段階に応じて具体的に示されており、自主的な表現活動に広げられるよう配慮されている。 ○ 「ひろがる図工」として生活や社会とのつながり、アプリを活用した活動の展開、多様性を感じられる事例の紹介など、視野を広げ個に応じた学習が展開できるよう配慮されている。 ○ 各題材において二次元コードが示され、体・心ほぐしの体操や活動の過程、用具の使い方等が動画で分かりやすく示されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 題材名とともに題材内容をイメージしやすいリード文が示されている。作品のコメントは対話のような形で、材料や技法の工夫点や作者の意図が伝わるように表現されている。 ○ 各観点が明快なマークで示され、題字と内容を関連させたデザイン、多様な学習段階や児童の豊かな表情を捉えた写真など、児童が親しみをもち、意欲が高まる工夫がされている。 ○ UDフォントを使用し、コントラストや文字の背景色、斜線等児童が識別しやすいように配慮がなされている。 ○ 題材の内容によって、多様な写真を掲載したり図で手順を示したりと、児童が見通しをもって活動し作品製作の参考にできるようなレイアウトの工夫がされている。 ○ 無線綴じと見返し加工により、強度がある製本になっている。軽量化した再生紙や植物性のインクが使用され、題材内容からプラ材を削減するなど、環境への配慮がある。 | | | | | | |

| 種 目 | 家 庭 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 2 東書 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 家 庭 5 0 3 | 書 名 | 新編 新しい家庭 5・6 私がつくる みんながつくる 明日をつくる |
|-----------------------|--|---|-------------|---|-----------------------|--------|--|
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材の導入に「家庭科の窓」を設置し、生活の営みに係る見方・考え方の4つの視点のうち何を意識して学習を進めるかが明確であり、児童にとって深い学びを実現できるようになっている。 ○ 2学年を見通した内容相互の関連を図れるよう、季節や発達段階を考慮し、スパイラルで学習が進められるような内容になっている。また、中学校の内容との系統性も踏まえられている。 ○ 各題材の導入ページでは、児童に身近な家庭や学校の場面が示され、自分なりの課題を持ち学習に取り組めるよう配慮されている。また実習題材は児童の発達段階に即したものとなっている。 ○ 児童の発達段階に配慮し、日常生活に生かせる活動や実習が重点的に取り上げられている。また、実践的・体験的な活動を促せるよう、その内容を具体的に示している。 ○ 学習内容や資料に偏りがなく、内容を補完、発展させる資料も豊富で、その出所や出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎・基本から応用へと児童の発達段階に応じた配列で、6年生での確実な定着につなげている。また生活をよりよくする観点から、全体を通じ指導要領の内容A Cの視点を取り入れている。 ○ 全ての題材が、「課題発見」「課題解決・実践」「評価・改善」の3ステップで展開されている。また、ステップごとに学習のめあてが明示され、目指す姿を具体的にイメージさせることができる。 ○ 全ての小題材の始めに「めあて」、終末に「ふり返ろう」を設けることで、こまめに学習を振り返ることができ、学習内容の定着と、次の学習への意欲が高められるようになっている。 ○ 5、6年で関連する内容がほぼ同時期に配置されているため、複式での授業の他、指導教員間で協働の教材研究を行うなど学校内で効果的に学習が進められるよう配慮されている。 ○ 題材がユニット型で示されており容易に組み替えられる。また、SDGsの視点や伝統文化など多様な活動例や実習例、資料等が示されており、児童や地域の実態に応じた指導が可能である。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な内容は「いつも確かめよう」や動画コンテンツで確認、習得できるよう配慮され、それを生かす様々な活動を明示し、問題解決的に進められるようにしている。 ○ 活動の中に「話し合おう」「考えよう」が具体的に明示してある。また、思考ツール等のコンテンツにより、児童が主体的に学習に取り組める工夫がなされている。 ○ 巻頭の「成長の記録」では、各大題材で自己の学びのあとを振り返ることができる。2年間のポートフォリオが完成し自己の伸びを実感できるようにしてある。 ○ 他教科や中学校技術・家庭分野と関連する学習内容の部分には、「関連マーク」を用い、関連性を生かした学習を進めることで更に理解を深めることができるようになっている。 ○ 実習を安心・安全に行えるよう巻頭や巻末に「いつも確かめよう」として実物大のイラストや写真を用いてまとめられており、各ページの活動ごとに二次元コードが適切に配置されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学5年生以降で学習する常用漢字に振り仮名が付けられている。また、各題材のタイトルにねらいと学習内容が簡潔にまとめられており、児童が学習の見通しをもてるよう工夫されている。 ○ イラストや独自の家庭科のキャラクターを登場させ、吹き出しを使って指示や思いを語らせることで、児童が親しみをもって、自身を投影しながら、学習していけるようになっている。 ○ 独自に開発したフォントを採用し、見やすく読み間違えにくくしている。また、印刷も鮮明である。外部の専門家による検証を行い、色覚の多様性に配慮した配色及びデザインになっている。 ○ 本文と資料部分が明確に区別できるよう、罫線や囲み、背景に色を付ける等の工夫が見られる。また、1つの実習を見開きで概観できるため、学習の流れが把握しやすい紙面となっている。 ○ 開いた状態を保持しやすく、軽量である。2年間の使用に耐えられるよう表紙に加工が施されている。再生紙、植物油インキを使用し、環境配慮基準を満たす工場での印刷している。 | | | | | | |

| 種 目 | 家 庭 | 発行者の番号・略称 | 9 | 教科書の記号・番号 | 家 庭 5 0 4 | 書 名 | わたしたちの家庭科 5・6 |
|-----------------------|---|-----------|---|-----------|--------------|--------|---------------|
| | | 開隆堂 | | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活の営みに係る見方・考え方の観点が各題材の最初に表現されており、実践的・体験的な活動を通して生活をよりよくしようと工夫する資質・能力が育まれるよう配慮されている。 ○ 2年間を見通した内容相互の関連を図るとともに中学校の内容との関連を踏まえながら、平易なものから難しいものへと系統的に学習ができるよう配慮がなされている。 ○ 発達の段階を考慮し、5年生最初の段階では題材を細分化して構成・配列し、細かなステップを踏んで繰り返し学習できるよう配慮がなされている。 ○ 内容がよく精選されている。各題材の最後には、「生活にいかそう」の欄が設けてあり、家庭や地域などで学習の発展を図る工夫がされている。 ○ 学習内容に偏りがなく、児童が活用しやすい資料が提示されており、その出所、出典が明確である。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材とも、基礎的・基本的内容の習得から応用・発展的な学習へと系統的に展開され、児童の思考の流れに沿って進めることができるようになっている。 ○ 各題材ごとに教科の目標を踏まえた「学習のめあて」が明記されており、実践を通して課題を解決していく流れになるように内容がまとめられている。 ○ 基礎的・基本的な知識や技能に関する内容が厳選して記述されており、易から難へと確実な習得ができるように工夫されている。 ○ 各学年の題材内容の分量は適切であり、各学校の年間指導計画に柔軟に対応できる内容になっている。 ○ 題材が細かく区切られているので組み換えがしやすく、地域や学校の実態に応じて指導ができるようになっている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 技能面の写真は詳細で分かりやすく、基礎的・基本的な知識・技能が習得できるよう配慮されている。習得した技能を活用するために実践的な活動を家庭などで行えるページを設けている。 ○ 「話し合おう」「友達の工夫も参考にしよう」など、共有しながら深めていく場面が取り入れられるように配慮されている。 ○ イラストの中に幼児や高齢者、障害のある人など、様々な人々を登場させ、多様性を意識しながら学習が進められるように工夫されている。 ○ 他教科と関連する内容に「関連マーク」を付している他、防災やSDGsなど総合的な学習の時間等との関連について配慮されている。 ○ 学習の手引き、挿絵、図表及び写真等は適切に配置されており、課題解決の手掛かりとなっている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 題材を3ステップで構成し、表記することで学習の流れをつかみやすくしている。また、実物大資料を掲載し、大きさの感覚をつかみやすくする工夫もなされている。 ○ 登場人物としての4人の小学生や、案内役としてのキャラクターなどを活用し、興味関心を持って学習に取り組めるよう工夫がなされている。 ○ 印刷は鮮明であり、教科書全体を通して、見やすい配色になるよう配慮されている。また、見やすく、読み間違えにくいユニバーサルフォントを使用している。 ○ 調理や製作の実習、活動の紙面が「見開きで大きく横流れのデザイン」になっており、全ての児童にとって理解がしやすいように配慮されている。 ○ 製本は堅牢で、長期の使用に耐えるものとなっている。また、環境に配慮された用紙やインクが使用されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 保 健 | 発行者の番号・略称 | 2 東書 | 教科書の記号・番号 | 保健 306 506 | 書 名 | 新編 新しいほけん 3・4 新編 新しい保健 5・6 |
|-----------------------|---|-----------|-------------|-----------|------------------|--------|-------------------------------|
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された目標に則り、保健の見方・考え方を働かせ、「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる」の4つのステップで構成されている。 ○ 当地域の課題となっている自己の健康への意識付けと生活での実践について、健康について関心を持たせ、健康的な生活習慣に結び付くように、課題を解決する学習の流れが構成されている。 ○ 発達段階を考慮し、生活が想起でき、健康的な課題に気付くことができるイラストや写真とともに、アスリートの体験談を加えた豊富な資料を掲載し、学習意欲が高まるようにしている。 ○ 各章ごとに、学習の課題に気付き、調べながら解決する過程を踏むように内容がよく精選され、学習のまとめの後に発展的に学びを広げられるように資料が準備されている。 ○ 津波や風水害等の自然災害に関する資料や新型コロナウイルス感染症を含めた感染症に関する数値や新聞記事などの資料が配置され、出典も明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の配列に合わせて、学年に応じて保健領域の健康に関する内容が配列されており、内容について段階的に学べるように配慮されている。 ○ 児童が見通しを持って学習に取り組むことができるように、全ての章で4つのステップで学ぶ学習の道筋で統一されており、各章のはじまりにはねらいが明確に示されている。 ○ 基礎的・基本的な内容について太字ゴシックで示しており、内容の確実な習得への配慮がある。また、実生活での行動化や発展的に考えにつながるように配慮されている。 ○ 当地域の各学校の年間指導計画に幅広く適合し、どの学校でも扱いやすい内容となっている。また、学習指導要領の内容に示された所定配当時数内での指導可能な分量となっている。 ○ 学習指導要領の配列に合わせて内容が配列されるとともに、児童の生活との関連が図られるように教材が配列されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 健康課題の解決に向けて基礎的な知識を得たり詳しく調べたりする活動と、それらを基に話し合ったり伝え合ったりする活動が設定され、主体的な学習態度の形成に配慮されている。 ○ 児童の気付きを課題に結び付け、調べ、それを基に考えを交流させ、他の人の考えを聞いて分かったことを書くなど、主体的・対話的で深い学びにつながる4つのステップで構成されている。 ○ 章ごとに資料や二次元コードが配置され、興味・関心に応じて一人一人の学習の理解を深めたり、発展的に学んだりすることができるように配慮されている。 ○ 章のとびらや各学習段階のページに、マークと関連する教科や単元名が記載され、その章と他教科との関連が示されている。 ○ 学習の手引きやイラストや写真等が適切に配置されるとともに、動画やシミュレーション映像など、児童の学びを広げ、深めるデジタルコンテンツが豊富に用意されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の発達段階に対応した表記や表現が使われており、熟語では交ぜ書きをなくすように1学年上の漢字も振り仮名を付けて使用したり、健康に関する専門用語等には振り仮名をつけたりするなどし、児童が読みやすいように配慮されている。 ○ どの児童にとっても親しみやすく、意欲を持って学べるように、イラストや写真、マーク等が豊富に掲載されている。 ○ ユニバーサルデザインの観点から、視覚の特性に配慮し、児童が読みやすいように書体は独自に開発したUD教科書体となっており、従来の教科書に比べ太く、見やすいものになっている。 ○ 児童が見通しを持って学習するとともに、書かれている内容を理解しやすいように、1単位時間を4ページで構成し、イラストや写真が大きく配置され、児童が見やすいものになっている。 ○ 環境への配慮がみられ、表紙、本文ともに、再生紙が原料とされ、印刷には植物油インキが使用されている。また、ページが開きやすいように製本され、堅ろうである。 | | | | | | |

| 種 目 | 保 健 | 発行者の番号・略称 | 4 大日本 | 教科書の記号・番号 | 保健 307 507 | 書 名 | 新版 たのしいほけん 3・4年 新版 たのしい保健 5・6年 |
|-----------------------|--|-----------|--------------|-----------|------------------|--------|-----------------------------------|
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の目標が達成できるように、各章に導入ページを設けて目標を明確にするとともに、小単元の冒頭には単元で学習する課題を明示し、目標を持って学べるように工夫されている。 ○ 生涯にわたる健康な生活の実現に向けて、日常生活の中で体を動かす場面や発育・発達に必要な運動例を示すなど、保健と運動の関連を図るように工夫されている。 ○ 自分の生活と比較、関連付けるなど、健康や安全の関する課題を解決する学習活動を取り入れ、思考・判断し、対話や記述で表現できるように工夫されている。 ○ 学習指導要領に示された学習内容の系統性、領域のバランス、他教科との関連を総合的に考え、発達段階に応じた適切な単元配列を組むなど、学習の充実と発展を図るように工夫されている。 ○ 内容、資料とも偏りなく構成され、自然災害や感染症など今日的課題に関する資料についても豊富に取り上げ、出所、出典も明記されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が見通しを持って学習できるように、目次に各学年の学習内容が示されており、各学年が系統的に配列されている。 ○ 教科の目標を踏まえ、児童が学ぶ内容をつかみやすいように、まず各章のねらいが表記され、1単位時間のねらいも明確に示されている。 ○ 各単元の終末に「まとめ」が設定され、基礎的・基本的な内容について確認することができ、「もっと知りたい！」のページで発展的な学習ができるように工夫されている。 ○ 1単位時間が見開きを基本に構成され、児童が学習の見通しを持ちやすいように工夫されている。学年に応じ、精選した内容及び分量にしており、各学校の年間指導計画に広く適合できる。 ○ 様々な地域の安全への取組が紹介され、単元の終末には「家・地域ほけん」のコーナーが設定されるなど、地域の実情に応じて、実生活と関連付けて学ぶことができるように配慮されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 1単位時間を「見つける」「考えてやってみる」「まとめる」「広げる・深める」の流れで学習活動が構成され、基礎的・基本的な内容の習得と主体的な学習態度の育成の両方に配慮されている。 ○ 「考えよう」「話し合おう」「調べよう」などの活動を設定し、児童が自分の考えを持ちながら、協働して学ぶことを通して、主体的に考えながら、深く学ぶことができるように工夫されている。 ○ 「専門家キャラクターの解説」「ミニちしき」「学習の助けとなる資料『もっと知りたい!』」など、児童の興味・関心に応じ発展的に学習できるように工夫されている。 ○ 他教科と保健の学習の関連が一目で分かるようにマークで示すなどの配慮がなされている。また、保健領域の学年の系統性についても見やすく示されている。 ○ 学習内容の理解に必要な挿絵や図表が効果的に配置されている。また、デジタルコンテンツを豊富に用意しており、二次元コードから利用できるように工夫されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の発達段階に応じた文章表現がなされており、児童が読みやすいように振り仮名も適切に振られている。また、重要事項について簡潔に記載している。 ○ 児童が興味を持って学習課題の解決に取り組むことができるようにイラストや写真、図表等が配置されている。 ○ どの児童にとっても見やすく読みやすいように、文字の大きさや字体、色彩がユニバーサルデザインに配慮されている。 ○ どの児童も学習の流れがつかみやすいように統一されたレイアウトで1単位時間の内容が構成されている。また、写真や図表がバランスよく豊富に掲載されている。 ○ 環境に配慮した紙と植物インクが使用されている。また、表紙は丈夫で汚れにくいUVミラコート加工となっている。 | | | | | | |

| 種 目 | 保 健 | 発行者の番号・略称 | 50 | 教科書の記号・番号 | 保健 308 508 | 書 名 | 新 小学校ほけん 3・4年 新 小学校保健 5・6年 |
|-----------------------|--|-----------|----|-----------|------------------|--------|-------------------------------|
| | | 大修館 | | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の目標を踏まえ、身近な生活の中から健康や安全に関する課題を発見し、学習の見通しを持ち、解決に向けて考え・話し合う活動を行い、まとめる構成となっている。 ○ 健康や安全に関する課題が、児童の生活場面の中から発見できるように授業の導入場面が工夫されており、それらに関する資料も豊富で、課題解決に向け、多面的に考えることができる。 ○ 各章の導入となるとびらのページでは、著名人を取り上げ、学習内容への関心を高め、主体的に学ぼうとする意欲を引き出そうと工夫されている。 ○ 1単位時間が三つの段階で構成されており、学びやすく、教えやすいようにされており、学びを広げる・深める資料も充実している。 ○ 内容、資料ともに偏りなく構成されており、今日的課題、児童の身近にある課題に関する資料についても豊富に取り上げ、出所、出典も明記されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に基づき、目次には、各学年の学習内容が示されており、各単元が系統的に配列されている。また、「保健」と「体育」を関連させ、運動領域との関連にも配慮されている。 ○ 1単位時間の流れが明確に示され、資料やイラストを効果的に使って、学習内容全体が分かりやすいようにまとめられている。 ○ 基礎的・基本的な知識技能は明瞭かつ簡潔に記述され、重要語句は太字で示されている。さらに発展的な資料も取り上げられており、児童の実態に応じた学びができるよう配慮されている。 ○ 1単位時間を見開きで学習する構成となっており、学習指導要領が想定する標準的な配当時間で指導できるよう配慮されている。 ○ 児童の発達段階や実生活、地域の実態等に応じて、幅広く対応できるように教材が配列されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の記述に加え、デジタルコンテンツなどで知識・技能を習得させるとともに、記述により、思考・判断力を育成できるように配慮されている。 ○ 1単位時間において、自分が考えたこと、他の人との考えを比べて思考を広げる対話的な活動が設定されている。また、学習したことを自分の生活や将来につなげられるようになっている。 ○ 豊富な資料から、個人差や多様性、共生への理解が深まるように配慮されている。また、各章の最後には、「振り返り」が設定されており、各自の学習状況を確認することができる。 ○ 各教科との関連がマークで示されており、教科横断的な学習ができるようになっている。また、防災に関する内容もあり、東日本大震災と関連させて学習することができる。 ○ 各所に二次元コードが掲載されており、学習内容と関連したデジタルコンテンツが活用できるようになっている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 該当学年までに配当された漢字が使用され、未修の漢字や専門用語には振り仮名が付けられている。また、文章読解の段階でつまづかないように配慮されている。 ○ 適宜キャラクターを活用し、用語の解説を加えたり、児童に対し多角的に考える視点を与えたりするなど、工夫されている。 ○ 文字のフォントは、視認性と可読性の高いユニバーサルフォントが採用されている。また、色覚の個人差にも対応できるカラーユニバーサルデザインにも配慮されている。 ○ 学習事項に即した資料等が豊富に配置され、児童の学ぶ意欲が持続できるように様々な工夫がなされている。 ○ 環境に配慮したインクと再生紙を使用されている。また、印刷は全ページカラーで、書き込みやすい用紙になっている。 | | | | | | |

| 種 目 | 保 健 | 発行者の番号・略称 | 207 文教社 | 教科書の記号・番号 | 保健 309 509 | 書 名 | 新わたしたちのほけん 3・4年 新わたしたちの保健 5・6年 |
|-----------------------|--|-----------|----------------|-----------|------------------|------------|-----------------------------------|
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の目標を踏まえ、児童の生活経験と関連付けながら健康や安全に関する課題を見付け、解決に向け、自己の振り返りや話し合いを通して課題解決できるようになっている。 ○ 1単位時間ごとの健康や安全に関する課題が明確に示されており、学習の終末では、学習内容に関連した自分自身の今後についての考えを記述できるようになっている。 ○ 導入では、児童各自の生活経験を想起させ、課題設定から学習のまとめまで見通しをもって主体的に取り組めるように工夫されている。 ○ 1単位時間の学習は、目標からまとめで構成されており、単元で理解したことを友達と伝え合う過程を取り入れることで、より確かな理解と実践につなげられるよう工夫されている。 ○ 内容、資料ともに偏りはなく、出所、出典も明記されている。また、写真も見やすく、学習内容に関連したものを使用している。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 既習の保健の学習との関連が記載されていて、系統的な指導ができるようになっている。また、運動領域との関連性も重視され、心と体の密接な関係が理解できるようになっている。 ○ 単元の目標が「学習のめあて」として示され、単元を通して児童が見通しを持ち、主体的に学習に取り組めるようになっている。また、内容も生活場面と関連させ簡潔にまとめられている。 ○ 重要語句が太字で強調されるなど、基礎的・基本的な内容を身に付けられるようになっている。また、今日的課題など発展的な資料を掲載し、児童や地域に合わせられるよう配慮されている。 ○ 学習指導要領の配当時数内で指導できるように配慮されており、各校の年間指導計画に適合することができる。 ○ 児童の発達段階や健康や安全に関する一般的な事例を取り扱っているため、児童や地域の実態に応じて柔軟に対応できるようになっている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ Missionを達成するためにStageとして具体的な学習活動が記載されていて、主体的に学習を進め、知識・技能の習得をめざすことができる。 ○ 本文の記述に加え、デジタルコンテンツを活用することで、知識や技能を習得することができ、記述によって思考や判断したことを表現できるように配慮されている。 ○ 担任や養護教諭などのキャラクターのせりふを生かし、多角的に考えたり、より深い理解につなげることができるように工夫されている。 ○ 「地域の保健活動」では、他教科との関連だけでなく、地域の実態に合わせて学習することができるように配慮されている。 ○ 資料や写真が適切かつ効果的に配置されている。また、随所に二次元コードが掲載されていて、デジタルコンテンツも活用しやすいように配慮されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字は該当学年まで配当された教育漢字を使用し、新常用漢字についても対応している。また、文章は、簡潔で分かりやすく、読みやすいように配慮されている。 ○ 児童や担任、養護教諭などそれぞれの立場で、疑問や意見を述べたり、解説したりするなど、親しみを持って学習できるような表現になっている。 ○ 書体や文字の大きさ、色はユニバーサルデザインに配慮されており、レイアウトを含め、読みやすいものになっている。 ○ 二次元コードからリンク先にアクセスすることができ、より多くの情報を得ることができるようになっており、学習が充実、発展できるようになっている。 ○ 見やすい紙面と視覚的にゆとりのある構成にするためA4版を使用し、2年間の使用に耐えるようFSC認証用紙を使用している。 | | | | | | |

| 種 目 | 保 健 | 発行者の番号・略称 | 208 | 教科書の記号・番号 | 保健 310 510 | 書 名 | 小学ほけん 3・4年 小学保健 5・6年 |
|-----------------------|---|-----------|-----|-----------|------------------|--------|-------------------------|
| | | 光文 | | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題の解決に向け、学習の流れが5つの段階で構成されており、課題の設定からまとめまで見通しを持って学習に取り組める内容になっている。 ○ 保健領域と関連して、様々な運動や遊びの例が紹介されており、運動離れや肥満傾向にある児童に対して、意識を高められるような内容になっている。 ○ 児童の意欲を高めるための様々な写真、グラフ等、参考資料が豊富である。また、学習のまとめとして実生活への行動化につなげるための内容が設定されている。 ○ 家庭や地域についての調査活動が設定されており、具体的なイメージをもって実生活へ反映させることができるとともに、地域への関心を高められる内容になっている。 ○ 情報化の時代に即した内容など、今日的な課題に対応した資料が各項ごとに配置されており、自分事として捉えられるような内容になっている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に沿って内容が配列されており、運動領域との関連が図られていることから、運動離れや肥満等にも意識しながら、学べるような内容になっている。 ○ 各章ごとにねらいが明確に示されており、学習の流れが分かりやすく見通しを持って取り組めるよう配慮されている。 ○ 重要語句は太字で大きく示されており、目に留まるよう配慮されている。発展的な内容が各章に設定されており、今日的な課題に対しての学びの場が設定されている。 ○ 1単位時間を見開きで学習する構成となっており、時間内に十分取り組めるような内容で、分量が適切である。また、各学校の年間指導計画に広く適合できる内容である。 ○ 児童の実態や地域の実態に広く対応できるよう、教材が配列されている。学習のまとめや参考資料において地域について考えさせる場面が設定されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題の設定からまとめまで、問題解決的な学習の流れで構成されており、主体的に学びを進められるよう配慮されている。「やってみよう」の活動を通して、技能の習得が図れる。 ○ 写真やイラストなど、児童の興味や関心を引くような資料が豊富に掲載されている。資料からの気付きや疑問から、対話的な学びへとつながられるような学習も設定されている。 ○ 各章ごとに二次元コードが配置され、児童の学びの補完や、発展的な学習をすることができ、充実した学びとなり、学習効果を高められるような内容になっている。 ○ 巻末の「SDGsってなんだろう」など総合的な学習の時間や他教科・他領域との関連を図ることができるよう配慮されている。 ○ デジタルコンテンツが豊富であり、学びを広げたり、深めたりできるよう配慮されている。児童の学習進度に応じた多様な学びを展開することができるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表記や表現については、未習の漢字や専門用語に振り仮名がつけられるなど、発達段階に応じて配慮されている。 ○ イラストや写真などを効果的に取り入れ、児童が親しみやすく、興味や関心を高めて学習に取り組めるよう工夫がなされている。 ○ 重要語句を一回り大きくするなどの工夫が見られ、見やすく分かりやすくなるよう配慮がなされている。イラストや写真も鮮明であり、豊富に掲載されている。 ○ 1単位時間を見開きで学習する構成は、見やすく扱いやすくなっている。図や表の大きさ、配置についても、適切であり見やすい。 ○ 製本は、堅ろう性が高められており、環境に配慮した紙及び植物性インキを使用したものとなっている。 | | | | | | |

| 種 目 | 保 健 | 発行者の番号・略称 | 2 2 4 学研 | 教科書の記号・番号 | 保健 3 1 1 5 1 1 | 書 名 | 新・みんなのほけん 3・4年 新・みんなの保健 5・6年 |
|-----------------------|--|-----------|-----------------|-----------|----------------------|--------|---------------------------------|
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程が設定されており、見通しをもち、主体的、対話的に取り組むことができるような内容で構成されている。 ○ 今日の課題について資料を用いて紹介し、「運動離れ」「肥満」「生活習慣病」など、健康や安全に関心をもてるような工夫がなされている。 ○ 「ほけんのはこ」など、発達段階に応じた資料が掲載されており、学びを広げたり、深めたりすることができるよう工夫がなされている。 ○ 発展的な学習を設定し、個の進度や興味・関心に応じた学習を進めることができるよう配慮がなされている。学習内容についてもよく精選されている。 ○ 項目によつての分量に偏りなどもなく、内容、資料ともバランスよく構成されており、出所、出典も明記されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「つなぐ」を設け、他学年との系統性についても考えることができるよう配慮されている。また、他教科・他領域とも関連を図り、学習効果を高められるように配慮されている。 ○ 各項目において、導入からの3つの学習の進め方で展開しており、保健の見方・考え方で必要な思考スキルについて学習を通して身に付けられるような内容になっている。 ○ 各章の最後にまとめの学習を設定し、学習内容を想起したり、問題に取り組ませたりすることで、学習内容の定着を図れるよう工夫がなされている。 ○ 1単位時間が4ページで構成されているが、配当時間内で学習できる内容、分量となっている。各学校の年間指導計画に広く適合できるような内容になっている。 ○ 「おうちで」「ちいきで」の活動を設け、体験活動を重視し、家庭、地域との連携を図りながら学習を進められるよう工夫がなされている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるよう、各項目において3つの学習の進め方で学習を展開し、必要な考え方、学び方を身に付けられるよう工夫がなされている。 ○ 「もっと知りたい・調べたい」を設け、児童の実態に応じて学習を広げたり、深めたりすることができるような資料を豊富に掲載し、主体的に学習を進められるよう工夫がなされている。 ○ 二次元コードを配置し、児童の多様な個性や能力に対応し、個々の学習進度に合わせて学習を進めることができるよう配慮されている。 ○ 「つなぐ」「体育とつなげる」を設け、他教科・他領域との関連を示し、教科横断的に学習を進めることができるよう配慮されている。 ○ イラストや図表等、各項目で効果的に配置され、二次元コードから動画視聴することもでき、学習を広げたり、深めたりすることができるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表記、表現については発達段階に応じて振り仮名を用いたり、重要語句を太字で強調したりするなどの工夫がなされている。 ○ イラストは親しみやすく、学習内容を的確に表現している。写真は、児童の興味・関心を引くような素材を用いるなど工夫がなされている。 ○ 文字の大きさ、字体、色彩などは、ユニバーサルデザインに配慮しており、特別な配慮を要する児童の目線から考えて、見やすさ、分かりやすさに配慮がなされている。 ○ 図表やイラスト等の資料は、各ページにおいてレイアウト、バランスを考慮して配置されており、分かりやすく、見やすいものとなっている。 ○ 環境に配慮した植物インキを使用し、印刷されている。書き込みしやすく、丈夫な用紙を使用している。 | | | | | | |

| 種 目 | 英 語 | 発行者の番号・略称 | 2 東書 | 教科書の記号・番号 | 英語 509 510 609 | 書 名 | NEW HORIZON Elementary English Course 5 NEW HORIZON Elementary English Course My Picture Dictionary NEW HORIZON Elementary English Course 6 |
|-----------------------|--|-----------|-------------|-----------|-------------------------|--------|--|
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が主体的に外国語によるコミュニケーションを図ることができるよう工夫されており、4技能5領域をスモールステップでバランスよく配置している。 ○ コミュニケーションの目的や場面、状況などを意識して言語活動ができるよう、興味・関心に基づく課題が設定されており、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて工夫されている。 ○ 児童の発達段階に沿って、第5学年では自分や地域のことを伝えることから始まり、第6学年では世界とのつながりをより強く意識した構成となっており、視野を世界に広げながら、学びを深めていくものとなっている。 ○ 2年間を通じて文字の名前から音、文へと無理なく学習できるよう工夫されており、読み書き指導も含めてスムーズな中学校への接続が図られる構成となっている。 ○ 他教科との関連が全Unitで盛り込まれ、また、防災教育やSDGsへの対応、伝統文化等、バランスよく配置されている。写真や映像等、資料の出所、出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語活動で慣れ親しんできた言語材料を冒頭で取り上げ英語へのスムーズな接続を図っている。また、読む活動や書く活動を発達段階に応じて取り入れるよう配列されている。 ○ 各Unitの冒頭に目標が示され、目標に対しての振り返りや自己評価ができるようになっている。児童が言語活動を行う目的を意識することができるよう構成されている。 ○ 二次元コードを通じて閲覧できるコンテンツやタブレット端末を用いてペアやグループで取り組む協働的な言語活動が取り入れられており、個別最適な学び、協働的な学びがICTを用いて効果的に行えるよう配慮されている。 ○ 基本的に1ページ1時間の扱いとなっており、時間の配当が分かりやすく、また、シンプルな紙面構成や評価の観点の明確化等は、年間指導計画が把握しやすい構成となっている。 ○ 2年間を通して、自分、地域、日本、世界、世界の国々、世界と日本、中学校への扉と広がりを持たせた配列になっており、児童が自分の地域を見つめながら発信できるものとなっている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目的や場面、状況等に応じた英語で伝え合う力をつけるために、スモールステップで繰り返し学習を積み重ねる単元構成となっている。My Picture Dictionaryは、紙面すべての英語を音声で聞くことができ、児童の自ら学ぶ力を育むよう工夫されている。 ○ 児童の生活経験から興味・関心の高い言語活動が設定されている。各単元Enjoy Communicationが適切に配置され、主体的・対話的で深い学びを実践する工夫がなされている。 ○ QRコンテンツが充実しており、臨場感のある動画等が用意されている。また、Digital Dictionaryでは、言いたい単語を探して言える等、学びを調整しながら学習できるよう配慮されている。 ○ 他教科との関連は全単元で意識されている。持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であるSDGsについて意識させるようなテーマや題材が意図的に組み入れられている。 ○ 二次元コードが適切に配置されており、児童が学校でも家庭でも主体的に取り組むことができる。また、単語を表す挿絵等が分かりやすく配置されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 英語表記、表現に関しては、英語の分量や内容が学年に応じて段階的に難易度が高くなっており、日本語表記は、学習を補助する役割として、適切にふりがなが振られている。 ○ 各単元の導入においての動画教材がアニメーション映像で児童の興味を引きつけることができる。また、登場人物も2年間を通じてオーストラリアからの転校生のソフィアを中心に個性的なキャラクターで親しみを持てるものとなっている。 ○ オリジナルのユニバーサルデザイン(UD)書体を使用し、文字認識のつまずきに対して配慮されている。また、児童の集中力が保てるよう落ち着いた色合いになっている。 ○ イラストや写真が見やすく適切に配置されている。児童に分かりやすく、興味を引くイラストになっている。 ○ 児童の負担に配慮した軽量の紙を使用している。再生紙、植物油インキを使用し、環境配慮基準を満たしている。 | | | | | | |

| 種 目 | 英 語 | 発行者の番号・略称 | 9 | 教科書の記号・番号 | 英語 | 書 名 | Junior Sunshine 5 Junior Sunshine 5 Word Book Junior Sunshine 6 Junior Sunshine 6 Word Book |
|-----------------------|---|-----------|-----|-----------|----|--------|--|
| | | | 開隆堂 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 英語によるコミュニケーション能力を育てるために、英語が楽しいという気持を高められるよう言語活動場面が工夫されている。 ○ 単元の学習の流れが明確であり、単元で身に付けたい力を GOAL として示し、その達成に向けためあてが併記されている。見通しを持って学習が進められるよう工夫されている。 ○ 児童が発達段階に応じて着実に知識を身に付け、創造性を養うことができるよう、適所にガイドキャラクターが配置され、学習をサポートするよう配慮されている。 ○ 実際に英語を使って考えや気持ちを伝え合う言語活動の充実が図られており、ゴールの言語活動に向け、どの単元でも言語材料に出会う、やり取りを行う、語句や表現に慣れ親しむことが適切に設定されている。 ○ 多様な人物や地域を取り上げ、世界各国の文化や生活に触れるコンテンツが充実している。出所、出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 音声から文字への学びのつながりが重視され、読むこと、書くことの学習がスムーズに行われるよう構成されている。文字を認識し、書く活動につながる工夫がなされている。 ○ 単元で身に付けさせたい力を明確にゴールの言語活動が設定されており、バックワードデザインで単元が構成されている。冒頭の見開きで単元の学習の見通しを持つことができるよう工夫されている。 ○ 単元ごとに児童が学習したことを確認できるペーパーとパフォーマンスが用意されている。児童自身が自己の成長を実感できる工夫がなされている。 ○ すべての単元が8時間配当とされており、各単元の学習の流れが明確になっているため、見通しをもって学習に取り組むことができる。 ○ 持続可能な社会の担い手を育成するという観点から、SDGs、キャリア、伝統・文化・郷土愛が題材に盛り込まれている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元で学習する表現に楽しく慣れ親しむようオリジナルのチャンツが用意され、英語の音とリズムに慣れ親しむ工夫がなされている。また、アルファベットの取得のための動画も用意されている。 ○ デジタルコンテンツが豊富に用意され、児童が見通しを持ち、課題解決のために自分のペースで学んだり、友達と学んだりすることができるよう工夫されている。 ○ Word Book では、学年の学習内容に合わせて語句が精選され、カテゴリー別に掲載されている。また CAN-DO チェックでは、単元末の自己評価によって学びが実感できるよう配慮されている。 ○ 児童の興味・関心に応じて、単元の学習内容と他教科等との関連を示したマークを示し、学習に役立てられるよう配慮されている。 ○ イラストや写真が適切な大きさと配置されており、また、二次元コードで児童の学びを支援する配慮が適切になされている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学年の発達段階に応じて、それぞれの場面において、日本語表記や英語の表記、表現によって適切に紹介されている。 ○ 児童と同世代のキャラクターが成長する様子をストーリー仕立てで展開され、イラストや写真が適切であり話したくなる、聞きたくなる工夫がなされている。 ○ 日本語には、ユニバーサルデザインフォントを使用し、また、視覚的にも落ち着いた配色となっている。印刷は鮮明である。 ○ 写真や絵はバランスよく配置され、情報が読み取りやすいゆとりある紙面となっている。どの単元も同じ構成で進むため、児童が活動しやすくなっている。 ○ 色覚の個人差を問わず、多くの児童が見やすくなるよう配慮されている。環境に適した用紙やインキを使用している。 | | | | | | |

| 種 目 | 英 語 | 発行者の番号・略称 | 1 5 三省堂 | 教科書の記号・番号 | 英語 5 1 3 5 1 4 6 1 3 | 書 名 | CROWN Jr. 5 CROWN Jr. My Dictionary CROWN Jr. 6 |
|-----------------------|---|-----------|----------------|-----------|-------------------------------|--------|---|
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校生活や地域行事など、児童の日常生活と関連させた場面と話題を設定することで、児童が自分事として捉え、主体的にコミュニケーションを図ることができるように工夫されている ○ 学んだことが振り返られるように、CAN-DO リストが My Dictionary に掲載されており、どの場面で使える表現なのかが一目で分かるように工夫されている。 ○ 児童の世界を広げるために、世界の文化だけでなく日本の優れた文化も取り上げ、どんな言語でも相手でも違いを認め合い、互いを尊重する心を育むように工夫されている。 ○ 各学年の Try において、「一日の生活」など特有の場面でよく使われる表現を集中的に学習することで、実践的な表現が身に付き、言語能力の向上が図られるように工夫されている。 ○ 英語圏に限定されることなく、様々な言語や文化を紹介し、人種や身体的特徴などについても多様性が図られている。写真や映像を含めた資料の出所、出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 三つの大単元の中に、HOP、STEP、JUMP の学習段階が設定されており、ゴール向かってどのような学びを積み重ねていくのか、どのような力が身に付くのか、分かるように配慮されている。 ○ 各単元では、場面設定をパノラマの絵で表すことで児童の関心・意欲を高め、続いて言語活動を通して表現に慣れ親しみ、最後に学んだ表現を用いて伝え合う活動構成になっている。 ○ 各単元には、基礎的なコミュニケーション能力を養うために小ゴールが設定されており、それらを積み上げることで、無理なく発展的な学習を進めることができるように工夫されている。 ○ 年度の初めに復習する時間が確保されており、また各学年の JUMP の配当時間が 2～4 時間と弾力的であるなど、各学校の年間指導計画に広く適合できるように指導計画が提案されている。 ○ 第 5 学年では児童が既に知っている事柄を題材とし、第 6 学年では調べたり考えたりすることが必要な事柄を題材とされている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーション活動で、語句や表現を繰り返し使えるように工夫されており、それらを使って児童が自分の思いや考えを伝えるまともになっている。 ○ 大単元のまとめの JUMP では、発表前に児童同士で練習する時間が設けられており、互いに改善点を話し合うなど、主体的・対話的で深い学びを実践するための工夫がなされている。 ○ ABC Fun Box や Let' s Play など、ゲームの要素を取り入れた言語活動が配置されており、文字や音に親しみ、楽しみながら学びを深める工夫がされている。 ○ 他教科と連携したさまざまな題材や活動が配置されており、どの教科と連携しているのか、どのような学びと関連するのか、分かるように表記されている。 ○ 掲載されている二次元コードから教科書ウェブサイトにはアクセスでき、動画や音声を確認することができるなど、豊富なコンテンツによる学習サポート体制が整っている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 第 5 学年の英語表記は単語が中心となっており、第 6 学年で段階的に文が多くなるように工夫されている。日本語表記は上位学年配当漢字に送り仮名が付けられている。 ○ 大単元の導入で多くの写真を使って活動の様子を示したり、場面を表す様子を絵や図で表したりするなど、児童が興味・関心を持って取り組めるように工夫されている。 ○ 手書きフォントを採用し、児童がきれいに書けるように配慮されている。また、見え方によって理解に差が出ないように、ユニバーサルデザインが取り入れられている。 ○ 構成が統一されており、すっきりとしたレイアウトになっている。また、書く活動の見本は書く欄の上に配置されており、児童が見やすい紙面の工夫がされている。 ○ 紙面が見やすいように大判化されており、製本も堅ろうである。また、環境にやさしい用紙と植物油インキを使用している。 | | | | | | |

| 種 目 | 英 語 | 発行者の番号・略称 | 1 7 教出 | 教科書の記号・番号 | 英語 5 1 6 6 1 5 | 書 名 | ONE WORLD Smiles 5 ONE WORLD Smiles 6 |
|-----------------------|---|-----------|---------------|-----------|----------------------|--------|--|
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 実際の使用に即した場面設定、興味を喚起する話題、他者と関わりながら進めていく活動を豊富に配置し、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成できるよう配置されている。 ○ 児童自身の興味・関心や経験等を発信できるように言語活動がバランスよく配置され、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう工夫されている。 ○ クラス内での自己紹介から、学校や地域、国内、海外へと単元が進むにつれて徐々に視点が広がっていくように構成されており、児童の発達段階に適合した内容になっている。 ○ 音声と文字、語、連語、慣用表現がバランスよく配置され、繰り返し使用する場面を設けていることで、定着が図られるように工夫している。 ○ 世界の多様な文化だけでなく、日本の文化も取り上げることで、世界を身近に感じ、互いの国の違いや共通点を見出すことができる内容になっている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 2年間を通して4技能・5領域が段階的に学べるように配置されており、単元が進むにつれて少しずつ「読むこと」「書くこと」の英文の数が増えるように配慮されている。 ○ 単元の冒頭に単元目標を示し、単元末で目標に関連したやり取りや発表をすることで、学習の見通しを立て、コミュニケーションの目的を意識しながら活動を進められるよう工夫されている。 ○ 各単元の流れが一定であり、見る、聞く、歌やリズムに合わせて口慣らしを通した表現に慣れ親しむインプットから始まり、話す、書くアウトプットへと展開する構成になっている。 ○ 各単元は7時間配当を基本とし、習得した内容を活用させる時間を考慮した上で67時間に設定されており、年間指導時数の70時間内に余裕をもって指導できるように配慮されている。 ○ 自分に関することや学校生活、地域、日本と題材が広がるように配列されており、児童の生活や実態に合わせた指導ができるように配慮されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の身近な暮らしに関わる場面を中心としながら、道案内など特有の表現が使われる場面もバランスよく配置され、言語活動を通して言葉の意味や働きを理解できる工夫がされている。 ○ 学校生活にあったテーマや活動など、児童が「やってみたい」と思えるような教材や活動が設定されており、児童が主体的・対話的で深い学びができるように工夫されている。 ○ 各単元の目標と振り返りの観点が明示されており、学習後の目標とする姿をイメージさせ、それを意識しながら授業に臨むことで、最後に自己評価できるように工夫されている。 ○ 国語科や社会科等で学んだ教材や内容、防災の視点やSDGsを取り上げるなど、他教科との関連を図る題材が配置されている。 ○ 挿絵・図版・写真等は、学習内容の様子を分かりやすく示したもののや、音声や英文の内容の理解を助けるものなど適切に配置されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 指示や説明文などは、外国語活動や第5学年での学習を踏まえ、各学年の発達に応じた表現で表記されている。 ○ 日本や世界の「名所・名物マップ」など、学習意欲を高める教材が豊富である。イラストは、社会の多様性や人権を尊重し、あらゆる差別をなくすように、様々な人々が描かれている。 ○ 書くときのアルファベットに近い形状の書体を使用したり、4線の上下幅の比率を4:5:4としたりするなど、書く練習がしやすいように配慮されている。 ○ 活動の種類を表すタイトルデザインが統一されているほか、イラスト・写真が活動内容に応じてバランスよく配置され、学習内容が伝わりやすいものになっている。 ○ 製本は堅ろうであり、長時間の使用に耐えられるものになっている。また、再生紙や植物油インキを使用しており、地球環境に配慮されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 英 語 | 発行者の番号・略称 | 3 8 光村 | 教科書の記号・番号 | 英語 5 1 6 6 1 6 | 書 名 | Here We Go! 5 Here We Go! 6 |
|-----------------------|--|-----------|---------------|-----------|----------------------|--------|--------------------------------|
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の各学年の目標及び内容がもれなく指導できるよう各単元・教材のねらいが明確化され、基礎的・基本的な内容が確実に身に付けられるよう工夫されている。 ○ 児童が外国語の学習のはじめの一步を前向きに踏み出せるよう各ユニットの導入にはストーリーアニメが設けられている他、自分に必要な言葉を書き込める別冊の Picture Dictionary など楽しく学び、意欲的に取り組めるよう内容となっている。 ○ 基礎的な内容の他、言語活動は自分の気持ちや考えを書いて伝え合えるよう、既習表現を活用できるように内容の配置や構成が工夫されている。 ○ 特別支援教育への配慮がなされ、ユニバーサルデザイン・カラーユニバーサルデザインの観点から全ての児童に使いやすい内容となっている。 ○ 身近な話題から、世界へ意識を向ける話題、SDGs に関連する話題へと視野が徐々に広がるよう工夫されている。各学年で「災害と英雄」という教材が設けられ、6年の教科書には、震災後に歌い継がれている「しあわせ運べるように」という歌も紹介されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書全体を3つのパートに分け、各パートに5領域の活動をバランスよく配置されており、確かな英語の力が育めるようになっている。 ○ 複数の単元の学習の後、各学年3カ所にまとめの言語活動が設けられ、学期毎に学んだ表現を受容・発信する場面が盛り込まれている。 ○ 中学年教材で学習した表現を繰り返し使えるようになっている。また、既習の表現や語彙を何度も繰り返し出会うことで基礎基本の定着が図れるよう言語材料の配列が工夫されている。 ○ Unit は、Hop →Step1→Step2→Jump で構成され、全体で8つのUnit にスリム化が図られ、それぞれ7時間で統一され、2学期制、3学期制のどちらにも対応可能となっている。 ○ 自分の身近なことを伝え合うことから、地域、世界、将来へと広がりを持たせ、平和や環境のことなど地球全体で考える内容の配列となっている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ できるようになることを明確にするため、「学年の目標」を設定されている。さらに次学年の目標も示すことで学習全体に見通しをもてるように工夫されている。 ○ 他教科との関連を図れるように、他教科連携に該当する教材にはLink マークが入れられ、別冊の Picture Dictionary には、「日本語と比べよう」やメモコーナーが設けられている。 ○ 5年の開始時に不安なく取り組めるよう、中学年での既習事項を確認できる let' s start が設けられている。また、慣れ親しんだ表現を一覧にして掲載するなど配慮がされている。 ○ 6年の巻末には、「中学校へ向けて」を設け、中学校への接続が図られ、児童に中学校生活への期待をもたせられるようになっている。 ○ 各学年の教科書には、「特設ICTを活用しよう」や「二次元コード」が配置され、児童が学習を進める上で参考になるアニメーションや映像、音声が取められており、家庭学習にも資するような工夫されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語の表記・表現の基準は全学年にわたって統一され、適切な表現が身に付くよう配慮されている。 ○ 児童が内容を推測しやすいように、コミュニケーションの目的や場面、状況が分かるよう写真やイラストが適切に配置されている。 ○ ユニバーサルデザインに対応した配慮がなされている。教科書の3つのまとまりごとに3色のテーマカラーが設けられ、見やすいアイコンを付して示されている。また、色覚特性に配慮し、色だけに頼らず、形や線の種類や濃淡、地紋などでも識別できるように作成されている。 ○ 日本語の小さな文字は、読みやすいUD書体を使用し、改行の位置は読みやすい位置になるよう工夫されている。英語の文についてもできる限り改行せずに、読みやすさ、書き写しやすさに配慮されている。 ○ 環境の負担の少ない用紙、植物油インクを用いており原料や製法についても配慮されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 英 語 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 6 1 啓 林 館 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 英 語 5 1 7 6 1 7 | 書 名 | Blue Sky elementary 5 Blue Sky elementary 6 |
|---|---|---|------------------------|---|------------------------------|------------|--|
| 1 内 容 に 関 する こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領で示された目標を達成できるよう内容を精選し、児童が学年内、学年間の既習内容を確認しながらスパイラルに学べるようになってきている。また児童が見通しをもって学習が進められるよう Unit の最初に全体のめあて（GOAL）と各 Step のめあてが明示されている。 ○ 5年生では主に身近なことや知っていることを英語で表現する内容を、6年生では身の回りのことを少し詳しく調べたり、身の回りから離れた地域や世界のことを知ったりしながら学習する内容となっている。 ○ 児童の生活場面に即した場面や状況を設定することで当事者として思考し、判断できるようになっている。 ○ 語句や表現の使い方に関して、映像資料やリスニング活動を通して、自ら推測できるしかけが設けられており、推測したことを児童間で共有でき、理解につながるよう工夫されている。 ○ コミュニケーションで大切なことに映像を通して自ら気付けるよう工夫されている。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各 Unit に3つのステップを設け、「聞く」「話す」を繰り返しながらスモールステップで少しずつ積み重ねられるように配置されている。 ○ 導入時に映像を資料が配置され、児童が抵抗なく英語に接することができるよう配慮されている。また、イラストや写真を使って効果的に学習できるようになっている。 ○ 学習や指導の流れが分かるよう、各 Unit の構成が一定になっており、目標や学習に関する語句・表現が確認できるようになっている。 ○ 年間配当字数が、5年64時間、6年65時間に設定され、余裕を持って指導できるように配慮されている。語彙は学習指導要領で示された700語以上を扱い、豊かなコミュニケーション活動ができるようになっている。 ○ ピクトグラムや海外の標識を扱っており、防災上の備えについて考える機会が設けられている。また、Unit の目標を振り返ることができるよう、Unit の最後に Look back のコーナーが設けられている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「Words and phrases」や「Chant」などで基礎的な語句や表現が示され、インプットとアウトプットを繰り返しながら基礎・基本の表現の定着が図られるようになっている。 ○ ペアやグループで取り組むコミュニケーション活動を数多く用意し、他者と協働することで言語や態度面における様々な気付きが生まれるような仕組みになっている。 ○ 各学年とも世界に日本の魅力を発信する活動や世界の人々の暮らしや文化を知る活動が設けられ、他国のことを理解・尊重する心情を育めるようになっている。世界のSDGsに関する取り組みを紹介するコーナーがあり、国際社会の発展に目を向けられる仕組みになっている。 ○ 自分達の住む地域の道案内やよさを紹介し合う活動が取り入れられ、自分の地域を考える機会が設けられている。 ○ 紙面に QR コードが掲載され、各活動の音声や語句をゲーム感覚で学習できるようになっている。QR コードで学習の参考になる情報が見ることができるようになっている。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 大きな判型を採用し世界地図、日本地図などは大きく見られるよう折り込みを使用し、児童が見やすく書き込めるようになっている。 ○ 誰にでも識別しやすいフォントを使用し、行間にゆとりをもたせ文章が読み取りやすいよう配慮がされている。 ○ 巻末にミシン目入りの絵カードを用意し、ゲームなどに活用したり、語順を覚えたりする活動に生かせるようになっている。また、付録シートには、相づち表現が数多く紹介されている。 ○ アレルギーや環境に配慮し、植物油インクと再生紙を使用して作られている。用紙は、書きやすく消しやすい軽量で丈夫な用紙を採用している。 ○ 開きやすく、強度が保てる「あじろ綴じ」を採用しており、児童が繰り返し使用しても絶えられない作りになっている。 | | | | | | |

| 種 目 | 道 徳 | 発行者の番号・略称 | 2 | 教科書の記号・番号 | 道徳 1 1 2 2 1 2 3 1 2 4 1 2 5 1 2 6 1 2 | 書 名 | 新編 あたらしい どうとく 1 |
|-----------------------|--|-----------|----|-----------|--|--------|-----------------|
| | | | 東書 | | | | 新編 新しい どうとく 2 |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「心の力持ちをめざして」をスローガンに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める学習を行うための教材が多く取り上げられている。 ○ 身近な社会的課題について自分事として考えることができるよう「いじめ」「いのち」「じぶん」「情報モラル」「安心・安全」の5つのユニットが全学年を通じて設定されている。 ○ 児童の発達段階や生活経験に応じて価値理解を深めることができるよう、写真や挿絵を効果的に配置しながら資料が提示されており、児童の学習意欲を喚起する工夫が見られる。 ○ 児童が自己と向き合い、多様な感じ方や考え方に会うことができるよう、登場人物の心情説明の文言を削減し、教材文が学習効果を高めるよう工夫されている。 ○ 実在の人物のエピソードや児童の日常生活と重なるような教材文、考える必然性のある物語文など、偏りのない教材文がそろっており、出所、出典が明記されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年、「道徳の学習を始めよう」「本編教材」「つながる・広がる」「巻末付録」の4つで構成されており、各教材は、学年段階に応じた文字数で構成されている。 ○ 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることを意図した教材が、バランスよく適切に選定、配置されている。 ○ 道徳科の授業を楽しむ低学年、価値の理解を深める中学年、自分の生き方について考える高学年と、6年間を通して道徳性を養うことができるよう教材の内容、形式が工夫されている。 ○ 各学年の標準時数に合わせた数の教材が掲載され、全学年の重点指導内容項目、各学年の重点指導内容項目が設定されており、各校の年間指導計画に適合できるよう工夫されている。 ○ 児童の学校生活や学校行事に合わせた教材の配列になっており、各学校の年間指導計画に適合できるよう工夫されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材文に価値理解を深める中心発問と、自己を見つめさせるための発問が掲載されており、自分との関わりで価値理解を深めることができるよう工夫されている。 ○ 巻頭に学び方の例示があったり、教材末の「考えよう」には本時で考えさせたい投げ掛けの言葉があったりと、問題意識を喚起し、児童の主體的な学びにつながるよう工夫してある。 ○ 教材文に朗読音声やスライドショー（紙芝居）による支援動画が用意されており、児童の個性や能力に応じて学びを進めることができるよう工夫されている。 ○ 各学年に他教科における道徳教育を深化、統合することを意識した教材を取り入れたり、教材文の後のコラムに関連が明示されたりと、他教科等と関連付けて考えられるよう配慮されている。 ○ 学習の手引きとして、巻頭に「どんな学びをするのかな」が掲載されている。挿絵や写真等は適切に配置されており、すべての教材で二次元コードが冒頭に掲載されており、分かりやすい。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 読解に時間をかけることのないよう、未習の可能性のある当該学年の配当漢字は使用せず、原則として当該学年一つ下の学年までの配当漢字を使用するよう配慮されている。 ○ 視覚効果の高いワイドなA B版を採用し、色校正を重ね、児童の学習意欲を喚起できるよう工夫されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントの教科書体を採用しており、弱視や読み書き障害に配慮されている。印刷は鮮明で見やすく、目に優しい色を基調に構成されている。 ○ 効果的に写真や挿絵等を配置したり、漫画を活用したりして、教材の内容理解や価値理解を促すよう工夫してある。 ○ 環境にやさしい再生紙や化学物質を抑えた植物油インキが使用されているなど、環境やアレルギーに配慮されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 道 徳 | 発行者の番号・略称 | 1 7 教出 | 教科書の記号・番号 | 道徳 1 1 3 2 1 3 3 1 3 4 1 3 5 1 3 6 1 3 | 書 名 | しょうがくどうとく1 はばたこうあすへ 小学どうとく2 はばたこう明日へ 小学どうとく3 はばたこう明日へ 小学道徳4 はばたこう明日へ 小学道徳5 はばたこう明日へ 小学道徳6 はばたこう明日へ |
|-----------------------|---|-----------|---------------|-----------|--|------------|---|
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自己の生き方について考えを深める多様な教材を掲載しており、児童が道徳的な価値について自分事として考え、話し合い活動が充実するよう工夫してある。 ○ 今日的な課題を受け、いじめ問題への対応、情報モラルについて考えを深めることを重視し、6年間を通して系統的に指導できるよう工夫されている。 ○ 児童の発達段階に応じ、低学年は物語教材が中心、中学年は生活教材が中心、高学年は人物教材が中心として、児童が課題意識を持ち、主体的に考えることができるよう工夫してある。 ○ 教材文の終わり方を工夫することで、登場人物の悩みや葛藤、心の揺れなどに対する児童の多様な意見を引き出すことができるよう工夫されている。 ○ 長く親しまれてきた教材をはじめ、今日的な課題や児童の価値理解を深めるために新たに創作された教材がバランスよく配列されており、出所、出典が明記されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「学びのガイダンス」、各教材末の「自己評価欄」、巻末の「学習の振り返り」で構成され、児童が自らの成長を実感し、学習意欲を高めていくことができるよう工夫してある。 ○ 自己の生き方について考えを深める多種多様な教材を掲載しており、教材を用いた授業で、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てられるよう工夫してある。 ○ 各学年で重点テーマを設定しており、複数の教材と読み物を配置し、内容項目を関連的・発展的に捉え、学習効果が高まるよう工夫されている。 ○ 本教材30点で全ての内容項目を押さえ、補助教材5点（第1学年4点）を地域教材や自作教材に置き換えることができ、学校の実態に応じて年間指導計画が作成できるよう配慮されている。 ○ 学習時期と教材の内容の季節が一致するよう配列されており、児童の主体的な学びを促すよう工夫されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 導入でキャラクターが学習のねらいを示し、児童の問題意識を喚起するとともに、教材末の「考えよう」「深めよう」で、自分の生き方について考えを深めることができるよう工夫してある。 ○ 読み物教材だけでなく、一枚絵や絵本形式の教材、漫画形式の教材など、多種多様な教材が掲載されており、児童の経験や興味・関心に合わせた指導ができるよう工夫されている。 ○ モラルスキルトレーニングや役割演技などの体験的な学習を取り入れた教材が設定されており、道徳的価値に対する理解を深めることができるよう工夫されている。 ○ 「つなげよう」には、日常や他教科の学習につなげられるようなヒントや自分を見つめるための投げ掛けが示されており、関連を図った指導に生かすことができる。 ○ 学習の手引きが教材ごとに設けられており、登場人物の挿絵には、名前が明記され、児童の理解を助け、話し合いの時間が確保できるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字は、配当学年に準じて、原則として当該学年の漢字までを使用し、振り仮名は、登場するたびに繰り返し付してあるなど配慮されている。 ○ 挿絵や写真、図が大きく掲載できるワイドなA B版を採用し、児童の学習意欲を喚起できるよう工夫してある。 ○ 本文は、誤読されにくいユニバーサルデザインフォントが使用されており、視認性が高い。印刷は鮮明で、読みやすい色調となっている。 ○ 行間や余白がゆったりしており、児童が読みやすい。教材の内容理解や学習効果が上がるよう、挿絵や写真・図が適所に配置されてある。 ○ 用紙には、環境にやさしい再生紙を、インキは、植物油インキを使用している。ページ数が抑えられ、用紙が軽量化されており、児童の負担を軽減するよう配慮されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 道 徳 | 発行者の番号・略称 | 3 8 | 教科書の記号・番号 | 道徳 | 書 名 | どうとく1 きみがいちばんひかるとき |
|-----------------------|--|-----------|-----|-----------|-------|--------------------|--------------------|
| | | | 光村 | | 1 1 4 | | どうとく2 きみがいちばんひかるとき |
| 1 内容に 関すること | ○ 児童が学びたいという意欲（主体的な学び）を高めるために、何を学ぶのかを押さえ、見通しを持って学習に取り組める工夫がされている。 ○ 各学年に配された「いじめ問題」は、発達の段階に配慮した内容であり、学級づくりに生かせるようになっている。また、「情報モラル」は、児童が深く考えられるよう配慮されている。 ○ 「学びの記録」の自己評価では、第1～4年は、シールを貼り、第5・6年は、一言感想を記述するようになっており、児童の心身の発達の段階を考慮している。 ○ 「学びの手引き」には、学習につなげられるようなヒントがあり、学習の充実を図ることができるようになっている。 ○ 重点項目は、複数の教材、コラムで扱っており、多様なテーマの教材がバランス良く配列されている。 | | | 2 1 4 | | どうとく3 きみがいちばんひかるとき | |
| | | | | 3 1 4 | | どうとく4 きみがいちばんひかるとき | |
| | | | | 4 1 4 | | 道徳 5 きみがいちばんひかるとき | |
| | | | | 5 1 4 | | 道徳 6 きみがいちばんひかるとき | |
| | | | | 6 1 4 | | | |
| | | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | ○ 学校生活の実態と、児童の1年間の成長を考慮して、年間を3つのまとまりに分けて構成しており、3学期制や2学期制に対応できる配列が考慮されている。 ○ 教材を通して、自分や日常生活に結び付けたり、問題を解決するためにどうすればよいかを考えたりする発問が用意されている。 ○ いじめ問題や環境、共生などを取り上げており、生活や総合的な学習の時間の取り組みに合わせて活用することができる。 ○ 内容項目の数は各学年に35点（第1学年のみ34点）バランス良く、配置されている。巻末には、内容項目別教材一覧があり、各学校の年間指導計画に生かせるよう配慮されている。 ○ 付録には、各地域の伝統文化についてのページがあり、それぞれの地域と照らし合わせて考えることができる。 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | ○ 教材に合わせて、登場人物への自我関与、問題解決的な学習、道徳的な行為に関する体験的な学習を織り交ぜながら自分の考えを深める学習が進められるようになっている。 ○ 親しまれている定番教材だけでなく、シンプルな状況設定や児童の経験などをもとにした話し合う教材、見開きの一枚絵や写真からなる教材が配慮されている。 ○ キャラクターによる児童への呼びかけのことが全学年の教材冒頭にあり、自分にあった興味・関心に引き寄せて学べるように工夫されている。 ○ 第2学年以上の教材末の学習のてびきには、「つなげよう」が設けられており、関連を図った指導に役立てることができる。 ○ 児童の学びをサポートするQRコードコンテンツを教材のタイトル下に配置され、教材に関連した資料や、動画、朗読にアクセスできるようになっている。 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | ○ 本文には、特別にデザインされた光村教科書体を用いており、読みやすい。また、第1学年は文節分かち書き、第2学年では3文節程度の分かち書きとなっている。 ○ 6年間で、児童が広い視野で様々な話題に触れられるよう、著名人や絵本作家などの体験談を掲載している。 ○ 学年に応じた適切な文字の大きさになっている。カラーユニバーサルデザインを取り入れており、親しみやすい柔らかな色文字を活用している。 ○ 挿絵や図や表が効果的に配置されている。教材のタイトルの上に全学年で統一した視点マークを使用しており、授業の流れをイメージしやすくなっている。 ○ 環境に配慮し、光の反射を抑した紙が使用され、エコマーク認定の植物油インクで印刷されている。 | | | | | | |
| | | | | | | | |

| 種 目 | 道 徳 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 1 1 6 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 道 徳 | | 書 名 | しょうかくどうとくいきるから1 しょうかくどうとくいきるから1どうとくノート1 しょうかくどうとくいきるから2 しょうかくどうとくいきるから2どうとくノート2 しょうかくどうとくいきるから3 しょうかくどうとくいきるから3どうとくノート3 しょうかくどうとくいきるから4 しょうかくどうとくいきるから4道徳ノート しょうかくどうとくいきるから5 しょうかくどうとくいきるから5道徳ノート しょうかくどうとくいきるから6 しょうかくどうとくいきるから6道徳ノート |
|---|---|---|-------|---|-------|-------|--------|---|
| | | | 日 文 | | 1 1 5 | 1 1 6 | | |
| 1 内 容 に 関 する 事 項 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳科における、主体的・対話的で深い学びを目指して「役割演技」「言語活動」「図式化して整理」をし、児童の試行を深めるための手立てを工夫している。 ○ 「学校防災・安全」「いじめ防止」「ESD」等、今日的な課題を取り上げ、身近な生活とつなげ、多面的・多角的に考えられるように工夫されている。 ○ 「保・幼・小」の連携や「中学校」との接続を視野にいれ、スタートカリキュラムを意識した内容になっており、児童の発達段階を考慮している。 ○ 内容が精選されており、特に道徳科以外の教育活動との関連が「心のベンチ」に明示されている。各学年に1点ずつ、5つのテーマで系統的に配列されている。 ○ 「個性の伸長」「感謝」「国際理解」「よりよく生きる喜び」等多様なテーマの教材が偏りなく配置されている。 | | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 する 事 項 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭のオリエンテーションページの「道徳のとびら」で、学習内容やそのねらいを端的に示し、各教材の冒頭には、キーワードが明示されており道徳的価値についての理解に配慮されている。 ○ 各教材には、末尾に「考えてみよう」と「見つめよう・生かそう」の2つの発問例が設けられており、この発問をもとに考えることでねらいにせまることができるようになっている。 ○ 「いじめの防止」が最も重要なテーマとして位置付けられ、「人との関わり」は、学期に1回、年間3回配置され、繰り返し重点的に取り扱うようになっている。 ○ 各学年に35点（第1学年のみ34点）配置されている。その他に学びを広げるコラムが5点納められており、ゆとりある選択肢が可能である。 ○ 全世界や全地域の魅力ある素材が教材化されており、学校防災の観点から名取市の「さいがいにそなえて」を参考に教材開発が工夫できる。 | | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 する 事 項 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年、「ぐっと深める」では、写真で対話的・協働的な学習場面が例示されており、児童が自己の生き方について考えることができるようになっている。 ○ 体験的な学習や多様な実践活動を融合的に取り入れ、いきいきとした授業が展開できるように工夫されている。 ○ 結論ありきではない、児童自らが考えたいような教材が開発されており、多様な個性や能力に広く対応できている。 ○ 他教科等の学習活動そのものを素材とした教材が開発・掲載されている。巻末の学習内容一覧には、「他教科との関連」が明示されている。 ○ 全教材に、教科書QRコードコンテンツが用意されている。教材に関する画像や動画が閲覧できるようになっており、児童が興味を持って学習を進めることができる。 | | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する 事 項 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 当該学年以上の漢字やキーワード、固有名詞の漢字には、すべてふりがながつけられており、読みやすくなっている。 ○ 全学年に共通して登場するキャラクターを活用することで、児童が親しみを持ち、主体的に学ぶことができるように工夫されている。 ○ 教材は、全て見開き構成となっており、前後の教材に気をとられることがないように工夫されている。 ○ AB版を採用し、児童の負担を軽減するために、通常の上質紙よりも軽い用紙が使用されている。また、挿絵はジェンダー等の多様性に留意されている。 ○ 製本は、あじろ綴りを採用し、従来よりも本が大きく開くように工夫されている。また、植物油インキで印刷されており、環境にやさしい本となっている。 | | | | | | | |

| 種 目 | 道 徳 | 発行者の番号・略称 | 208 | 教科書の記号・番号 | 道徳 117 217 317 417 517 617 | 書 名 | しょうがく どうとく ゆたかな ころ 1ねん 小学 どうとく ゆたかな ころ 2年 小学 どうとく ゆたかな心 3年 小学 道徳 ゆたかな心 4年 小学 道徳 ゆたかな心 5年 小学 道徳 ゆたかな心 6年 |
|-----------------------|---|-----------|-----|-----------|--|--------|--|
| | | | 光文 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の手引きでは、「道徳の時間」の進め方や各段階の目的、思考ツールを活用した話合いの方法などを具体的に示すなど、「特別の教科 道徳」の目標を達成できるように工夫されている。 ○ 全学年で情報モラルに関するコラムが掲載されており、児童にとって身近な話題を通して、情報機器の使い方やきまり等について系統的に考えることができるよう工夫されている。 ○ 児童が自分事として捉えながら道徳的諸価値について考えることができるよう、発達段階に応じて、学校生活や実話、定番教材や漫画など、教材の内容が工夫されている。 ○ 教材付随のコラムや全学年共通のコラムでは、児童が授業での学びを生かし、より発展的かつ体験的に学ぶことができるよう内容が工夫されている。 ○ 生命の尊厳や自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツなど、児童の発達段階に応じながら現代的な課題を題材とした教材が偏りなく掲載されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 内容項目について、全学年を通して系統的かつ相互に関連付けながら学ぶことができるように、配列が工夫されている。 ○ 教材の冒頭で、道徳的諸価値について児童自身に問題意識を持たせるための問いがあり、児童自身が道徳的価値について自分事として捉えながら考えることができるよう工夫されている。 ○ 各学年で「いじめを生まない心」や「命をかがやかせる」などを重点的な指導内容とし、複数時間で構成する工夫がされている。 ○ 各学校の年間指導計画に応じて変更することができるよう、1学年は6本、2学年から6本は、5本の付録教材を掲載し、各校で柔軟に対応できる構成となっている。 ○ 本県や本地域にも関連した震災に関する内容の教材が掲載されており、児童自身が興味・関心を持ちながら学ぶことができるよう工夫されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳的諸価値に関する問いや中心発問、学習のまとめや実生活へのつながりなど、「考え、議論する道徳」を実現するための授業の流れや発問等が工夫されている。 ○ 児童にとって身近な題材を取り上げた教材が多く、思考ツールの活用方法についても掲載されており、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。 ○ 二次元コードの付いた教材では、教材理解を促す動画や写真等を視聴することができ、児童の多様な個性や能力に対応できるよう工夫されている。 ○ 自然や伝統文化、先人の伝記、スポーツなど、様々な現代的な課題を題材とした教材が掲載されていることから、各教科等と関連付けながら指導できるよう配慮されている。 ○ 写真や図表等は、見やすいレイアウトとなっており、児童が興味・関心を持ったり、教材理解を促す上で活用したりすることができるよう適切に配置されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字は前学年までに習った漢字の使用を基本としており、2学年までは分かち書きとなっている。児童にとって馴染みのない言葉等は、脚注で説明するなどの配慮がされている。 ○ 教材の内容に合わせてイラストや写真、漫画等が多様に掲載されており、発達段階に応じて、教材について児童が親しみや魅力を持ことができるよう配慮されている。 ○ スペースが大きいことや読み間違えにくいユニバーサルデザインのフォントを使用しており、どの児童にとっても読みやすいよう配慮されている。 ○ ダイナミックな絵や迫力のある写真など、レイアウトが工夫されている。また、どの児童にとっても見やすい配色となるよう配慮されている。 ○ 製本の際には、はがれにくい糊を入れるなどの工夫をすることで、頻繁に開閉しても壊れないようになっている。また、印刷には植物用インキを使用しており、環境への配慮がされている。 | | | | | | |

| 種 目 | 道 徳 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 2 2 4 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 道徳 | 書 名 | 新版みんなのどうとく1 新版みんなのどうとく2 新版みんなのどうとく3 新版みんなの道徳4 新版みんなの道徳5 新版みんなの道徳6 |
|---------------------------|--|---|-------|---|--|--------|--|
| | | | 学研 | | 1 1 8 2 1 8 3 1 8 4 1 8 5 1 8 6 1 8 | | |
| 1 内容に 関する こと | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の手引きでは、授業の中で考えを深めるステップや、内容項目に関する説明等が掲載されており、児童自身が道徳の授業展開や段階ごとの目的等を理解できるよう工夫されている。 ○ 全学年を通して、「生命の尊さ」の内容項目を土台としながら重点的に扱っており、情報モラルやいじめの問題について深く考えることができるよう教材の内容が工夫されている。 ○ 各学年の巻頭には今の自分について、巻末には道徳の1年間の学習内容について振り返ることができる欄を設けてあり、児童自身が自らの成長を実感できるよう工夫されている。 ○ 各学年の特設ページ（「心のパスポート」）では、問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習に合った教材を随所に取り入れており、発展的な学習を行えるよう工夫されている。 ○ 食育や防災教育、人権教育、キャリア教育など、現代的な諸問題に関する教材について、各学年においてバランス良く配置されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の発達段階を踏まえた学習について配慮されているとともに、教材の内容の深まりや視野の広がりを意識した配列となるよう工夫されている。 ○ 主題名を教材の本文ではなく、巻末に提示するとともに、教材の冒頭にキーフレーズを配置することで、児童が特定の価値観を持たず、主体的に考えることができるよう工夫されている。 ○ 児童の発達段階や特性等を踏まえて、複数教材によるユニット学習を提案するなど、指導内容を重点化できるように配慮されている。 ○ 各教科等と関連付けることができる内容の教材が各学年に掲載されており、各校の年間指導計画に生かすことができるよう工夫されている。 ○ 様々な分野で活躍する人や先人たちにに関する題材など、教材の内容が多様である。また、震災に関する教材もあるなど、興味・関心を持ちながら学ぶことができるよう工夫されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材に興味・関心を持たせるためのキーフレーズが掲載されている。また、発問の例も掲載されており、「考え、議論する道徳」を実現するための授業の流れを示す工夫がされている。 ○ 児童にとって身近な内容を題材とした教材を取り上げたり、二次元コードを活用しながら教材について、主体的・対話的に考えたりすることができるよう工夫されている。 ○ 食育や防災教育、人権教育、キャリア教育など、現代的な諸問題に関する教材が多様に掲載されており、児童一人一人の個性や特質に対応できる内容となっている。 ○ 各学年に各教科等での道徳性につながる教材を配置しており、他教科等と関連付けながら指導することができるように配慮されている。 ○ 写真や図表等は、児童自身が教材内容を視覚的に捉えることができるように、本文との関係性に配慮されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等 に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学年で学習する漢字や固有名詞にふりがなを付けたり、見出しや本文は平易で理解しやすくなるよう配慮されている。 ○ 挿絵や写真、図版などを活用し、児童の感性や学習意欲を高めることができるよう工夫されている。 ○ 書体はユニバーサルフォントを使用しており、学年の発達段階に応じて書体や行間を空けたりするなどの配慮がされている。 ○ 視覚特性の観点から、カラーユニバーサルデザインとしていたり、視認性を考慮しながらわかりやすいマークで表現したりする工夫がされている。 ○ 植物油インキを使用したり、環境負荷の小さいCTP方式で印刷したりするなど、環境への配慮がされている。また、目への負担が少ない色調の用紙を選択している配慮もされている。 | | | | | | |

令和6年度使用

教科用図書採択調査研究資料

小・中学校特別支援学級用

気仙沼地区教科用図書採択協議会

| | | | | | |
|--------|--|-------------|------------------------------------|-----|-----|
| 種目 | 生活 | 書名 (初版年) | えいごではなそう！ ミニオンABCのえほん (2020) | 発行者 | 小学館 |
| 評 価 | 1 内容に関すること ○児童にとって身近なものの名前の英単語から始まり、簡単な会話も記載されている。 ○英単語、仮名での和訳、片仮名での発音表記があり、児童にとって分かりやすい。 ○QRコードを読み取ることにより、発音を聞いたりまねたりすることができる。 | | | | |
| | 2 組織と配列に関すること ○AからZまで順番に配列され、1ページに3つの英単語が記載され、分量が適切である。 ○「動物・生き物」「運動」「色」「数」「挨拶」のカテゴリーごとに英単語が記載されていて見やすい。 | | | | |
| | 3 学習と指導に関すること ○児童にとって人気のあるキャラクターをモチーフにしていることで児童が興味を持ちやすい。 ○絵と英単語、簡単な英会話も記載され、児童が英単語を覚えたり、発音をまねたりすることで学習意欲を喚起しやすい。 | | | | |
| | 4 表現と体裁等に関すること ○絵と英単語の関係が分かりやすく、読みやすい。 ○キャラクターの表情も良い、色彩もカラフルで1ページごとの絵と文字のバランスが良い。 ○製本が堅ろうで児童が扱いやすい。 | | | | |
| | (総評) ○児童が親しみやすいキャラクターや身近なものを取り上げ、絵と英単語を関連付けて表記していることで、児童が興味を持って本を開き、英単語に触れることができるように工夫されている。 ○QRコードの活用でネイティブな発音にも触れることができるように工夫されている。 | | | | |
| 種目 | 生活 | 書名 (初版年) | こども マナーとけいご絵じてん (2009) | 発行者 | 三省堂 |
| 評 価 | 1 内容に関すること ○家、学校、公共の場、社会生活、人とのかかわりなど、児童にとって身近な生活場面を取り上げ、マナーや敬語の使い方を具体的に示している。また、文だけでなく、善い行いと悪い行いや思いやり、敬語の使い方について具体的な場面絵で表しており、児童にとって分かりやすい。 | | | | |
| | 2 組織と配列に関すること ○「挨拶」「家庭生活」「学校生活」「友達とのかかわり」「公共の場」「敬語の使い方」などのテーマごとに配列されている。 ○より具体的なテーマごとに見開きページにまとめられており、時系列にイラストと文が配置されており読みやすい。 | | | | |
| | 3 学習と指導に関すること ○児童にとって身近な場面が描かれているので実際の場面を想起したり、練習したりしやすい。 ○場面に応じた言葉や敬語の使い方について、吹き出しを用いて表記されていて分かりやすい。 ○各テーマの「おうちのかたへ」に書かれている事柄は、指導の参考にしやすい。 | | | | |
| | 4 表現と体裁等に関すること ○絵は温かみのある色調で、大きく描かれ、場面や伝えたいことが分かりやすい。 ○絵に応じた説明文は簡潔で読みやすい。また、漢字に振り仮名が振ってあり読みやすい。 ○紙質に適度な厚みがあり、つやもあり、扱いやすい。 | | | | |
| | (総評) ○児童にとって身近な場面が温かみのある絵で描かれ、生活の中でどのようなことに気を付けたら良いのかが場面絵と説明文とで分かりやすく紹介されており、学習に活用しやすい。 | | | | |

| | | | | | |
|--|--|-------------|--|-----|------|
| 種目 | 生活 | 書名 (初版年) | 小学館の子ども図鑑 プレNEO はるなつあきふゆ 楽しく遊 ぶ学ぶ きせつの図鑑(2007) | 発行者 | 小学館 |
| 評 価 | 1 内容に関すること ○児童生徒の教育的ニーズに配慮され、生活上の困難を改善又は克服するために親しみが持てるイラストや鮮明な写真を使って、季節と生活の結び付きを知ることができる内容となっている。 ○様々な体験活動をとおして自立や社会参加を促すとともに、ページ下段には「体験をつなげるヒント」を設定し、保護者等の支援者にも活動を行う中で得られる気付きを示している。 | | | | |
| | 2 組織と配列に関すること ○日本全国で見られる四季の様子や行事等が偏りなく示されているとともに、過去から将来に向けて継承されてきた文化が、組織的・系統的に配列されており、学習の深まりが期待できる。 ○四季が「ぎょうじとくらし」や「うた」、「ことば」等の項目で内容ごとに区分されていたり、ページの各所に短い分量で様々な情報が示されたりしていることで、読みやすくなっている。 | | | | |
| | 3 学習と指導に関すること ○校種や障害にとらわれず、様々な特性を持つ児童生徒の興味・関心を喚起できるよう、体験を促したり、クイズ等を交えたりしながら、基礎的能力の育成や発展的な学習が期待できる。 ○遊びから学習につながる内容が多く示されていることで、児童生徒が主体的に学習したり、保護者等の支援者と対話的に学んだりすることができ、深い学びにつなげることが期待できる。 | | | | |
| | 4 表現と体裁等に関すること ○全ての漢字に平仮名の振り仮名が振られていたり、挿絵や図表や写真等が適切に配置されていたりすることで、識字の程度にかかわらず親しみをもちながら学習することができる。 ○印刷は鮮明で見やすいレイアウトになっているとともに、製本は体裁が良く堅ろうである。 | | | | |
| (総評) ○様々な学習と関連を図ることができ、児童生徒の社会適応能力を高める効果が期待できる。また、本書以外にも様々なシリーズがあり、他の分野についても興味・関心を持って読むことで、学びを深めることが期待できる。 | | | | | |
| 種目 | 生活 | 書名 (初版年) | 光る★音出る♪知育絵本 リズムによって ぼんぼんたいこ(2014) | 発行者 | 朝日新聞 |
| 評 価 | 1 内容に関すること ○童謡を中心にアニメソング等も取り上げ、楽器だけでなく曲に合わせた効果音が鳴る仕組みになっており、児童が興味を持って音楽や音に触れることができる内容となっている。 ○曲ごとに効果音が異なり、声を録音しその声を使ってリズム遊びなどもできる。 | | | | |
| | 2 組織と配列に関すること ○短い曲から少し長い曲へと配列されている。 ○絵を見ながら曲を聴くだけでなく、歌詞を読む、歌う、効果音を入れてリズム遊びをするなど、発達段階に応じた歌遊びができる。 | | | | |
| | 3 学習と指導に関すること ○視覚・聴覚・言語等に障害があっても、絵を見て、音を聞いて、音を出して、音と連動した光を見て、歌詞を読んでなど、発達段階や個に応じた楽しみ方や学習への活用ができる。 | | | | |
| | 4 表現と体裁等に関すること ○児童にとって親しみやすく色彩がはっきりした絵で、曲に合った場面が描かれている。 ○製本は堅ろうで、中のページは扱いやすい厚みで、音声機器もボタンが大きく扱いやすい。 | | | | |
| (総評) ○絵・色彩・音声機器のデザイン等、どれも児童の興味を引きやすい工夫がなされている。 ○ページの厚みや見開きのしやすさ、音声機器の大きさやデザインなど、児童が扱いやすく、楽しく使うことができるよう工夫されている。 | | | | | |

| | | | | | |
|----|--|-------------|-------------------------------------|-----|----------|
| 種目 | 生活 | 書名 (初版年) | うたう♪たべる!あそぶ! 12か月の行事のえほん(2015) | 発行者 | 講談社 |
| 評 | 1 内容に関すること ○掲載されている季節の行事は、本地区の行事と関連付けることができる内容が多い。 ○各月、歌、お話、食事、工作など、児童の興味を引く内容が多く掲載されている。 | | | | |
| | 2 組織と配列に関すること ○各月、歌から始まり、お話、食事、工作と同じ配列で掲載されており、児童の活動につなげやすい。 | | | | |
| | 3 学習と指導に関すること ○行事の由来や食事、工作の部分に出てくる題材、食材や材料は、本地区でも身近な物が多く、具体物や映像などが準備しやすい。 | | | | |
| | 4 表現と体裁等に関すること ○厚めの紙になっていて、低学年児童でもめくりやすい。 ○イラストや図解が多く、その分文字数が少ない。さらに、漢字には振り仮名が振られるなど、読みの力が未熟な児童でも内容を理解しやすくなっている。 | | | | |
| 価 | (総評) ○低学年児童でも分かりやすい内容であるが、取り上げられている内容は、他の地域の事例や本地区の行事の由来などに発展させられるものになっている。そのため、高学年児童でも活用できる内容になっている。 | | | | |
| 種目 | 道徳 | 書名 (初版年) | おやくそくえほん はじめての「よのなかルールブック」(2020) | 発行者 | 日本図書センター |
| 評 | 1 内容に関すること ○電車の乗り方以外は、本地区の児童の約束として、具体的な場面が想定できる内容になっている。 | | | | |
| | 2 組織と配列に関すること ○「ありがとう」と言うなど、状況を理解しやすい約束から始まるので、約束とは何かを理解しやすくなっている。 | | | | |
| | 3 学習と指導に関すること ○ページの背景が約束ごとに色分けされており、「何色のやくそく」といったヒントが出せるようになっている。 ○最後のページの「おやくそくリスト」は、順序がランダムになっており、既習の「おやくそく」を探そうとすると読み返しになり、めあてにしていなかった内容の再認識にもつながる。 | | | | |
| | 4 表現と体裁等に関すること ○表紙が固く、読み返しても壊れないようになっている。 ○書かれてある文章が問い掛けの形になっており、親しみやすい。 | | | | |
| 価 | (総評) ○本地区の児童が、将来、他の地域で生活することになっても基盤となる、基礎的な生活習慣が取り上げられており、現在の生活指導の必要な視点として活かせる内容になっている。 | | | | |

| | | | | | |
|------------|---|-------------|--------------------------------------|-----|------|
| 種目 | 国語 | 書名 (初版年) | これでカンペキ! マンガでおぼえる敬語(2014) | 発行者 | 岩崎書店 |
| 評 価 | 1 内容に関すること ○生活のさまざまな場面に応じた表現の仕方が、謙譲語・尊敬語に分けて示されており、周囲の人と関わる上での基本となる表現を身に付けることができる内容となっている。 | | | | |
| | 2 組織と配列に関すること ○家庭内での表現、訪問時の表現、電話での表現など、生活場面に応じて配列されており、実用できるよう工夫されている。 ○それぞれのテーマが見開きで示されており分かりやすい。1ページの分量も適切である。 | | | | |
| | 3 学習と指導に関すること ○敬語の使用場面に対して、敬語ではない言い方と場面イラストが併記されており、生徒の理解を助ける。 ○友人間のトラブル防止のための指導や進路指導時にも活用できる。 | | | | |
| | 4 表現と体裁等に関すること ○ポイントとなる表現は大きく太字で示されている。 ○装丁はしっかりしており、繰り返しの使用に耐える。 | | | | |
| | (総評) ○子供が直面しそうな具体的な場面を扱い、敬語を紹介している。それぞれの表現について、場面イラストが記されており、楽しく学習を進めることができる。 ○活用ページの精選や授業展開の工夫により、理解に時間の掛かる生徒も使用できる内容となっている。 | | | | |
| 種目 | 理科 | 書名 (初版年) | ドラえものの理科おもしろ攻略 力と電気・音・光がわかる(1997) | 発行者 | 小学館 |
| 評 価 | 1 内容に関すること ○理科第1分野の「C 物質・エネルギー」で扱う力、電気、音、光の基本的な性質や働きについて、分かりやすく図解で示され、学習しやすい内容になっている。 ○身近な場面で起こりうる話題について、登場人物と共にテーマごとの実験を通じて、学べる内容になっている。 | | | | |
| | 2 組織と配列に関すること ○話題になったテーマについて、図解に示しながら、それぞれ適切な分量でまとめている。 ○テーマを「力が分かる」「電気が分かる」「音と光が分かる」の3つに分け、さらに単元を複数個配置しており、単元のまとまりとして知識を定着させやすい。 | | | | |
| | 3 学習と指導に関すること ○単元ごとに、身近な生活で疑問に思ったことを実験し考えることができることから、生徒自身が自分のこととして捉え、興味・関心を持ち学習できる内容になっている。 ○学習した内容や実験に関する理解を深めるために練習問題が取り入れられており、発展的な学習にも活用できる。 | | | | |
| | 4 表現と体裁等に関すること ○漢字には振り仮名が振られ、読みやすくなっている。 ○生徒が手順に従って、実験がしやすいような図解で示されている。 ○ドラえもんとその登場人物達とのやり取りを楽しみながら、学べるようになっている。 | | | | |
| | (総評) ○身近な生活や場面の中の物理の法則について、ドラえもんやその登場人物たちとともに、漫画を読むような感覚で、楽しく考え、繰り返し学習することができる。 ○実験や重要事項について、図とともに説明がしっかり示してあり、理解しやすく工夫されたものになっている。 | | | | |

| 種目 | 理科 | 書名 (初版年) | ドラえもんの理科おもしろ攻略 生物(植物・昆虫・動物)がよくわかる(1994) | 発行者 | 小学館 |
|------------|--|-------------|---|-----|--------|
| 評 価 | 1 内容に関すること ○日常の身近な話題を取り上げ、派生した疑問に答える形で生徒の興味を深めることができる。 ○漫画を読み進めながら、生物についての基本的な理解を図り、自然に親しむ態度を育てることができる内容である。 | | | | |
| | 2 組織と配列に関すること ○生物の世界を、植物、昆虫、動物の3つに分けて紹介しており、分かりやすい構成である。 ○植物については、種子のつくりから花の役割や受粉へと成長に合わせて取り上げているので、段階を追って学習を進めることができる。 | | | | |
| | 3 学習と指導に関すること ○図や表が多く、要点を対比しながら示すことで生徒にとって理解しやすいものになっている。 ○各テーマの終わりに「練習しよう」のコーナーとまとめが設けられており、理解を確かめたり、深めたりすることができる。 | | | | |
| | 4 表現と体裁等に関すること ○文章量はやや多いが、全ての漢字に振り仮名が付けられている。 ○単純化されたイラストや図が豊富に使われており、適切に配置されている。 | | | | |
| | (総評) ○漫画形式で描かれており、なじみのあるキャラクター達のやりとりを読み進めながら生物について理解することができる内容である。 ○身近な話題から、視野を広げていくことができ、生物の世界への関心を高めることができる。 | | | | |
| 種目 | 理科 | 書名 (初版年) | ブティックムック 1413 まんがと写真でわかる 家庭菜園 春夏秋冬(改訂版)(2018) | 発行者 | ブティック社 |
| 評 価 | 1 内容に関すること ○内容は専門的であるが、写真とイラストが多用されており、理解されやすい。 ○土作りの段階から収穫まで、ポイントが明確に示されており、栽培の学習について見通しを持って主体的に取り組むことができる内容となっている。 | | | | |
| | 2 組織と配列に関すること ○季節に応じて栽培される野菜が示されており、生徒が自身で栽培したい野菜を選択することができるようになっている。 ○どの時期に何をすべきなのかが明確であり、取り組みやすい構成となっている。 | | | | |
| | 3 学習と指導に関すること ○それぞれの野菜について、栄養成分や豆知識などが示されており、興味・関心を広げやすい。 ○専門用語が多いが、写真とイラストでその内容が理解できるようになっている。 | | | | |
| | 4 表現と体裁等に関すること ○ポイントを強調した写真とイラストが豊富で分かりやすい。 ○ページの使い方に統一性があり、検索しやすい。 | | | | |
| | (総評) ○必要な知識・技能を身に付けることで、野菜栽培への興味・関心を高めることができる内容となっている。 ○写真とイラストにより作業のイメージをもちやすく、生徒が迷いなく、主体的に活動できるよう工夫されている。 ○本地区で実際に栽培されている野菜が多く扱われており、家庭での手伝い時にも役立つことができる。 | | | | |

| | | | | | |
|--------|---|-------------|---------------------------|-----|-----|
| 種目 | 英語 | 書名 (初版年) | ドラえもんはじめての英語図鑑 (2018) | 発行者 | 小学館 |
| 評 価 | <p>1 内容に関すること</p> <p>○日常生活に即した内容が多く取り上げられており、親しみやすいキャラクターとともに楽しく学ぶことができる。</p> <p>○豊富な語彙に加え、コミュニケーションの基礎となる会話表現を学べる内容になっている。</p> | | | | |
| | <p>2 組織と配列に関すること</p> <p>○日常生活の様々な場面やテーマが12のカテゴリ別に107のタイトルで構成されており、生徒の興味・関心に幅広く対応できる内容になっている。</p> <p>○扱われている語彙は多いが、生徒が関心のあるものを選択して学習できるようになっている。</p> | | | | |
| | <p>3 学習と指導に関すること</p> <p>○CDやQRコードを活用して音声を確認することができ、文字と音声を一致させながら効果的に学習を進められるようになっている。</p> <p>○場面に応じた会話表現は日常生活でよく使われ、簡潔で覚えやすいものが多い。</p> | | | | |
| | <p>4 表現と体裁等に関すること</p> <p>○オールカラーで写真やイラストが豊富である。レイアウトやバランスも適切である。</p> <p>○どのページにもドラえもんのキャラクターが描かれていて親しみやすく、楽しみながら英語を学ぶことができるようになっている。</p> | | | | |
| | <p>(総評)</p> <p>○約2,400の英単語と日常生活に役立つ会話表現が掲載されており、生徒の興味・関心を高めながら活用することができる。</p> <p>○CDやQRコードを活用して音声面の確認をすることができ、学習効果をあげやすい。</p> | | | | |
| 種目 | 道徳 | 書名 (初版年) | マンガでわかる よのなかのルール(2011) | 発行者 | 小学館 |
| 評 価 | <p>1 内容に関すること</p> <p>○日常生活の具体的な場面の生活上必要なルールについて、簡潔な文章と4コマ漫画で、分かりやすく理解できる内容になっている。</p> <p>○登場キャラクターを通じて、身近なルールについて考え、理解しやすい内容になっている。</p> | | | | |
| | <p>2 組織と配列に関すること</p> <p>○見開き1ページの中で、生活上のルールについて、項目ごとに焦点を絞り、読み進められる。</p> <p>○簡潔な文章と4コマ漫画を通じてルールについて学ぶことができ、状況に応じて必要な項目を繰り返し学習できる構成になっている。</p> | | | | |
| | <p>3 学習と指導に関すること</p> <p>○簡潔な文章と4コマ漫画を通じて、日常生活の具体場面について生徒が想起しやすく、生活上のルールや人物の感情等を理解しやすい内容となっている。</p> <p>○学校のみならず家庭でも活用できることから、繰り返し活用することで、状況に応じたルールが確認できる。</p> | | | | |
| | <p>4 表現と体裁等に関すること</p> <p>○カラーで見やすい4コマ漫画が興味・関心を高める。</p> <p>○シンプルで見やすい表現と文章でルールが示されており読みやすい。</p> <p>○厚手の紙の丈夫な装丁の本で、漢字に振り仮名があり、読みやすい。</p> | | | | |
| | <p>(総評)</p> <p>○日常生活で欠かせないルールについて、分かりやすい表現と4コマ漫画で興味・関心を持ち、学習できる。</p> <p>○生徒の実態やその時の状況に応じて、具体的な場面を想起させ、繰り返し考えることもできる。</p> <p>○特別の教科道徳としての活用や日常生活の指導や自立活動などでも活用できる。</p> | | | | |